

第二次羽村市生涯学習基本計画

前期基本計画

令和4年度～令和6年度

実施事業計画実績・評価

基本施策1 子どもたちの育成

施策

施策1 家庭教育の支援

「家庭教育」はすべての教育の出発点と捉え、保護者が家庭教育の担い手として主体的に子育てを行うことができ、保護者の抱える不安が軽減されるよう、適切な情報や学習の機会の提供を充実します。

事業の方向性

○保護者の学習機会の充実

乳幼児期から学齢期の子どもを育てる保護者に対して、引き続き母子保健や育児・食育に関する講座や相談等を実施します。

○保護者同士の交流機会の充実

子育てに関する新たな気付きや不安解消につなげられるように、保護者同士が気軽に情報交換を行うことができる機会を充実します。

実施事業

子育て関係講座等の充実	(1-1)	子育て関係講座等の充実	(1-1)	子育て関係講座等の充実	(1-1)
-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

【担当課】

子育て相談課

子育て相談課

子育て相談課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで楽しむ講座の実施 ○児童虐待防止講演会の実施 ○サタデーおしゃべり場の実施 ○ブレマママサロン(母親学級)の実施 ○ハロー赤ちゃんクラス(両親学級)の実施 ○1歳児講座の実施 ○乳幼児健診における健康教育(栄養)の実施 ○離乳食講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○パパ・ママ講座の実施 ○おしゃべり場の実施(掲示板および対面で土・日・祝日に3回/年実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○おしゃべり場の実施(掲示板および対面は7回/年実施) ○[新規事業]ペアレント・トレーニングの実施 		
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで楽しむ講座」を「パパママ講座」へ変更して子育て中の父親とその家族を対象に、家族の触れ合いの場を提供し、家族みんなでできる遊びの実践と、保護者同士の情報交換を行った。 ○児童虐待防止講演会の開催 1回 参加者数41人 ○サタデーおしゃべり場については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見送った。 ○妊娠・子育てに関連する講座を着実に実施した。 ○離乳食講習会 参加者の満足度 (離乳食前期) 98.6% (離乳食中後期)97.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て中の父親とその家族を対象に、家族のふれ合いの場を提供、児の年齢にあった遊びの実践と保護者同志の情報交換を行った。 ○児童虐待防止講演会を開催 1回、参加者数56人/定員180人 ○おしゃべり場は掲示板(通年)および対面で土・日・祝日に3回/年実施した。 ○妊娠・子育てに関する講座を着実に実施した。 ○離乳食講習会 参加満足度 (離乳食前期)98.9% (離乳食中後期)95.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て中の父親とその家族を対象に、児の年齢にあった遊びについて実践を交えた講話や、参加者同士の交流を深める講座を実施した。(募集:8家庭 開催1回・参加者7家庭16名 満足度90%) ○児童虐待防止講演会を開催(募集:80人程度 開催1回・参加者49名 満足度95%) ○おしゃべり場は掲示板(通年)および対面7回/年実施(平日6回・日曜日1回) (募集:児童館来館者親子 参加者55家庭65人) ○妊娠・子育てに関する講座を着実に実施した。 ○離乳食講習会 参加満足度(離乳食前期) 100%(離乳食中後期) 98% ○ペアレントトレーニングの実施 1講座(全6回) 定員8名、参加者3名 		
成果・効果	<p>杏林大学と羽村市の連携事業により児童虐待防止講演会「子どもの虐待防止～親子のサインに気づく力～」を開催。</p> <p>子育てに関する新たな気付きや不安解消につなげられるように、保護者同士が気軽に情報交換を行うことができる機会を提供することができた。</p>	<p>子育てに関する新たな気付きや不安解消につなげられるように、保護者同士が気軽に情報交換を行うことができる機会を提供することができた。</p>	<p>講座での保護者同志の交流が子育てに関する新たな気付きや情報収集の機会となり、保護者の不安解消に繋がった。</p> <p>ペアレントトレーニングを新たに開始し、子供の発達に心配のある保護者の学びや交流の機会に繋がった。</p>		
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例		
	A	<ul style="list-style-type: none"> 達成度 80%以上 達成度 50%以上80%未満 達成度 30%以上50%未満 達成度 30%未満 — 未実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 達成度 80%以上 達成度 50%以上80%未満 達成度 30%以上50%未満 達成度 30%未満 — 未実施 	B
課題・対応	ウイズコロナ・アフターコロナにおいて、乳幼児やその保護者が安心して情報交換・学びができるよう講座の開催方法を検討する必要がある。コロナ禍において中止していた事業について、感染予防に配慮しつつ、集合形式での講座の再開を検討していく。		引き続き、乳幼児やその保護者が安心して情報交換・学びができるよう、感染予防に配慮しつつ、集合形式での講座を継続していく。また今後は市民が参加しやすい実施方法について、検討をしていく。		対象者が参加しやすい実施方法を検討しながら、乳幼児やその保護者が安心して交流や情報交換ができるよう継続実施する。 特にペアレント・トレーニングについては、おじさんの発達に気がかりがあり、育てにくさを感じている保護者を対象とした連続講座であり、講座内容のわかりやすい周知や申込方法の改善が必要であり、乳幼児健診等の場を活用した周知や申込方法の工夫などに努める。

【基本施策1】子どもたちの育成

施策1 家庭教育の支援

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	○子育て講座の実施 1事業			○家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 1事業					
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上			○参加者の満足度 80%以上			○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○親子でワクワク!リトミック~リズムにのろう、リズムで遊ぼう~ (国立音楽大学連携講座)令和5年2月26日(音楽講座室2)2回/各回定員12組 1回目(2~3歳対象)参加者数10組/申込12組 2回目(4~5歳対象)参加者数8組/申込10組 参加者の満足度94%			○家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 参加者数74人/定員180人(会場:コミュニティセンター3階ホール) 参加者の満足度 98% ※開催時期や曜日を見直して実施			家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 ○参加者数11組(大人11人、子ども9人) / 定員20組(会場:プリモホールゆとりぎ 講座室1)…55% ○参加者の満足度…大人63%、子ども55%		
成果・効果	親子で音楽に合わせて体を動かすことで、子供の感覚を磨き、表現力を育むこと、日常生活の中での親子のコミュニケーションの取り方について学ぶ機会を提供した。			羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、「うちの子 勉強しないんですけど」への処方箋をテーマに家庭教育セミナーを実施することができた。 参加者のアンケートでは、満足度は98%と目標を上回る高い結果となった。			羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、「親子で学ぼう! 家庭での防災・安全対策」をテーマに家庭教育セミナーを実施することができた。 国土交通省、防災安全課、株式会社 創味食品と連携し、羽村の地域特性を踏まえた防災・安全対策について、親子で一緒に学ぶ機会とすることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	2~3歳は募集開始早々に満席となったが、4~5歳は定員に達しなかった。内容やターゲット層を意識しながら講座を継続していく。			対象となる保護者が参加しやすいよう、開催時期や曜日を見直して実施したが、参加率が41%と前年度(58%)と比較しても低く、参加者数を増やしていく工夫が必要である。 引き続き、羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、また子育て関連の他事業との連携なども検討し、家庭教育に関するセミナーを開催していく。			PTAと連携し、保護者と子供が参加しやすいよう、開催時期や会場、遊びや体験を交えるなど内容を工夫して実施した。参加率は55%と前年度(41%)よりも増やすことができたが、さらに増やせるよう工夫が必要である。引き続き、羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、ニーズに合わせた家庭教育に関するセミナーを開催していく。		

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		
事業内容	○家庭教育セミナーの実施 1回		
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○子供の自己肯定感を引き上げる方法(令和5年1月22日/ゆとりぎ小ホール) 定員252人 参加者数130人/申込147人(PTA連合会研修部65人、窓口事前申込53人、当日参加29人) 参加者の満足度 72%		
成果・効果	「親が使う言葉を意識し変えると子供の心は前向きになる」「自信ある子はトライ&エラーにより成功体験を重ね人間力を身につける」といった視点から、家庭での子供への声掛けの仕方について学ぶ機会を提供した。		
評価(達成度)	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	家庭教育は子供の健全な育成に大きく影響することから、引き続き同様のセミナーを実施し、家庭の教育力の向上を図っていく。		

実施事業

子育てひろば事業の充実	(1-2)	子育てひろば事業の充実	(1-2)	子育てひろば事業の充実	(1-2)
-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

【担当課】

子育て相談課

子育て相談課

子育て相談課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○地域子育て支援センター2カ所における子育てひろば事業の実施 ○児童館3館における子育てひろば事業の実施								
目標(指標)	○総来所者数 8,000人		○総来所者数 8,000人		○総来所者数 8,000人				
取組実績	○地域子育て支援センター事業の実施 週5日(2カ所)利用者数延べ1,775人 ○児童館における子育てひろば事業の実施 週3日(3館)利用者数延べ11,128人		○地域子育て支援センター事業の実施 5日/週×2カ所(利用者数延べ2,758人) ○児童館における、子育てひろば事業の実施 3日/週×3館(利用者数延べ12,161人)		○地域子育て支援センター事業の実施 5日/週×2カ所(延べ利用人数2,889人) ○児童館における、子育てひろば事業の実施 3日/週×3館(延べ利用者数12,657人)				
成果・効果	身近な場所に交流の場を提供し、子育て相談員等による相談体制を整え相談に応じることで、育児不安の軽減・孤立化の防止を図った。		身近な場所で子育て中の保護者同士が交流が持てる場を提供、また、子育て相談員を配置し保護者の相談対応をすることで、保護者が育児不安を抱えることや地域で孤立化することの防止を図ることができた。		身近な場所で子育て中の保護者同士が交流できる場を提供し、また子育て相談員を配置し継続的な相談対応をすることで、保護者が育児不安を一人で抱えることや、地域で孤立することの防止を図った。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、基本的な感染防止対策を継続しながら、妊娠前から事業の周知を行い、出産後のスムーズな利用に繋げていく。		妊娠期からの事業の周知を図り、出産後のスムーズな利用につなげていく。 また、相談内容に応じて、母子保健・相談係や子ども家庭支援センター、子育て相談を実施するひろば事業機関が連携し、効果的な相談支援を行う。		引き続き、妊娠期からの事業周知を図り、出産後のスムーズな利用につなげる。 相談内容に応じて、関係部署、ひろば事業を実施する機関が連携して、効果的な相談支援を実施する。				

【基本施策1】子どもたちの育成

施策1 家庭教育の支援

実施事業

子育てに関する相談の充実 (1-3)	子育てに関する相談の充実 (1-3)	子育てに関する相談の充実 (1-3)
--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】

子育て相談課

子育て相談課

子育て相談課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○育児相談 ○児童館子育て相談 ○メール相談の実施 ○相談員の研修会への参加 ○連絡会議の実施					
目標（指標）	○育児相談 12回 ○児童館子育て相談 各館週3回 ○連絡会議開催 12回		○育児相談 12回 ○児童館子育て相談 各館週3回 ○連絡会議開催 12回		○育児相談 12回 ○児童館子育て相談 各館週3回 ○連絡会議開催 12回	
取組実績	○育児相談 実施12回 ○児童館3館それぞれに子育て相談員を配置 各館週3回 ○子育て世代包括支援センター連絡会議の開催 12回		○育児相談の実施 12回 ○児童館における子育て相談の実施 3日/週×3館 ○子育て世代包括支援センター連絡会議の実施 12回		○育児相談 12回実施 ○児童館における子育て相談 3日/週×3館実施 ○子育て世代包括支援センター連絡会議 12回/年実施	
成果・効果	保護者が気軽に安心して相談できる機会を提供した。相談内容に応じ、関係機関と連携しながら対応することができた。		保護者が気軽に安心して相談できる機会を提供した。相談内容に応じ、関係機関と連携しながら対応することができた。		保護者が気軽に安心して相談できる機会を提供した。相談内容に応じ、関係機関と連携しながら対応した。	
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	引き続き、保護者が気軽に安心して子育ての相談できる機会の提供に努める。		引き続き、保護者が気軽に安心して子育ての相談ができる機会の提供に努める。 また、相談内容に応じて、母子保健・相談係や子ども家庭支援センター、子育て相談を実施するひろば事業機関が連携し、効果的な相談支援を行う。		引き続き、保護者が気軽に安心して子育ての相談ができる機会の提供に努める。 相談内容に応じて、関係部署、ひろば事業を実施する機関が連携して、効果的な相談支援を実施する。	

事業の方向性

○市民への意識啓発

家庭教育は、子どもたちが健やかに社会に巣立つための必要な学びであることを広く周知します。

実施事業

家庭教育関連情報の提供と啓発	(1-4)	家庭教育関連情報の提供と啓発	(1-4)	家庭教育関連情報の提供と啓発	(1-4)
----------------	-------	----------------	-------	----------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○就学児健診での「家庭教育はじめの一步」の配付 ○市公式サイトでの周知			
目標（指標）	○就学児健診での「家庭教育はじめの一步」の配付 全小学校	○就学児健診での「家庭教育はじめの一步」の配布 全小学校	○就学児健診での「家庭教育はじめの一步」の配布 小学校全7校 420部	
取組実績	○就学時健康診断の実施時に保護者に対し冊子を配布した。 10月下旬から11月上旬に計500部を配布 羽村東小学校 90部 羽村西小学校 85部 富士見小学校 75部 栄小学校 65部 松林小学校 50部 小作台小学校 70部 武蔵野小学校 65部	○就学児健診で「家庭教育はじめの一步」を配布 全小学校(7校) ○市公式サイトに「家庭教育はじめの一步」を掲載	○就学児健診で「家庭教育はじめの一步」を配布 全小学校(7校) ○市公式サイトに「家庭教育はじめの一步」を掲載	
成果・効果	家庭教育の中で特に大切にしたいポイントをまとめた冊子を保護者に配布し、家庭教育は全ての教育の出発点であること等について情報提供することができた。	保護者に対して家庭での教育に関する情報提供を行い、子供たちが健やかに社会へ巣立つための家庭教育を考えるきっかけすることができた。 スマートフォンから市公式サイトで閲覧できるよう、冊子版「家庭教育はじめの一步」に二次元コードを掲載した。	保護者に対して家庭での教育に関する情報提供を行い、子供たちが健やかに社会へ巣立つための家庭教育を考えるきっかけすることができた。 冊子は、市公式サイトに二次元コードを掲載し、スマートフォンから家庭教育に関する情報にアクセスしやすくなる取組を行った。	
評価（達成度）	評価凡例		評価凡例	
	A	達成度 80%以上	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施
課題・対応	家庭教育は子供の健全な育成に大きく影響することから、冊子の配布を継続し、情報提供していく。	引き続き、保護者に対し家庭教育に関する情報提供を行う。また、市公式サイトにアクセスしやすくなるための手法等について検討する。	引き続き、保護者に対し家庭教育に関する情報提供を行う。また、保護者が家庭教育に関する情報に気軽にアクセスするための手法等について検討する。	

基本施策1 子どもたちの育成

施策

施策2 子どもたちの教育の推進

9年間の義務教育を系統的に継続したきめ細やかな指導を積み重ねることで、基礎的・基本的な学力を身につけさせるとともに、自立した子どもたちを育て、大きく変化する社会の中で生きる力の土台をつくります。

事業の方向性

○小学校入学に向けた円滑な接続

新しく小学生となる子どもに対して、遊びを通して学ぶ乳幼児期から、教科学習が中心の小学校以降の教育活動への円滑な接続を支援します。

実施事業

幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	(2-1)	幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	(2-1)	幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	(2-1)
---------------------	-------	---------------------	-------	---------------------	-------

【担当課】	子育て支援課	子育て支援課	子育て支援課、教育支援課
【関連課】	学校教育課、教育支援課	学校教育課、教育支援課	学校教育課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	幼稚園、保育園、小学校、保護者が相互に連携・協力し、幼稚園、保育園と小学校の円滑な接続が可能となるよう、現状の把握、対応方法の検討、情報共有・意見交換等を実施する。		幼稚園、保育園、小学校が相互に連携・協力し、幼稚園、保育園と小学校の円滑な接続が可能となるよう、現状の把握、対応方法の検討、特別支援教育の理解を含めた情報共有・意見交換等を実施する。
目標（指標）	○懇談会 1回 ○部会 4回 ○交流事業 1回	○懇談会 1回 ○部会 3回（交流事業含む）	○年長児から小学校1年生への円滑な接続に関する情報共有・意見交換の実施 年3回 ○幼稚園・保育園等及び小学校の教員等の相互訪問・状況把握の実施（令和6年度は小学校訪問）
取組実績	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会の架け橋プログラム部会にて、幼稚園・保育園の年長クラスから小学1年生への架け橋プログラムを研究・策定していたことから、その活動に主眼を置く形となるよう、懇談会・部会は開催せず、幼稚園・保育園から推薦された教員が架け橋プログラム部会に参加できるよう教育委員会と連携して取り組んだ。	○懇談会 令和6年2月26日（月）、10名出席 年間活動・連携事業の報告、次年度以降の事業実施体制など ○部会 ・第1回 令和5年4月27日（木）、23名出席 講演会、意見交換など ・第2回 令和5年11月16日（木）、11月20日（月）、12月 5日（火）、12月 6日（水）、 合計27人出席 市内保育園4園に分かれての見学・意見交換 ・第3回 令和6年2月26日（月）、16名出席 意見交換	令和6年4月22日、10月22日、令和7年2月25日に会議を開催 令和6年5月には市内全ての小学校で小学校訪問を実施。訪問の中で意見交換も行った。 年長児から小学校1年生の接続を円滑にするため、架け橋期カリキュラムをもとに各園・学校における取組や考え方などを共有した。
成果・効果	架け橋プログラムの策定により、本事業で向かうべき方向性が具体的になった。 令和5年度以降の活動に取り入れていく。	新型コロナウイルス感染症の流行を経て、4年ぶりの対面形式、及び教育委員会で「架け橋期(5歳児から小学校1年生)のカリキュラム」を策定後初の開催となった。 今後カリキュラムを基に幼保小の連携に取り組んでいくこと、またコロナ禍に希薄になってしまった小学校と幼稚園・保育園の連携を再構築することを周知した。意見交換を毎回実施し、保育園や小学校の日々の活動状況を共有したことで好意的な意見が多く、連携事業が再開した学校、園もあった。	実際にどのような学校生活を行っているのかを確認することができ、意見交換によって相互理解を深められ、学校での支援が見えたことや、卒業後の子供の成長を直接見られたことにより、支援のつながりを実感したという声が多数上がった。架け橋期カリキュラムを共有し、子供の学びを繋いでいく意識の向上が図れた。
評価（達成度）	—	A	A
課題・対応	新型コロナウイルス感染症によって実際に児童をみている教諭・保育士が顔をあわせる機会や幼稚園・保育園と小学校の交流機会が少なくなっているため、本事業を通じて小学校と幼稚園・保育園間において顔の見える関係を構築していくよう取り組んでいく。	令和6年度より、教育支援課の所管する特別支援教育連絡協議会と統合し、幼・保・小連携推進協議会として活動をしていく。実際に教育・保育の現場にあたる職員を中心に情報共有・意見交換を行い、職員間の顔の見える関係性を構築し、子供たち一人一人の多様性に配慮した、学びや生活の基盤整備に取り組んでいく。	幼保小の連携では学童クラブとも連携強化を図っていく必要があるため、次年度以降は学校訪問への同行等、子供の支援の充実につなげられるようにしていく。保育現場や教育現場からの意見を反映させながら、架け橋期カリキュラムの改訂を実施していく。

事業の方向性

○「生きる力」の育成

予測困難な時代を生きる児童・生徒に対して、義務教育9年間の各教科等の学びにおいて、ICT機器も効果的に活用しながら、学級やグループ等の中で「協働的な学び」を推進し、「生きる力」を育む教育を実現します。

○個性の伸長

一人ひとりの成長や学習でのつまずき、学習進度等を的確に捉え、「個別最適な学び」を推進し、児童・生徒の可能性を引き出す教育を実現します。

実施事業

	小中一貫教育の推進	(2-2)	小中一貫教育の推進	(2-2)	小中一貫教育の推進	(2-2)
--	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

【担当課】

学校教育課

学校教育課

学校教育課

【関連課】

年 度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	これまでの羽村市の小中一貫教育を礎とし、「生きる力」の基礎となる学びの保障と児童・生徒の可能性を引き出す指導を充実するための、義務教育9年間の教科等のカリキュラムを研究・開発する。			→			小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成した義務教育9年間のカリキュラム等について、市教育研究会と連携し、実践に向けた検証を行う。		
目標(指標)	○第3次羽村市小中一貫教育基本計画の推進			○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会(10部会)の開催 ○カリキュラム等の作成(10部会)			○市教育研究会と連携したカリキュラム等の授業実践の実施		
取組実績	○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会の開催(12部会) ○教科等のカリキュラムの研究			○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会の開催(10部会) ○教科等のカリキュラムの研究・作成			○市教育研究会と連携し、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成したカリキュラムについて、効果検証を図り、授業実践に向けた研究を行った。		
成果・効果	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を設置・開催し、教科(分野)ごとに、義務教育9年間を通じたカリキュラムの在り方等を検討した。			小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を開催し、分科会ごとに、義務教育9年間を通じたカリキュラムを作成した。			義務教育9年間のカリキュラムを意識した授業の実践研究を行った。 市教育研究会を中心に、小中一貫カリキュラム等開発委員会で作成した資料等を活用した授業を行った。		
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	引き続き、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を開催し、策定したカリキュラムについて、授業実践を通じ、更なる改善を図っていく。			作成したカリキュラムについて、教育研究会と連携を図り、授業実践するなかで内容の検証・改善を図るとともに、教員の指導力向上につなげていく。			今後も、教育研究会と連携を図り、義務教育9年間のカリキュラム等の実践に取り組む、また、各学校が実施する連携授業について、更なる充実に向けた支援を行う。		

実施事業

	読解力の育成	(2-3)
--	---------------	--------------

【担当課】 学校教育課

【関連課】

年	度	令和4年度												
事業内容		問題文や与えられた資料から、必要な情報を読み取る力の育成について、各教科等の授業を中心に、教育活動全体において取り組んでいく。また、情報活用能力の育成と関連させて、必要な情報を問題の解決や探究に活用する力を育成していく。さらに、研究指定校では、「読解力の向上」について実践研究に取り組んでいく。												
目標（指標）		○研究指定校の指定 1校												
取組実績		○研究指定校における実践研究の実施(松林小学校)												
成果・効果		リーディング・スキルテストを活用した読解力の経年分析を行った結果、読解力の向上について確認することができた。												
評価（達成度）	A	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 5%;">A</td> <td>達成度 80%以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>達成度 50%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>達成度 30%以上50%未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>達成度 30%未満</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例														
A	達成度 80%以上													
B	達成度 50%以上80%未満													
C	達成度 30%以上50%未満													
D	達成度 30%未満													
—	未実施													
課題・対応		研究冊子を全校に配布するなど、教育活動全体の充実に努めていく。												

実施事業

道徳教育の充実	(2-4)	道徳教育の充実	(2-3)	道徳教育の充実	(2-3)
---------	-------	---------	-------	---------	-------

【担当課】

学校教育課

学校教育課

学校教育課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	<p>特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。令和4年度は、小・中学校9年間で児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力を、羽村市の実態に応じ、各校のカリキュラム・マネジメントに汎用できるようカリキュラムを作成する。</p>		<p>特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 また、道徳教育への保護者や地域の理解及び連携を促進させるため、道徳授業地区公開講座における保護者や地域との意見交換会等の実施と充実に取り組んでいく。</p>						
目標（指標）	○カリキュラムの作成		○道徳授業地区公開講座における意見交換会等の実施		○道徳授業地区公開講座における意見交換会等の実施 小・中学校(全10校)				
取組実績	<p>羽村市小中一貫カリキュラム等開発委員会<望ましい習慣の形成部会>において、発達の段階、場面ごとに身に付けてほしい望ましい習慣をまとめた資料を作成した。</p>		<p>各学校において道徳授業地区公開講座を実施し、その際保護者や地域との意見交換を行った。</p>		<p>各学校において道徳授業地区公開講座を実施し、学校で行われている道徳授業の公開と保護者や地域との意見交換を行った。</p>				
成果・効果	<p>作成した資料を参考とし、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤づくりにつながることができた。</p>		<p>保護者や地域の方の理解促進につなげるための道徳授業地区公開講座を開催することができた。</p>		<p>保護者や地域の方の理解促進につなげるための道徳授業地区公開講座を開催し、道徳授業の公開及び保護者地域の方々と意見交換をすることで、道徳授業の理解促進と更なる授業力の向上を図ることができた。</p>				
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	<p>令和4年度に作成した望ましい習慣の形成に関する資料について、学校で活用するとともに家庭や地域に周知し、共有を図っていく。</p>		<p>引き続き、道徳授業地区公開講座を開催するとともに、保護者や地域との意見交換も継続的に実施する。</p>		<p>引き続き、道徳授業地区公開講座を開催するとともに、保護者や地域との意見交換も継続的に実施する。また、保護者や地域の方の理解促進のため、道徳授業地区公開講座の趣旨等をまとめた資料を作成し、活用していく。</p>				

実施事業

健康な体づくりの推進	(2-5)	健康な体づくりの推進	(2-4)	健康な体づくりの推進	(2-4)
------------	-------	------------	-------	------------	-------

【担当課】

学校教育課

学校教育課

学校教育課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<p>体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力月間や日ごろの遊びを通じて取り組んでいく。</p> <p>健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。</p>	<p>体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力行動努力月間や日ごろの活動を通じて取り組んでいく。</p> <p>健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。</p>	→																																				
目標（指標）	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和3年度 小5 男子90.3% 女子87.5% 中2 男子83.7% 女子73.1%</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和4年度 小5 男子94.5% 女子86.2% 中2 男子91.7% 女子80.3%</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和5年度 小5 男子94.5% 女子90.8% 中2 男子90.1% 女子76.5%</p>																																				
取組実績	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和4年度 小5 男子94.5%(+4.2ポイント) 女子86.2%(△1.3ポイント) 中2 男子91.7%(+8.0ポイント) 女子80.3%(+7.2ポイント)</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和5年度 小5 男子94.5% 女子90.8% 中2 男子90.1% 女子76.5%</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上</p> <p>令和6年度 小5 男子93.8% 女子92.4% 中2 男子89.2% 女子75.4%</p>																																				
成果・効果	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、小学校5年生男子及び中学校2年生男子・女子とも前年度から向上した。</p>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、小学校5年生女子は前年度から向上し、5年生男子は横ばいとなった。中学校2年生は男女とも前年度に比べ低下した。</p>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、全国や都の平均値よりも高く、普段の指導の成果が結果として出ていると言えるが、市として経年で見ると、小学校5年生女子は前年度から向上し、5年生男子は低下した。中学校2年生は男女とも前年度に比べ低下した。</p>																																				
評価（達成度）	<p>A</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<p>B</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<p>B</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	<p>引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。</p>	<p>引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。</p> <p>なお、国及び東京都の平均値は次のとおり。 小5 男子(国:92.9%、都:93.5%) 女子(国:85.7%、都:87.8%) 中2 男子(国:89.4%、都:89.5%) 女子(国:76.5%、都:78.8%)</p>	<p>引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。</p> <p>なお、国及び東京都の平均値は次のとおり。 小5 男子(国:93.2%、都:93.7%) 女子(国:86.2%、都:88.5%) 中2 男子(国:90.6%、都:90.8%) 女子(国:76.9%、都:78.6%)</p>																																				

実施事業

ICT機器を活用した教育の推進 (2-6)	ICT機器を活用した教育の推進 (2-5)	ICT機器を活用した教育の推進 (2-5)
-----------------------	-----------------------	-----------------------

【担当課】 学校教育課 学校教育課 学校教育課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	1人1台端末などのICT機器を教育活動のさまざまな場面で活用し、「一人ひとりの理解度や進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子どもたちの個別最適化した学習の実現に向けて取り組んでいく。	1人1台端末などのICT機器を教育活動のさまざまな場面で活用し、「一人ひとりの理解度や学習進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子どもたちの個別最適化した学習の実現に向け、だれ一人取り残すことなく取り組んでいく。	→																																				
目標（指標）	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○学習支援ドリルの導入	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人 ○学習支援ドリルの運用																																				
取組実績	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○学習支援ドリルの導入	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人 ○学習支援ドリルの運用																																				
成果・効果	GIGAスクールサポーターを配置することにより、1人1台端末と小・中学校における校内ネットワークシステムを円滑に運用することができた。 1人1台端末等で利用できる学習支援ドリルを導入することで、一人一人の理解度や進度にあった学びを充実することができた。	GIGAスクールサポーター及びICT支援員（授業支援・運用アドバイス等）を配置することで、ICT機器を活用した効果的な授業実践ができた。	GIGAスクールサポーター及びICT支援員（授業支援・運用アドバイス等）を配置し、ICTに関する専門的・技術的な支援を行い、ICT機器を活用した効果的な授業を実践することができた。また、学習支援ドリルを活用することで、一人一人の理解度や学習進度に応じた学習を行うことができた。																																				
評価（達成度）	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き、GIGAスクールサポーターの配置や学習支援ドリルの運用などを行い、ICT機器を活用した教育を推進していく。	引き続き、GIGAスクールサポーター及びICT支援員を配置し、ICT機器を活用した教育活動の充実を図る。	引き続き、GIGAスクールサポーター及びICT支援員を配置し、ICT機器を活用した教育活動の充実を図るとともに、学習支援ドリルを活用し、個の理解度に応じた学習ができる機会を確保する。																																				

実施事業

スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施	(2-6)	スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施	(2-6)
----------------------------	-------	--------------------------	-------

【担当課】 生涯学習総務課、学校教育課

学校教育課

【関連課】 スポーツ推進課

生涯学習総務課、スポーツ推進課

年 度	令和5年度	令和6年度																								
事業内容	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)のスイミングセンターでの水泳授業試行及び、専門の指導員による水泳指導を実施する。	○スイミングセンターで、小学校水泳授業(指導員による指導を含む)を実施する。 ○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)																								
目標(指標)	○水泳授業の実施日数:武蔵野小学校15日、松林小学校5日	○水泳授業の実施日数:武蔵野小学校15日、松林小学校5日																								
取組実績	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)において、スイミングセンターでの水泳授業を実施した。 ・実施日数 通常の学級 松林小学校 7日(期間:5月~8月) 武蔵野小学校 13日(期間:9月~10月) 特別支援学級 松林小学校・武蔵野小学校 合同 5日(7月~9月) ・移動方法 松林小学校 徒歩(隣接) 武蔵野小学校 バス送迎	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)において、スイミングセンターでの水泳授業を実施した。 ・実施日数 通常の学級 松林小学校 5日(期間:5月~7月) 武蔵野小学校 16日(期間:7月~10月) 特別支援学級 松林小学校・武蔵野小学校 合同 5日(7月~9月) ・移動方法 松林小学校 徒歩(隣接) 武蔵野小学校 バス送迎																								
成果・効果	・スイミングセンターで水泳授業を実施したことで、天候等の影響に関係なく、また、専門指導員による指導により、安全管理で各児童のレベルにあった水泳授業を実施することができた。 また、教員の水泳授業に係る負担を軽減することができた。	・屋内プールを活用したことで、天候等の影響に関係なく授業を行うことができた。 ・専門指導員による指導により、安全管理で各児童のレベルにあった水泳授業を実施することができた。 ・教員の水泳授業に係る負担を軽減することができた。																								
評価(達成度)	A	A																								
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																										
A	達成度 80%以上																									
B	達成度 50%以上80%未満																									
C	達成度 30%以上50%未満																									
D	達成度 30%未満																									
—	未実施																									
評価凡例																										
A	達成度 80%以上																									
B	達成度 50%以上80%未満																									
C	達成度 30%以上50%未満																									
D	達成度 30%未満																									
—	未実施																									
課題・対応	○水泳授業の外部委託については有効的であることから、引き続き小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)の水泳授業はスイミングセンターで実施していくとともに、他学校についても同様に実施できるよう検討していく。 ○使用しなくなった学校既設プールの扱いについて、今後、研究していく。	水泳授業の外部委託については有効的であることから、引き続き小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)の水泳授業はスイミングセンターで実施していくとともに、他学校についても実施に向けた準備が整い次第、実施していく。																								

事業の方向性

○学校・家庭・地域が築く教育の推進

学校・家庭・地域の連携を強め、地域とともにある学校の構築に向けた取組みを推進します。

実施事業

コミュニティ・スクール導入に向けた検討	(2-7)	コミュニティ・スクールの導入	(2-7)	コミュニティ・スクールの導入・運用	(2-7)
---------------------	-------	----------------	-------	-------------------	-------

【担当課】 学校教育課

学校教育課

学校教育課

【関連課】

生涯学習推進課

生涯学習推進課

年 度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	令和3年度までに調査・研究してきたことをもとに、学校と地域の関係等について現状と課題の洗い出しを行い、実現に向けた検討を継続して行う。検討にあたっては、学校や地域との協議を重ねることとし、関係する団体等の理解や協力を得るなかで導入に向けた準備を進める。			コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)を導入し、地域住民や保護者の学校運営への参画を推進し、地域に根差した特色ある学校づくりに取り組む。 令和6年度の全校導入に向けた準備を進める。			全小・中学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)を導入し、地域住民や保護者の学校運営への参画を促進し、地域に根差した特色ある学校づくりに取り組む。		
目標(指標)	○学校や地域との協議の場の設定 ○導入計画の作成			○コミュニティ・スクールの導入 2校 ○コミュニティ・スクールの導入に向けた準備 8校			○コミュニティ・スクールの導入 8校(2校は令和5年度導入済み) ○教員・市民対象のコミュニティ・スクール研修の実施 1回 ○コミュニティ・スクールの運用 10校		
取組実績	○学校及び地域への説明 ○導入計画の作成 ○羽村市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定			○栄小学校、羽村第一中学校でコミュニティ・スクールを導入した。 ○他8校については、令和6年度当初の導入に向け、準備を行った。 ○関係者、一般市民を対象としたコミュニティ・スクールに関する研修会を実施した。 ○コミュニティ・スクールについてのリーフレットを作成した。			○コミュニティ・スクールの導入 8校(羽村東小学校、羽村西小学校、富士見小学校、松林小学校、小作台小学校、武蔵野小学校、羽村第二中学校、羽村第三中学校) ○コミュニティ・スクール委員会委員を対象とした研修会の実施 1回 ○コミュニティ・スクールの運用 全10校		
成果・効果	学校や地域とコミュニティ・スクールの導入について協議を行い、導入に向けた準備を進めた。また、学校運営協議会の設置等に関する規則を制定し、令和5年4月から、栄小学校及び羽村第一中学校でコミュニティ・スクールを導入することを決定した。			コミュニティ・スクール導入校では、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学校の現状・課題を踏まえたうえでの教育活動について意見を交わし、取組につなげることができた。 令和6年度から導入する学校については、委員の任命準備等を行った。			全10校全てがコミュニティ・スクールとなり、各学校において、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学校の現状・課題を踏まえたうえでの教育活動について意見を交わし、定期考査前の学習会の実施などの取組につなげることができた。 コミュニティ・スクール委員会委員対象の研修会では、他学校の委員同士での情報交換も行った。		
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
		—	未実施		—	未実施		—	未実施
課題・対応	栄小学校と羽村第一中学校の取組に対して支援していく。また、令和6年度の全校導入に向け、準備を進めていく。			円滑にコミュニティ・スクールの導入・実施ができるよう、伴走型支援を行う。			円滑にコミュニティ・スクールの運用ができるよう、伴走支援を行う。		

実施事業

部活動の地域連携の推進	(2-8)	部活動の地域連携・地域移行の推進	(2-8)
-------------	-------	------------------	-------

【担当課】 学校教育課

学校教育課

【関連課】 生涯学習推進課、スポーツ推進課

生涯学習推進課、スポーツ推進課

年 度	令和5年度			令和6年度		
事業内容	部活動の地域連携に向けて、懇談会の開催や、中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体との連携の推進に取り組む。			市内のスポーツ団体、文化・芸術団体等と連携し、部活動の地域移行に向けた取組を進める。		
目標（指標）	<ul style="list-style-type: none"> ○羽村市立学校における部活動の地域移行に関する懇談会の開催（4回） ○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ○市内のスポーツ団体、文化・芸術団体等との連携の推進 ○市民への周知（説明会・協議会の実施） ○地域と連携して実施する部活動の実施（10団体程度） 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動「TEAMはむら」の決定（令和7年度から活動開始） ○拠点校方式等で実施する部活動の調整 ○説明会の実施 		
成果・効果	市内スポーツ団体、文化・芸術団体等を対象とした部活動の地域移行に向けたアンケートを実施し、各団体の活動内容や受け入れ先候補団体を把握した。（50団体）			市内のスポーツ団体、文化・芸術団体と連携し、令和7年度から地域展開をして実施する活動を「TEAMはむら」に決定した。 年度末に、地域・保護者説明会を2回実施し、市としての今後の部活動地域展開について伝え、理解促進を図ることができた。 令和7年度から3団体が先行的に地域展開をスタートさせることができた。他に7団体程度、次なる地域展開に向けて合同での活動や具体的な準備を進めることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施		
課題・対応	団体等へのアンケートにより、受入が可能な団体を集約するなど、地域移行に向けた基礎情報を集約することができた。 今後は、具体的な実施に向け、学校、保護者、団体への説明等を行い、一部の活動を試行していく。			「TEAMはむら」として活動する団体の支援を行うとともに、地域展開に向けて、拠点校方式等で実施する部活動の調整等を行う。		

実施事業

放課後子ども教室の開室数の充実	(2-9)	放課後子ども教室の充実	(2-9)
-----------------	-------	-------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和5年度		令和6年度			
事 業 内 容	○市内小学校7校全てにおける週2回の開室		○放課後子ども教室スタッフ研修の実施			
目 標 (指 標)	○4月から開始		○年3回程度			
取 組 実 績	<p>○4月から、放課後子ども教室を市内全小学校で週2回開室 ○参加児童数 延べ15,524人</p>		<p>年3回研修実施(参加対象:放課後子ども教室主任指導員・指導員 約47人) ①第1回研修「放課後子ども教室における発達に特性のある児童の理解と支援」 実施日:7月4日(木) 参加者数:31人 満足度:97%が「大変良かった」「良かった」 ②第2回研修「子供の困った言動へのアプローチ」 実施日:12月2日(火) 参加者数:31人 満足度:100%が「大変良かった」「良かった」 ③学童クラブ合同研修会「発達障害等、特別な支援を必要とする児童への対応等」 実施日:2月19日(水) 参加者数:27人 満足度:99%が「大変良かった」「良かった」</p> <p>この他、特別支援教育講演会、(公財)明治安田こころの健康財団との共催によるオンライン研修の情報提供を行った。</p>			
成 果 ・ 効 果	<p>放課後子ども教室を市内全小学校で週2回開室とし、放課後の子供の居場所を地域の方の支援を受けて提供することができた。</p>		<p>年3回、異なった視点から、子供の発達に関する理解や特別な配慮が必要な子供に対する対応について学ぶ機会をつくることができた。 参加者からは、「一人ひとりの子どもをより深く理解する大切さを学ぶことができた」「実践的な対応方法は参考になる」といった感想が寄せられた他、応急処置など別のテーマの研修の継続を希望する声があった。</p>			
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施		
課 題 ・ 対 応	<p>引き続き、学校関係者や学童クラブ関係者と連携して全小学校で放課後子ども教室の運営を行う。 社会教育委員の会議への「放課後子ども教室の取り組むべき方向性」について諮問し、実施内容や運営に関する答申を受けた。答申では、学校内の施設のさらなる活用、開室日数の増加、地域の方の協力によるプログラムなど活動内容の充実に関する事、特別な配慮が必要な児童の増加や安定的なスタッフ確保の課題など、事務局も含めた運営体制に関する課題が整理され、今後は答申に基づき対応を図っていく。</p>		<p>子供の対応は多種多様なため、今後も継続的に研修の機会をつくり、指導員の知識を高めていく。</p>			

実施事業

【新規事業】学校ホームページの
 リニューアル (2-10)

【担当課】 学校教育課

【関連課】

年 度	令和6年度	
事業内容	利便性の向上、ユニバーサルデザインの確保、セキュリティ強化を目的として、市内全ての学校ホームページを全面リニューアルするとともに、ホームページ管理システムを導入し、学校ホームページの作成・管理のシステム化を図る。	
目標（指標）	○学校ホームページの全面リニューアル 小・中学校（全10校） ○ホームページ管理システムの導入	
取組実績	○学校ホームページの全面リニューアル 小・中学校（全10校） ○ホームページ管理システムの導入	
成果・効果	学校ホームページを全面リニューアルするとともにホームページ管理システムを導入し、利便性の向上、ユニバーサルデザインの確保、セキュリティの強化を図ることができた。 また、市と同様のコンテンツマネジメントシステムを導入したことにより、学校の負担軽減に繋げることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	より充実した情報公開ができるよう、伴走支援を行う。	

事業の方向性

○多様なニーズに応じた教育支援の充実

特別支援教育の充実、不登校やいじめ防止の取組み等、児童・生徒一人ひとりが抱える課題や背景などを踏まえた指導・支援体制の更なる強化を図っていきます。

実施事業

特別支援教育推進体制の整備	(2-8)	特別支援教育推進体制の整備	(2-10)	特別支援教育推進体制の整備	(2-11)
---------------	-------	---------------	--------	---------------	--------

【担当課】 教育支援課 教育支援課 教育支援課

【関連課】 学校教育課、教育相談室、子育て相談課 学校教育課、教育相談室、子育て相談課 学校教育課、教育相談室、子育て相談課

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍するとの認識のもと、一人ひとりの児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育体制を充実する。 ○介助員、支援員の配置 ○専門職を活用した就学、転学相談の充実								
目標（指標）	○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上		○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上		○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上				
取組実績	○介助員、支援員の適正な配置(実人員:介助員22人、支援員21人) ○令和4年度における就学相談員の就学・転学相談(71件) 相談者のアンケート提出者からの肯定的な回答(96.1%)		○特別支援教育推進体制の充実のため、介助員、支援員の配置(介助員21人、支援員21人) 介助員設置要綱について、必要に応じて加配措置ができるよう一部改正した。(令和6年4月1日施行) ○令和5年度における就学相談員の就学・転学相談の実施件数 100件 相談が終了した案件のうち、アンケート回答提出62件からの肯定的な回答59件(95.2%)		○特別支援学級に特別支援教育介助員、通常の学級に特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育推進体制の充実を図った。(介助員23人、支援員30人) 特別支援教育支援員設置要綱について、要件を緩和して配置しやすいよう一部改正した。(R6.4.1施行) ○就学相談員を活用した就学・転学相談(90件)を実施した。 相談が終了した案件のうち、アンケート回答提出された55件の肯定的な回答は97.6%				
成果・効果	介助員、支援員を各学校に適切に配置し、支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備するとともに、就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。		介助員、支援員を各学校に適切に配置し、特別な支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備するとともに、就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。		特別支援教育介助員及び特別支援教育支援員を学校に適切に配置し、障害理解につながる研修を実施し、支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備した。 就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。				
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		B	達成度 50%以上80%未満		C	達成度 30%以上50%未満
課題・対応	各学校に介助員、支援員を適切に定数配置していく。多様化する相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。		介助員、支援員に資質向上のための研修を実施するとともに、引き続き、各学校に適切に配置していく。多様化・増加傾向にある相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。		特別支援教育介助員及び特別支援教育支援員を欠員のないよう適切に配置していく。多様化する相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。				

実施事業

	中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置・運営	(2-9)
--	-----------------------------	-------

【担当課】 教育支援課

【関連課】 学校教育課、教育相談室、子育て相談課

年 度	令和4年度	
事業内容	羽村第三中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を設置し、障害に応じた指導・支援を充実する。	
目標（指標）	○多様な障害特性に応じた支援体制の充実	
取組実績	○令和4年4月、障害に応じた指導・支援を充実するため、羽村第三中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を新たに設置した。	
成果・効果	市内小学校自閉症・情緒障害特別支援学級からの進学の接続が可能となり、特別支援教育推進体制の充実が図られた。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
	— 未実施	
課題・対応	特別支援学級教員の特別支援教育に関わる研修の充実を図るとともに、介助員の適切な配置により支援体制を充実していく。	

実施事業

特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	(2-11)	特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	(2-12)
-------------------------	--------	-------------------------	--------

【担当課】 教育支援課 教育支援課
 【関連課】 教育相談室 教育相談室

年 度	令和5年度		令和6年度			
事業内容	○特別な支援を要する児童・生徒の適切な学びの場を保障するため、特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒を対象に発達検査を実施する。		○特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が抱える困難の改善に向けて効果的に指導するため、特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒を対象に発達検査を実施する。			
目標（指標）	○指導期間延長の協議を令和6年1月末までに終了させる。		○指導期間延長の協議を令和7年1月末までに終了させる。			
取組実績	○対象児童・生徒の発達検査を令和6年1月末までに実施した。 ○特別支援教室における指導期間延長の協議件数が増加したため、令和6年1月末までの協議終了が困難となり、令和6年2月に臨時の入室支援委員会を開催し、協議終了することができた。件数 64件 ○協議件数の増加に対応するために、教育相談員による発達検査の追加的な実施体制を組み、発達検査を実施した。件数 25件		○令和6年度の特別支援教室における指導期間延長の協議件数は全51件。4月からの入室を確実にするため、このうち、44件(86%)の協議を令和7年1月末までに終了した。 ○発達検査を実施できる医療機関が少ない地域性や事情も考慮し、市の教育相談員による発達検査の計画的な実施体制を組み、令和7年2月に追加で7件(14%)の指導期間延長の協議を行い、特別支援教室を利用する児童・生徒の入室支援を行うことができた。			
成果・効果	特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒に対し、適切な学びの場を保障することができた。		教育活動の一部に特別な指導・支援を行う特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒に対し、適切な学びの場を保障することができた。			
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	
C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	
D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	特別支援教室を利用する対象児童・生徒及び指導期間の延長を要する児童・生徒が増加傾向にあり、発達検査の需要が急増しており、実施体制の強化と平準化することが必要になってきている。		特別支援教室を利用する対象児童・生徒が増加傾向にあり、発達検査の需要が増加していることから、学校や保護者に対し、手続に要する期間等の情報発信を適切に行っていく。			

実施事業

	教育相談体制の充実	(2-10)	教育相談体制の充実	(2-12)	教育相談体制の充実	(2-13)
--	------------------	--------	------------------	--------	------------------	--------

【担当課】 教育相談室

教育相談室

教育相談室

【関連課】 教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	全児童・生徒を対象に実施する生活アンケートを教育相談員が分析し、巡回教育相談において活用することで、不登校等の未然防止・早期対応に向けたきめ細やかな教育相談体制を充実させる。		→																																				
目標（指標）	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供																																				
取組実績	○令和4年7月に全児童・生徒を対象に1人1台端末により「心(こころ)のアンケート」を実施し、教育相談員によるアンケート分析結果を同年8月に学校へ提供した。	○令和5年7月に全児童・生徒を対象に1人1台端末により「こころのアンケート」を実施した。アンケート結果を年度内に学校へ提供できず、翌年度の提供となった。 (小学生2,343人、中学生1,175人) 不登校等の未然防止や問題行動等への早期対応、児童・生徒の不安や悩みに対し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材のほか、家庭と子供の支援員や新たに校内別室指導員を配置し、相談体制の充実を図った。 (スクールカウンセラーを全校配置、スクールソーシャルワーカーを中学校区ごとに配置、家庭と子供の支援員10校13人、校内別室指導支援員3校11人)	○アンケートの実施から内容把握・対応までの一層の迅速化を図るために、教育相談室から学校教育課へ実施体制を改めた。 ○全学校で児童・生徒を対象に、毎月実施する「生活アンケート」を活用し、学校生活・家庭生活や自尊感情等について、不安や悩みを抱える児童・生徒が選択式と自由記述を組み合わせることで回答できるようにして早期発見・早期対応に努めた。 ○全学校でアンケート結果を自校内で迅速に確認を行うこととし、内容により個別対応を行うなど、不登校等の未然防止を含む教育相談体制の充実につなげた。 ○不安や悩みを一人で抱え込まず、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、SNS・電話相談等の相談資源を適切に選択できるよう校内掲示や配布物を通じて、全児童・生徒に周知を行った。																																				
成果・効果	集計内容と各学級のデータ分析結果を学校へ情報提供することにより、各学校における児童・生徒の不登校等の未然防止ときめ細かい指導に活用することができた。	「こころのアンケート」の実施は、児童・生徒が抱える不安や悩み等の一人一人の状態を把握する上で継続的に実施する意義がある。児童・生徒の早期支援のために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門人材による相談・支援体制を整備した。	学校ごとにアンケートを実施することで、児童・生徒の不安や悩みを迅速に把握し、早期発見・早期対応に向けた取組を行った。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等多職種連携による支援につなげることができた。																																				
評価（達成度）	A	C	A																																				
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	アンケート結果から児童・生徒の傾向を把握し、継続的な見守りと教育相談員による巡回相談とスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を含む関係機関との必要な連携を行っていく。	アンケート結果を年度内に各学校へ迅速に提供することが優先的課題である。各学校における対応・指導に速やかに活用するため、アンケート期限後に学校へ提供するまでの標準日数を設定する。	児童・生徒の心理的な実態を把握し、その結果から迅速な対応や見守りを行う必要があることから、生活アンケートを引き続き、適切に実施していく。																																				

実施事業

家庭と子どもの支援員の活用推進	(2-13)	家庭と子どもの支援員の活用推進	(2-14)
-----------------	--------	-----------------	--------

【担当課】 教育相談室 教育相談室
 【関連課】 学校教育課 学校教育課

年 度	令和5年度		令和6年度			
事 業 内 容	各学校における別室登校、登校しぶり、不登校の児童・生徒に対し、家庭と子どもの支援員の活用による支援を推進する。					
目 標 (指 標)	家庭と子どもの支援員活動時間 年間1,400時間		家庭と子どもの支援員活動時間 年間1,400時間			
取 組 実 績	○登校しぶりや不登校傾向にある児童・生徒の登校支援や問題行動の未然防止のため、家庭と子供の支援員を市内全小・中学校に配置した。(10校13人、年間1,269時間) ○学校生活や家庭において課題の見られる児童・生徒へ直接関わるとともに、学校と家庭をつなぐ役割を担い、保護者への助言など、相談支援を行った。(支援児童・生徒数合計87人)		○登校しぶりや不登校傾向にある児童・生徒の登校支援や問題行動の未然防止のため、家庭と子供の支援員を市内全小・中学校に配置した。(10校17人、年間1,192時間) ○学校生活で生活指導上の課題を抱える児童・生徒へ直接関わるとともに、学校と家庭をつなぐ役割を担い、保護者への助言など、相談支援を行った。			
成 果 ・ 効 果	欠席児童・生徒への電話連絡等を通じて、登校支援につながる相談、通学路での立哨など、学校と家庭をつなぎ、児童・生徒の学校生活の安定につなげることができた。		登校しぶりや生活指導上の課題を抱える児童・生徒の支援に対応し、学校と家庭をつなぎ、登校支援につながる相談、通学路での立哨など、児童・生徒の学校生活の安定につなげることができた。			
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課 題 ・ 対 応	家庭と子供の支援員の担い手が不足し、確保が課題になってきており、欠員を出さないよう適切に配置していく。		家庭と子供の支援員の担い手不足などにより、欠員が生じないよう、人材確保が課題になってきている。			

基本施策2 地域資源の活用

施策

施策3 自らを高める体験学習の充実

あらゆる年代の市民が、自らを再確認し、社会性や適応力、発想力、行動力等を育めるよう、地域の豊かな資源を活用したさまざまな体験の場を充実します。

事業の方向性

○保護者の学習機会の充実

普段の生活では体験できない新たな学びを得られるよう、羽村市の恵まれた自然環境等を活かした体験事業を実施します。

実施事業

地域における自然体験事業の実施	(3-1)
-----------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度													
事 業 内 容	○自然体験事業の実施 1事業													
目 標 (指 標)	○定員数の70%以上の参加													
取 組 実 績	「多摩川釣り体験」を実施予定していたが、台風により河川の形状が変わり実施不可能となった。													
成 果 ・ 効 果	なし。													
評 価 (達 成 度)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">評価凡例</th> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">A</td> <td>達成度 80%以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>達成度 50%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>達成度 30%以上50%未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>達成度 30%未満</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>未実施</td> </tr> </table>		評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例														
A	達成度 80%以上													
B	達成度 50%以上80%未満													
C	達成度 30%以上50%未満													
D	達成度 30%未満													
—	未実施													
課 題 ・ 対 応	今後は自然体験事業を行っている他課の事業との連携について検討していく。													

実施事業

自然環境学習の充実	(3-2)	自然環境学習の充実	(3-1)	自然環境学習の充実	(3-1)
-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

【担当課】 環境保全課 環境保全課 環境政策課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	①羽村×八丈エコ教室の実施 ②みどりの環境教室の実施 ③水辺観察会の実施 ④ホテル観察会の実施		⑤[新規事業]生物観察会の実施																																				
目標(指標)	参加者数 ①22人 ②15人 ③15人 ④300人	参加者数 ②15人 ③15人 ④300人	②、③、⑤定員に対する参加者 80%以上 ④参加者数 500人																																				
取組実績	①羽村×八丈エコ教室 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ②みどりの環境教室 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ③水辺観察会 8月2日(火)実施 参加者数15人 ④ホテル観察会 新型コロナウイルス感染症対策及びホテル飛翔数の減少により中止とした。	②みどりの環境教室 3月16日(土)実施 参加者数3人/定員10人 ③水辺観察会 8月2日(火)実施 参加者数15人/定員15人 ④ホテル観察会 6月24日(土)実施 参加者数527人(定員なし)	②「親子で体験!たねダンゴを作ってみよう!」令和7年3月8日実施【参加11人/募集20人】 ③「水辺観察会」令和6年7月26日(金)実施【参加16人/募集15人程度】 ④「ホテル観察会」令和6年6月22日(土)実施【参加398人】 ⑤「羽村のいきもの見つけ隊!」令和6年6月15日(土)実施【参加21人/募集30人】 令和6年10月12日(土)実施【参加10人/募集30人】 ⇒②③⑤:定員に対する参加者の割合(61.05%)達成度76.3% ④:達成度 79.6%																																				
成果・効果	③多摩川での水生生物採取を通じて、多摩川に生息する生物の種類や、採取された水生生物から多摩川の水質がきれいな水であるということ、体験として学ぶ機会を提供することができた。	②緑地で植樹をすることで、緑地への関心を深め、身近なみどりへ目を向ける機会を提供することができた。 ③多摩川での水生生物採取を通じて、多摩川に生息する生物の種類や、採取された水生生物から多摩川の水質がきれいな水であること、体験として学ぶ機会を提供することができた。 ④市内に残る貴重な自然環境を体感するとともに、生物多様性に触れる機会を提供することができた。	②市街地の中にある貴重なみどりの場である稲荷緑地でたねダンゴ作り等の体験を行うことにより、市内の身近なみどりに目を向けてもらう契機となった。 ③身近な多摩川の水質を知ることで、水質環境の保全意識を高めることができた。 ④ホテルを通して自然の豊かさに触れることで、自然の大切さを認識することができた。 ⑤崖線緑地や根がらみ前水田に生息する生物を観察し、環境に対する感受性や見識を醸成し、公園への親しみを持つ機会をつくることができた。																																				
評価(達成度)	C <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	B <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	B <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	今後開催する際は様々な情報媒体を活用することで広く周知を図り、自然環境へ親しみ機会を提供できるよう取り組む。	広く周知を図るため様々な情報媒体を活用し、自然環境へ親しみ機会を提供できるよう取り組む。	目標(指標)としている値「80%」の近似値(76.3%・79.6%)という結果であった。参加者募集にあたり、周知方法を工夫したうえ、引き続き、自然環境学習の充実を図る。																																				

実施事業

農業に関する体験機会の提供	(3-3)	農業に関する体験機会の提供	(3-2)	農業に関する体験機会の提供	(3-2)
---------------	-------	---------------	-------	---------------	-------

【担当課】

産業振興課

産業振興課

産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	○農業体験農園を運営する農業者に対し支援を行い、農業体験農園の充実を図る。 ○農業に対する理解の促進等を図ることを目的として「農ウォーク」を実施する。								
目標（指標）	○農業体験農園の運営支援 1園 ○農ウォークの実施 1回			○農業体験農園の運営支援 1園 ○農ウォークの実施 1回			○農業体験農園の運営支援 1園 ○農ウォークの実施 1回 定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○農業体験農園の運営支援 1園(33区画、新規申込者5人) ○農ウォークの実施 1回(参加者33人)			○農業体験農園の運営支援 1園(20区画、新規申込者12人) ○農ウォークの実施 1回、参加者数21人/定員30人			○農業体験農園の運営支援 1園(16区画、新規申込者8人) ○農ウォークは悪天候のため中止した(申込者39人)。		
成果・効果	○農業体験農園の募集広報及び利用契約書の作成支援を行い、農業体験農園の充実が図れた。 ○6月25日(土)に農ウォークを行い都市農業のPRを行うとともに、農産物直売所や援農ボランティアのPRも行った。			○農業体験農園の募集広報及び利用契約書の作成支援を行い、市民の農業体験の機会を確保することで、農業に対する理解の促進を図ることができた。 ○令和5年11月22日(水)に農ウォークを行い都市農業のPRを行うとともに、農産物直売所や援農ボランティアのPRも行った。			○農業体験農園の募集広報及び利用契約書の作成支援を行い、市民の農業体験の機会を確保することで、農業に対する理解の促進を図れた。		
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	引き続き、継続して支援及び実施していく。			引き続き、継続して支援及び事業を実施していく。			農業に関する体験機会を確保するため、引き続き農業体験農園の運営を支援していくとともに、農ウォークや農業展など様々な機会を通じて農業理解の促進を図っていく。		

事業の方向性

○社会体験事業の実施

地域の一員としての社会性を育むことができるよう、地域行事への参加を促進するとともに、市内事業所等と協力した見学会などの社会体験事業を実施します。

実施事業

青少年健全育成事業等の実施	(3-4)	青少年健全育成事業等の実施	(3-3)	青少年健全育成事業等の実施	(3-3)
---------------	-------	---------------	-------	---------------	-------

【担当課】 子育て支援課

子育て支援課

子育て支援課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○青少年健全育成の日事業の実施 ○大島・子ども体験塾の実施 ○夢チャレンジセミナーの実施(東京都事業に採択の場合実施)		
目標(指標)	○大島・子ども体験塾参加者数 35人	○大島・子ども体験塾参加者数 30人(羽村市15人、あきる野市15人)	○大島・子ども体験塾 定員に対する参加者80%以上 定員42人(羽村市21人、あきる野市21人)
取組実績	○青少年健全育成の日事業の実施 青少年健全育成の日事業の実施(令和4年11月12日(土)・13日(日)) ・「青少年健全育成の集い」 表彰式:令和4年11月12日(土) 青少年功労者表彰及び模範青少年表彰式は、実施した。(対象者:10人) ・「子どもフェスティバル」(令和4年11月12日(土)・13日(日)) 屋内事業:実施(ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画運営) 屋外事業:模擬店等は新型コロナウイルス感染症対策から中止した。 ・「青少年健全育成ポスターコンクール」実施 令和4年度のテーマ 「まちをきれいにしよう」「おとしりをいたわろう」「いじめをなくそう」 ポスターコンクール応募者182名(うち入選者31人) 最優秀賞及び優秀賞については、「青少年健全育成の集い」の中で表彰式を実施した。 ○大島・子ども体験塾の実施 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○夢チャレンジセミナーの実施(東京都事業に採択の場合実施) 令和5年2月4日(土)実施 参加者数18人 家族他14人(合計32人) 演題 「華麗なる宝塚〜宝塚に学ぶ自分の輝かせ方〜」 講師 越乃リョウ氏(歌手/俳優)	○青少年健全育成の日事業の実施 青少年健全育成の日事業の実施(令和5年11月11日(土)・12日(日)) ・「青少年健全育成の集い」 表彰式:令和5年11月11日(土) 青少年功労者表彰及び模範青少年表彰式を実施 対象者:7人 ・「子どもフェスティバル」(令和5年11月11日(土)・12日(日)) 屋内事業:実施(ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画運営) 屋外事業:実施(模擬店は青少年対策地区委員会等が企画運営) ・「青少年健全育成ポスターコンクール」実施 令和5年度のテーマ 「子どもが活躍できる・げんきにすこせるまちってどんなまち？」 「まちをきれいにしよう」 「おとしりをいたわろう」 ポスターコンクール応募者 137名(うち入選者31人) 最優秀賞及び優秀賞については、「青少年健全育成の集い」の中で表彰式を実施した。 ○大島・子ども体験塾の実施 事前活動:令和5年7月30日(日) 実施日:令和5年8月12日(土)~14日(月) ※台風のため中止 ○夢チャレンジセミナーの実施(東京都事業に採択の場合実施) 令和6年2月10日(土)実施 参加者数13人 演題 「音と仲良くなる方法」 講師 松浦晃久氏(作曲家/音楽プロデューサー)	○青少年健全育成の日事業の実施 青少年健全育成の日事業の実施(令和6年11月9日(土)・10日(日)) ・「青少年健全育成の集い」(令和6年11月9日) 表彰式:令和6年11月9日(土) 青少年功労者表彰及び模範青少年表彰式の実施(対象者:8人) ・「子どもフェスティバル」(令和6年11月9日(土)・10日(日)) 屋内事業:実施(ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画運営) 屋外事業:実施(模擬店は青少年対策地区委員会等が企画運営) ・「青少年健全育成ポスターコンクール」実施 令和6年度のテーマ 「子どもがしあわせにくらせるまち」「まちをきれいにしよう」「おとしりをいたわろう」 ポスターコンクール応募者98名(うち入選者31人) 最優秀賞及び優秀賞については、「青少年健全育成の集い」の中で表彰式を実施した。 ○大島・子ども体験塾の実施 事前活動:令和6年7月14日(日) 実施日:令和6年8月8日(木)~11日(日) 事後活動:令和6年8月25日(日) 参加人数:羽村市21人 あきる野市21人 ○夢チャレンジセミナーの実施 令和7年2月9日(日)実施 参加者数13人 演題 「これが私。じぶんらしく生きるために。」 講師 KABA. ちゃん氏(タレント/振付師)
成果・効果	○青少年健全育成の日事業の実施 「青少年健全育成の日」は、青少年の健全育成活動に顕著な功績のあった者や模範青少年等の表彰を行うとともに、青少年を中心とした社会活動等を行い、活力に満ちた羽村市の将来を担う青少年の健全育成を図ることを目的としている。事業を実施することにより、参加している地域の大人や高校生たち、そして異年齢の子ども同士が関わることで、規範意識やコミュニケーション力を育むことができた。 また、「青少年健全育成ポスターコンクール」では、3つの設定テーマの中から、子どもたちが学校や地域、家庭など生活の中で感じていることや想いをポスターにするなど、地域美化への理解と関心や、「他者を思いやる」意識を再確認することができたことは、大きな成果と考えている。 ○夢チャレンジセミナーの実施(東京都事業に採択の場合実施) 経験豊かな講師の体験談や交流体験を通して、世代間の相互理解を深め、地域の中でダイバーシティ意識を育むことができた。	○青少年健全育成の日事業の実施 「青少年健全育成の日」は、青少年の健全育成活動に顕著な功績のあった者や模範青少年等の表彰を行うとともに、青少年を中心とした社会活動等を行い、活力に満ちた羽村市の将来を担う青少年の健全育成を図ることを目的としている。事業を通じて、参加している地域の大人や高校生たち、そして異年齢の子ども同士が関わることで、規範意識やコミュニケーション力を育むことができた。 また、「青少年健全育成ポスターコンクール」では、3つの設定テーマの中から、子どもたちが学校や地域、家庭など生活の中で感じていることや想いをポスターにするなど、「子どもまんなか社会の実現」や、「地域美化への理解と関心」、「他者を思いやる意識」を再確認することができたことは、大きな成果と考えている。 ○夢チャレンジセミナーの実施(東京都事業に採択の場合実施) 経験豊かな講師の体験談や交流体験を通して、世代間の相互理解を深め、地域の中でダイバーシティ意識を育むことができた。	○青少年健全育成の日事業の実施 「青少年健全育成の日」は、青少年の健全育成活動に顕著な功績のあった者や模範青少年等の表彰を行うとともに、青少年を中心とした社会活動等を行い、活力に満ちた羽村市の将来を担う青少年の健全育成を図ることを目的としている。事業を通じて、参加している地域の大人や高校生たち、そして異年齢の子ども同士が関わることで、規範意識やコミュニケーション力を育むことができた。 また、「青少年健全育成ポスターコンクール」では、3つの設定テーマの中から、子どもたちが学校や地域、家庭など生活の中で感じていることや想いをポスターにするなど、「子どもまんなか社会の実現」や、「地域美化への理解と関心」、「他者を思いやる意識」を再確認することができたことは、大きな成果と考えている。 ○夢チャレンジセミナーの実施 経験豊かな講師の体験談や交流体験を通して、世代間の相互理解を深め、地域の中でダイバーシティ意識を育むことができた。
評価(達成度)	B	A	A
課題・対応	来年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多くの方が参加できるよう、事業内容を精査する。	「青少年健全育成の日事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響で、模擬店を中心とした屋外事業は中止となっていたが、今年度は、実施することができ、多くの来場者があった。 「大島・鳥しよ広域連携活動助成事業・大島子ども体験塾」については、事前活動まで滞りなく進めることができたが、本番の大島の体験活動が台風の影響で実施できなかった。 引き続き、より多くの子どもたちが体験事業に参加することができるよう計画を立てていく。	引き続き、活力に満ちた羽村市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、青少年健全育成の日事業を実施していく。また、より多くの子どもたちが体験事業に参加することができるよう計画を立てていく。

実施事業

	青少年対策地区委員会・地区委員会連絡協議会の活動支援	(3-5)	青少年対策地区委員会・地区委員会連絡協議会の活動支援	(3-4)	青少年対策地区委員会・地区委員会連絡協議会の活動支援	(3-4)
--	----------------------------	-------	----------------------------	-------	----------------------------	-------

【担当課】 子育て支援課

子育て支援課

子育て支援課

【関連課】

生涯学習推進課

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	青少年の社会参加活動や体験活動を促進するため、青少年対策地区委員会、青少年対策地区委員会連絡協議会の活動を支援する。				→	
目標（指標）	○青少年対策地区委員会補助金の交付 ○青少年対策地区委員会連絡協議会補助金の交付		○青少年対策地区委員会の活動支援 ○青少年対策地区委員会連絡協議会の活動支援		○青少年対策地区委員会への補助金支給 ○青少年対策地区委員会連絡協議会への情報提供 4回	
取組実績	○青少年対策地区委員会補助金の交付 青少年対策地区委員会補助金 ¥2,710,970円(7団体) ○青少年対策地区委員会連絡協議会補助金の交付 青少年対策地区委員会連絡協議会補助金 ¥200,965円		○青少年対策地区委員会補助金の交付 青少年対策地区委員会補助金 2,710,990円(7団体) ○青少年対策地区委員会連絡協議会補助金の交付 青少年対策地区委員会連絡協議会補助金 283,000円		○青少年対策地区委員会補助金の交付 青少年対策地区委員会補助金 ¥2,456,808(7団体) ○青少年対策地区委員会連絡協議会補助金の交付 青少年対策地区委員会連絡協議会補助金 ¥283,000 青少年対策地区委員会連絡協議会への情報提供 4回	
成果・効果	補助金を交付することにより、青少年のための地区活動の推進を図ることができた。		補助金を交付することにより、青少年のための地区活動の推進を図ることができた。		補助金を交付することにより、青少年のための地区活動の推進を図ることができた。	
評価（達成度）	B	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満	
		C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満	
		D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満	
		—	未実施	—	未実施	
課題・対応	各地区において事業を実施する際、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、多くの青少年が参加できるよう対策を講じることが課題である。		各地区において事業を実施する際、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、多くの青少年が参加できるよう対策を講じることが課題である。		引き続き、青少年の社会参加活動や体験活動を促進するため、青少年対策地区委員会、青少年対策地区委員会連絡協議会の活動を支援する。	

実施事業

市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	(3-6)	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	(3-5)	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	(3-5)
----------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	○市内事業所等の見学 1事業		○市内事業所等による出前講座の実施 1事業		
目標(指標)	○定員数の70%以上の参加	○定員数の70%以上の参加	○定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○羽村の企業を知るシリーズ 特別篇「生活の中のごみを考える」 ～西多摩衛生組合 環境センター見学会～ 令和4年11月23日 定員30人 ○参加者数28人/申込30人 参加率93% 参加者の満足度85%	○わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇「(株)電子制御国際」ニプロ(株)東京OPF 実施日 令和5年11月23日 参加者数58人/申込者数58人/定員60人 参加率 100%(定員に対する参加者 96.6%) 満足度 87%	○わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇「東成エレクトロビーム(株)」日都産業(株) 実施日 令和6年11月24日 参加者数28人/申込者数32人/定員50人 参加率 56% 満足度 75%		
成果・効果	西多摩衛生組合環境センターの役割を知り、環境を守ることの重要性を認識する機会を提供できた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画・運営を行い、市民を対象に市内事業所を知る出前講座を行い、2社の事業やその役割を学ぶことができた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画・運営を行い、市民を対象に市内事業者を知る出前講座を行い、2社の事業や社会的役割を学ぶことができた。		
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例		
	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	B
課題・対応	羽村の企業を知るシリーズは、平成22年度から始まった人気講座でもあることから、市内企業の協力を得ながら継続していく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働で、市内事業者を知る講座を行っていく。 また、市内事業者を知ることから地域雇用につなげていくため、対象や周知方法について工夫していく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働で、市内事業者を知る講座を行っていく。 また、市内事業者を知ることから地域雇用にもつなげていくため、対象や周知方法について工夫していく。		

【担当課】 産業振興課

産業振興課

産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	○羽村市産業祭工業展における企業紹介及びものづくり体験事業の実施 ○商工会が主体的に取り組む「まちゼミ」の実施に向けた支援		○商工会が取り組む「まちゼミ」の運営を支援する。 ○「はむら市民と産業のまつり」において市内企業による体験事業を実施する。		
目標(指標)	○ものづくり体験事業参加者数 20人	○ものづくり体験事業参加者数 20人 ○「まちゼミ」の広報・周知・PRの協力	○「まちゼミ」の広報等への協力 ○企業体験事業の実施		
取組実績	○羽村市産業祭は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。 ○「まちゼミ」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により次年度に持ち越しとした。	○はむら市民と産業のまつりにおける工業展の実施(市内企業の持つ高度な技術を体験) ・MusicTapestry(ミュージック・タペストリー)体験(デジタルピアノによる演奏を絵にすることができる技術)として実施 参加者数延べ198人 ・ビジュアルプログラミングソフト体験(プログラミング学習ソフト「スクラッチ」を活用したプログラミング体験)の実施 参加者数延べ54人 ○「まちゼミ」に関するチラシを全戸配布するとともに、「はむら市民と産業のまつり」におけるPRブースを設置した。 ・参加事業者51社、実施講座数54講座、参加者数437人 実施期間 令和5年11月15日～12月15日	○はむら市民と産業のまつりにおける工業展の実施 ・「オリジナル缶バッジをつくろう!」として、体験イベントを実施した。参加人数360人 ○「まちゼミ」に関するチラシを全戸配布するとともに、「はむら市民と産業のまつり」におけるPRブースを設置した。 ・参加事業者41社、実施講座数44講座、参加人数467人 (実施期間R6.10.15～11.15)		
成果・効果	○次年度の新たなイベントの開催に向けて検討・協議を行い、一定の方向性を導いた。 ○次年度の実施に向けて商工会と情報交換を実施することができた。	○ものづくり体験としては実施していないが、市内企業の持つ高度な技術を体験できる貴重な場として実施することができた。 ○まちゼミに対する反響が大きく、多くの講座で満員となった。市民の学びへの関心が高いことを実感した。	○市内企業の持つ高度な技術を体験できる貴重な場として実施し、子どもたちを中心に多くの参加者を得られた。 ○まちゼミに対する反響が大きく、多くの講座で満員となった。市民の学びへの関心が高いことを実感した。		
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例		
	—	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A
課題・対応	次年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で新たなイベントの開催に取り組んでいく。	○ものづくり体験は企業の負担が大きく、実施が困難である。今後、新たな体験事業を検討していく。 ○まちゼミは市民の注目度が高く、人気のある講座は申込開始と同時に問い合わせが殺到し、即時に満員になることがあった。引き続き広報等のPRに努めていく。	○ものづくり体験は企業の負担が大きく、今後様々な体験事業を検討していく。 ○まちゼミは市民の注目度が高く、人気のある講座は申込開始と同時に問い合わせが殺到し、即時に満員になることがあった。引き続き広報等のPRに努めていく。		

事業の方向性

○異世代間交流の促進

古くからの知恵や地域の慣習が受け継がれるとともに、新たな考えや技術が地域に広まり、新たな学びへとつながるよう、異世代間の交流を促進します。

実施事業

	地域教育シンポジウムの実施 (3-7)
--	----------------------------

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度													
事 業 内 容	○地域教育シンポジウムの実施 1回													
目 標 (指 標)	○参加者の満足度 80%以上													
取 組 実 績	「家庭教育のありかたについて考え、家庭(親)の教育力の向上を図る」という地域教育シンポジウムの目的は、家庭教育セミナーと一致するため、地域教育シンポジウムは単体で実施せず、家庭教育セミナーに統合して実施した。													
成 果 ・ 効 果	なし。													
評 価 (達 成 度)	—	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>達成度 80%以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>達成度 50%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>達成度 30%以上50%未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>達成度 30%未満</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例														
A	達成度 80%以上													
B	達成度 50%以上80%未満													
C	達成度 30%以上50%未満													
D	達成度 30%未満													
—	未実施													
課 題 ・ 対 応	地域シンポジウムは、家庭教育セミナーと統合し、同セミナーの充実により目的を果たしていく。													

基本施策2 地域資源の活用

施策

施策4 地域人材が活躍できる場の充実

市民が学んできた知識や技能を活かすことができる場を充実させることにより、他の市民の学びのきっかけとなり、学びの輪が広がる循環型の生涯学習を推進します。

事業の方向性

○潜在的な地域人材の発掘と活動の場の提供

活動を始めたとしてもその第一歩が踏み出せない方や踏み出し方がわからない方、自分の知識や技能などが地域に活かせることに気付いていない方など、地域に眠る潜在的な人材を発掘するとともに、現在実践的に活動されている方を含めて、それぞれの知識や技能を活かせる活動の場を提供します。

実施事業

人材バンク登録制度の活用 (4-1)	人材バンク登録制度の活用 (4-1)	人材バンク登録制度の活用 (4-1)
--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】

生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○はむら人ネットガイドの発行 1回					
目標(指標)	○新規登録者 3人 ○人材バンク利用 3件		○新規登録者 3人 ○人材バンク利用 3件		○新規登録者 3人 ○人材バンク利用 3件	
取組実績	○全体で23人の人材を登録、うち2人の新規登録を行った。 ○人材バンク利用 1件(問い合わせ)		○はむら人ネットガイドの発行 1回 ○新規登録者 0人 ○人材バンク利用(問合せ) 2件		○はむら人ネットガイドの発行 1回 ○新規登録者 0人 ○人材バンク利用(問合せ) 0件	
成果・効果	学ぶ意欲のある市民に対し、必要な知識、技術等を提供するための人材を周知することができた。		はむら人ネットガイドを発行し、学ぶ意欲のある市民に、生涯学習に関する特技や技能、知識などを提供したい市民の情報を提供することができた。		はむら人ネットガイドを発行したが、新規登録者、人材バンク利用ともになかった。	
評価(達成度)	B	評価凡例		B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	高齢化やコロナ禍を理由にした登録抹消者が多いことから、「はむらの教育」等で制度について呼びかけ、登録者及び利用者の増加を図っていく。		制度の利用(問合せ)はあったが、新規登録者はいなかったため、引き続き、新規登録者を募集し、市民へ制度について情報提供を行っていく。		はむら人ネットガイドの内容や運用について検討する。	

実施事業						
	ボランティア活動の意識啓発	(4-2)	ボランティア活動の意識啓発	(4-2)	市民に対するボランティア活動の意識啓発	(4-2)

【担当課】 地域振興課 地域振興課 地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○ボランティアに関する講座等の実施 1回								
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上		○参加者の満足度 80%以上		○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上				
取組実績	市民活動に役立つスマートフォン講座の実施 LINE・キャッシュレス編 1回 Zoom編 1回		○市民活動に役立つスマートフォン講座の実施 ①情報発信(Instagram)編 1回、参加者数9人/定員20人、満足度87.5% ②コミュニケーション(LINE)編 1回、参加者数10人/定員20人、満足度100% ※満足度は、アンケートにて「大変良かった」「良かった」を合わせたもの		○日本語学習支援ボランティア入門講座の実施 1回 ・参加者数19人/定員20人⇒定員に対する割合95% ・満足度88%(アンケートにて「大いに参考になった」と回答)				
成果・効果	参加者へのアンケートで、LINEなどを使って人と交流すること、ビデオ通話、Zoomへの参加やZoomによる語学教室への参加ができそうであるとの回答があった。		参加者へのアンケートで、学んだことを他の人に伝えたい、ボランティアとして参加してみたい等の回答があり、参加者のスキル向上とともに、ボランティア意識の啓発が図られた。		講座を通して、日本語学習支援に関する知識の習得をするとともに、日本語学習支援ボランティアについての興味や関心を高めることができた。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	例年、多くの市民から申込みや問合せがあり、市民の関心の高さが伺えることから、今後も実施に向け、検討していく。		例年、多くの市民から申込みや問合せがあり、市民の関心の高さがうかがえることから、引き続き、内容の充実を図りながら実施していく。		市内外外国人住民数は増加しており、日本語学習支援ボランティアへの参加促進が重要であることから、今後も引き続き実施していく。				

実施事業

援農ボランティア制度の充実	(4-3)	援農ボランティア制度の充実	(4-3)	援農ボランティア制度の充実	(4-3)
---------------	-------	---------------	-------	---------------	-------

【担当課】

産業振興課

産業振興課

産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○援農ボランティア制度の充実に向けて、制度の周知に努めるとともに、農業者と援農ボランティア活動者の支援を行う。 ○農業者と援農ボランティアとの交流会 1回		○農業者と援農ボランティアが交流する機会を設ける。		→				
目標(指標)	○新規援農ボランティア登録者 5人		○新規援農ボランティア登録者 5人 ○農業者と援農ボランティアの交流会 1回		○新規援農ボランティア登録者 5人 ○農業者と援農ボランティアの交流会 1回				
取組実績	○新規援農ボランティア登録者 14人 ○「交流会」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。		○新規援農ボランティア登録者 17人 ○農業者と援農ボランティアの交流会 1回、参加者数 17人		○新規援農ボランティア登録者 7人 ○農業者と援農ボランティアの交流会 1回(参加者21人)				
成果・効果	広報はむらをはじめ、農ウオークや農産物の出張販売等で援農ボランティアのPRを行い、登録者を増やすことが出来た。		○広報はむらをはじめ、農ウオークや農産物の出張販売等で援農ボランティアのPRを行い、登録者を増やすことが出来た。 ○農業者と援農ボランティアの交流会を実施し、農業者とボランティアの絆を深めた。		○広報はむらをはじめ、チューリップ球根の掘り取り・植え付けや農産物の出張販売等で援農ボランティアのPRを行い、登録者を増やすことが出来た。 ○農業者と援農ボランティアの交流会を実施し、農業者とボランティアの絆を深めた。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	
C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	
D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	引き続き、継続して制度の充実を図る。		引き続き、継続して支援及び実施していく。		継続して活動しているボランティアが高齢化していること、新規の登録が減っていることから、ボランティア活動者の支援を実施していくとともに、様々な機会を捉え、援農ボランティア制度の周知を図る。				

実施事業

観光ボランティアガイドの養成支援 (4-4)	観光ボランティアガイドの養成支援 (4-4)	観光ボランティアガイドの養成支援 (4-4)
------------------------	------------------------	------------------------

【担当課】 産業振興課 産業振興課 産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	○観光協会が実施する「観光ボランティアガイド」の養成支援する。				
目標(指標)	○新規養成者 3人	○「観光ボランティアガイド」が参加する事業への協力(2回)	○「観光ボランティアガイド」を養成する事業(観光ボランティアガイド養成講座(座学・実践))への協力(2回)		
取組実績	○観光協会が市助成金を活用し、ボランティアガイドの養成講座を開催した。 実施:2月1日、8日、15日(3回) 参加者:7名(新規:4人)	○観光協会による「観光ボランティアガイド」養成講座の実施 4回、参加者数延べ34人 ・広報紙への掲載、講習会場の提供を支援した。	○観光協会による「観光ボランティアガイド」養成講座の実施4回 ・広報紙への掲載、講習会場の提供を支援した		
成果・効果	市民と一緒に、羽村市を広くPRしていけるよう、観光ボランティアガイドの育成を支援することができた。	○参加者数延べ34人(うち新規の受講者3人)の受講があったが、新たな観光ボランティアガイドの認定者はいなかった。(すべて学びなおし) 今後は、市の観光資源の発信に努めていただく。	○延べ24人の受講があり、新たな観光ボランティアガイドとして1人認定した。(その他参加者は、学びなおし)今後は、市の観光資源の発信に努めていただく。		
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例		
	A	A 達成度 80%以上	A	A 達成度 80%以上	A
		B 達成度 50%以上80%未満		B 達成度 50%以上80%未満	
		C 達成度 30%以上50%未満		C 達成度 30%以上50%未満	
		D 達成度 30%未満		D 達成度 30%未満	
— 未実施	— 未実施				
課題・対応	引き続き、継続して支援していく。	○観光協会に所属するガイド員の高齢化が進み、企業の定年延長とともに新規の受講者が減少傾向にある。持続可能な観光施策とするため、若年層にガイドの魅力を発信していくことも必要である。	○観光協会に所属するガイド員の高齢化が進み、企業の定年延長とともに新規の受講者が減少傾向にある。持続可能な観光施策とするため、若年層にガイドの魅力を発信していくことが重要である。		

実施事業

図書館ボランティアの育成と支援	(4-5)	図書館ボランティアの育成と支援	(4-5)	図書館ボランティアの育成と支援	(4-5)
-----------------	-------	-----------------	-------	-----------------	-------

【担当課】

図書館

図書館

図書館

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○図書館ボランティア事業の実施 ○図書館ボランティア養成講座の実施		○図書館ボランティアの受け入れ						
目標(指標)	○図書館ボランティア養成講座受講者数 5人		○図書館ボランティア養成講座受講者数 5人		○図書館ボランティア養成講座 定員に対する参加者 80%以上				
取組実績	○本の読み聞かせ、書棚・書庫整理、新聞切抜き、屋上緑化等のボランティア活動への支援 ○図書館ボランティア養成講座の開催 2回 参加者数8人		○本の読み聞かせ、書棚書庫整理、屋上緑化等のボランティア活動への支援 ○羽村市図書館開館50周年を記念した感謝状の授与(11団体) ○図書館ボランティア養成講座の開催 ・実施日 令和6年2月11日(日) ・テーマ「お話会のすすめ方を学ぶ」 ・受講者数 7人 ○個人ボランティアの活動(書架整理) 2人		○図書館ボランティア(団体・個人)の受け入れ(本、紙芝居等の読み聞かせ、ブックトーク、書棚書架整理、屋上緑化等) ・受入団体:7団体 ・受入個人:6人 延べ117日 ○図書館ボランティア養成講座の開催 【紙芝居の操演】 ・実施日:令和6年9月28日(土)/10月5日(土)(2日間講座) ・内容:「楽しい紙芝居の演じ方」 ・参加者数:15人(申込者数:17人)/定員:20人 ・定員に対する参加者数の割合:75% 【音訳】 ・実施日:令和6年9月26日(木)/10月10日(木)/10月24日(木)(3日間講座) ・内容:「音訳ボランティア入門講座」 ・参加者数:10人(申込者数10人)/定員:12人 ・定員に対する参加者数の割合:83%				
成果・効果	図書館との様々な支援・連携によってボランティアのモチベーションを高めることができた。 ボランティア養成講座については、今後の図書館での対面朗読サービスボランティアの登録へつなげることができた。		図書館ボランティアについては、幼児から社会人を対象とした各種の読み聞かせ会や学校読み聞かせ会への参加依頼を通じて各団体の活動機会や活動場所の支援を行った。 各団体への表彰については、図書館から感謝の意を伝えることができた。 図書館ボランティア養成講座に関しては、通常の読み聞かせの手法等に加え、特別な配慮が必要な児童・生徒への注意点等の教示もあり、受講者の知識の向上につながった。		図書館ボランティアの活動機会や活動場所の支援を行うことができた。 ○本の読み聞かせ同様に人気のある紙芝居の手法を学び、参加者自身のスキルアップを図ることができた。 ○今後のおはなし会のバリエーションを増やすことができた。 ○音訳ボランティア入門講座受講生からボランティア団体への新規入会者が誕生した。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施	—	未実施			
課題・対応	ボランティアと良好な関係を維持するとともに、新たなボランティアの養成にも不断に取り組む必要がある。		各団体への新規加入者が減少しているため、引き続き募集案内を含め支援を継続していく。 図書館ボランティア養成講座については、団体への新たな参加には至らなかったが、今後も団体での活動への架け橋となるようなテーマを設定し、団体の活動が活発化することをもちって図書館サービスの向上を図る。		個人ボランティアの活動は増えているものの、ボランティア団体への新規加入者が減少しているため、ボランティア養成講座の内容を一般の方にもより分かりやすくするよう講師選定を進め、募集案内を含め支援を継続していく。				

実施事業

魅力発信市民記者の活用 (4-7)	魅力発信市民記者の活用 (4-7)	魅力発信市民記者の活用 (4-7)
-------------------	-------------------	-------------------

【担当課】

秘書広報課

秘書広報課

秘書広報課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
事業内容	市民記者が、自らの関心事から魅力を掘り起こし、取材活動を行い、執筆した記事及び撮影した写真を羽村市公式PRサイト等で発信する。								
目標(指標)	○記事作成 5本	○記事作成 5本	○記事作成 5本						
取組実績	○記事作成 1本	○記事作成 1本	○記事作成 2本						
成果・効果	記事を発信したことで、取材先の店舗に足を運んでみようという読者の関心惹起につなげることができた。	取材した団体の存在やそこに関わる人の想いを記事を通して発信したことで、市民に有益な情報を届けることができた。	取材した団体の存在やそこに関わる人の想いを記事を通して発信したことで、市民に対してはシビックプライドの向上に資する、市外の方に対しては羽村の魅力を伝える有益な情報を届けることができた。						
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例		評価凡例				
	D	A	達成度 80%以上	D	A	達成度 80%以上	C	A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	記事の本数については、市民記者の都合に影響されてしまうところがあるが、記事を作成するための編集会議は継続的に毎月1回行っており、羽村市に関する情報交換ができています。	記事の本数については、市民記者の都合に影響されてしまうところがあるが、今後も編集会議を毎月1回は行い、記事を増やしていけるよう働きかけていく。	目標の記事の本数に届かなかったが、令和5年度より年度内の作成本数は増えているため、今後も編集会議を通して、年間の目標本数を達成できるよう市民記者に働きかけていく。						

事業の方向性

○学びのきっかけの提供

循環型の生涯学習を目指して、新たな学びのきっかけを提供し、学びの輪を広げます。

実施事業

学びのきっかけとなる講座の実施	(4-8)	学びのきっかけとなる講座の実施	(4-8)	学びのきっかけとなる講座の実施	(4-8)
-----------------	-------	-----------------	-------	-----------------	-------

【担当課】

生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
事業内容	○初心者講座の実施 4回								
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上						
取組実績	○初心者陶芸教室 6回 定員15人 受講料3,500円(材料費のみ) ○参加者 13人/申込15人 ①11月5日 制作 ②11月6日 制作 ③11月19日 削り ④11月27日 窯詰 ⑤12月10日 軸掛け・窯詰 ⑥12月17日 窯出・合評会 参加者の満足度100%	○初心者講座「ビーズ刺繍ワークショップ」の実施 4回 (令和6年2月11日・18日・25日、3月3日) ○参加者数9人/定員9人 ○参加者の満足度 100%	○初心者講座「健康マージャン教室」の実施 4回 (令和7年2月16日・23日、3月2日・3日) ○参加者数16人/定員16人(定員に対する参加者100%) ○参加者の満足度 100%						
成果・効果	初心者講座の終了後、参加者10人による新たな陶芸サークルが立ち上がった。	生涯学習の初心者講座として「ビーズ刺繍ワークショップ」を実施した。講座終了後、参加者によるサークル化が図られた。 アンケート結果では、回答者の100%の方が「良かった」と評価した。	アンケート回答者の100%の方が「良かった」と評価した。 講座終了後、参加者によるサークル化が図られ、市民主体での活動継続につながった。						
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	初心者講座の実施により、引き続き学びのきっかけの場を市民に提供していく。	引き続き、市民の生涯学習のきっかけや受講後のサークル化・活動の発表による交流を創出するため、初心者講座を開催していく。	引き続き、市民の生涯学習のきっかけや受講後のサークル化・活動の発表による交流を創出するため、初心者講座を開催していく。						

事業の方向性

○地域人材と学校の連携の充実

地域の人材が知識や技能を学校において活かせるよう、連携の充実に図ります。

実施事業

学校支援地域本部の活用	(4-9)	地域学校協働本部の活用	(4-9)	地域学校協働本部の活用	(4-9)
-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

【担当課】

学校教育課

学校教育課

学校教育課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	各中学校区に配置しているコーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実に図る。	地域学校協働活動の地域コーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実に図る。 また、コミュニティ・スクールを導入する学校に活動推進員を配置し、学校と地域が一体となった活動を推進するとともに、コミュニティ・スクール委員会との連携を図る。																																					
目標（指標）	○コーディネーターの配置 中学校区 各1人	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 2校	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 小・中学校全10校（令和5年度の2校から全校配置）																																				
取組実績	○コーディネーターの配置 中学校区 各1人	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 2校	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 小・中学校全10校10人																																				
成果・効果	各中学校区に配置したコーディネーターが、学校と連携しながら、学校のニーズに沿った地域人材の発掘等を行うことで、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実に図ることができた。	各中学校区に配置したコーディネーターを中心に、学校と連携しながら、学校のニーズに沿った地域人材の発掘等を行うことで、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実に図ることができた。	各学校の地域学校協働本部に配置した活動推進員及び、中学校区ごとに配置した地域コーディネーターを中心に、学校のニーズに沿った地域人材の発掘、コーディネートを行った。また、推進委員それぞれの活動状況を共有し、地域に密着した学校活動の充実につなげることができた。																																				
評価（達成度）	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	コミュニティ・スクールの導入により、地域学校協働本部（学校支援地域本部）との連携がこれまで以上に重要となる。	コミュニティ・スクールの導入により、地域学校協働本部との連携がこれまで以上に重要となる。	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、学校のニーズに沿った人材発掘等を行う。また、充実した活動につなげられるよう、連絡会を開催して意見交換を行うなど、地域学校協働本部間の連携も強化する。																																				

事業の方向性

○生涯学習に関する資格取得の支援

生涯学習に関する指導的立場の方やコーディネーター的な活動をされている方、これから生涯学習に関する活動を始めたい方など向けに、社会教育士制度や生涯学習コーディネーター資格認証制度などの情報提供等の支援を進めます。

実施事業

生涯学習に関する資格等の 情報提供	(4-10)	生涯学習に関する資格等の 情報提供	(4-10)	生涯学習に関する資格等の 情報提供	(4-10)
----------------------	--------	----------------------	--------	----------------------	--------

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○市公式サイトでの情報発信 ○資格認証制度の相談受付					
目標（指標）	○「はむらの教育」への記事の掲載 2回		○「はむらの教育」への記事の掲載 2回		○「はむらの教育」への記事の掲載 2回	
取組実績	資格認定制度に係る情報収集が不十分であったため、記事の掲載に至らなかった。		○市公式サイト及び「はむらの教育」に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民へ情報発信を行った。 ○資格認証制度の相談受付を行った。		○市公式サイト及びはむらの教育令和7年3月1日号に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民へ情報発信を行った。(1回) ○資格認証制度の相談を受けられる体制を整えた。	
成果・効果	なし。		市民に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度を情報提供し、生涯学習に関する資格について情報提供を行うことができた。		市民に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度を情報提供し、生涯学習に関する資格について情報提供を行うことができた。	
評価（達成度）	D	評価凡例		B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	
C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	
D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	資格認定制度に関する資料を収集し、必要な方に情報提供していく。		市公式サイトに社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民への情報提供を行ったが、「はむらの教育」への記事掲載は1回のみであった。 情報発信方法等を見直し、引き続き、市民へ生涯学習に関する資格等の情報を提供していく。		市民の生涯学習機会の企画・実践を行う人材を増やしていくため、ゆとりぎ協働事業運営市民の会や生涯学習講座での情報提供など、情報発信方法等を見直し、引き続き、市民へ生涯学習に関する資格等の情報を提供していく。	

基本施策2 地域資源の活用

施策

施策5 羽村の歴史と文化の保護・継承

市民が、自らが生活する「はむら」に郷土としての愛着と誇りを持てるよう、郷土を学ぶ機会を充実します。
市内に散在する有形・無形の歴史遺産や文化遺産を、後世に正しく残していきます。

事業の方向性

○郷土学習のための学習会や展示の充実

「玉川上水」「養蚕」「青梅鉄道」「縄文遺跡」「中里介山」等、羽村市における歴史的・文化的財産を活用し、郷土愛を醸成するためのさまざまなテーマによる企画展、講座、見学会などを実施します。

実施事業

	企画展の開催	(5-1)	企画展の開催	(5-1)	企画展の開催	(5-1)
--	--------	-------	--------	-------	--------	-------

【担当課】

郷土博物館

郷土博物館

郷土博物館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○企画展「こいのぼりと五月人形」 ○企画展「お伊勢参り(仮)」 ○企画展「むかしのくらし」 ○企画展「ひな人形展」	○企画展「はむらの養蚕(仮)」	○企画展「収蔵資料展 ～郷土博物館コレクション～」 ○ミニ展示「青梅鉄道開通130周年事業」
目標(指標)	○郷土博物館入館者数 20,000人	○郷土博物館入館者数 20,000人	○郷土博物館入館者数 20,000人
取組実績	○入館者数27,043人を達成した。 ・「こいのぼりと五月人形展」3月26日(土)～5月15日(日) 入館者数 4,085人 ・「あこがれのお伊勢参り」6月4日(土)～8月21日(日) 入館者数 3,773人 ・「むかしのくらし」1月4日(水)～1月22日(日) 入館者数 1,500人 ・「ひな人形展」2月4日(土)～3月5日(日) 入館者数 2,359人	○入館者数 24,055人 ○企画展「こいのぼりと五月人形」 令和5年4月15日～5月14日、入館者数1,847人 ○企画展「はむらの養蚕展」 令和5年10月7日～11月26日、入館者数5,962人 ○企画展「むかしのくらし」 令和6年1月4日～21日、入館者数1,172人 ○企画展「ひな人形展」 令和6年2月3日～3月3日、入館者数1,800人	入館者数22,317人を達成した。 企画展「こいのぼりと五月人形」4月13日～5月12日 入館者数1,991人 企画展「収蔵資料展 ～郷土博物館コレクション～」10月5日～12月1日 入館者数6,455人 ミニ展示「青梅鉄道開通130周年記念展～青梅鉄道の開業と羽村～」10月5日～12月1日 入館者数6,455人 企画展「ひな人形展」2月8日～3月9日 入館者数1,541人
成果・効果	計画した事業を実施した結果、コロナ禍以前の入館者数を確保し、羽村の郷土について学ぶ機会を提供することができた。	○常設展示や企画展示を通じて、郷土を学ぶ機会を回れた。 ○市の歴史、文化を分かりやすく展示することにより理解促進が図れた。	常設展示や企画展示を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会を回ることが出来た。
評価(達成度)	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	今後も魅力ある展示を企画し、リピーターや新たな来館者の獲得を図っていく。	今後も魅力ある展示を企画・運営し、リピーターや新たな来館者の獲得を図る。	今後も魅力ある展示を企画・運営し、リピーターや新たな来館者の獲得を図る。

実施事業

郷土学習のための講座等の実施	(5-2)	郷土学習のための講座等の実施	(5-2)	郷土学習のための講座等の実施	(5-2)
----------------	-------	----------------	-------	----------------	-------

【担当課】 郷土博物館 郷土博物館 郷土博物館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○歴史講座「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰(仮)」11月中1回開催 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」1月4日(水)～1月22日(日)7校実施 ○体験学習会「まゆ玉かざりをつくろう！」1月8日(日)開催	○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 ○歴史講座「歴史散歩 中里介山(仮)」 ○歴史講座「水文学とはむら(仮)」 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施	○歴史講座「青梅鉄道開通130周年事業講座」
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上
取組実績	○「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰」11月5日(土) 参加者数13人 参加者の満足度92% ○「市内小学3年生郷土学習」1月4日(水)～1月22日(日) 市内小学校7校へ実施。 ○「まゆ玉かざりをつくろう！」1月8日(日) 参加者数10人 参加者の満足度80%	○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 令和5年8月12日、参加者数22人/定員20人、満足度100% ○歴史講座「羽村の生んだ文豪中里介山の足跡めぐり」 令和5年10月21日、参加者数14人/定員15人、満足度100% ○歴史講座「羽村市周辺の水文環境」 令和5年11月18日、参加者数22人/定員30人、満足度91% ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施	体験学習会「まゆから糸をひこう！」8月11日 参加者35人/定員数40人、満足度100% 歴史講座 青梅鉄道開通130周年記念講演会「青梅鉄道の延伸と地域社会」11月17日 参加者47人/定員数50人 満足度97% 体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施
成果・効果	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化を学習する機会を提供できた。	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化、自然環境を学習する機会を創れた。	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会を提供することが出来た。
評価(達成度)	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	参加者からのアンケート結果や意見などをフィードバックし、魅力ある講座を実施していく。	アンケート結果を今後の講座や体験学習に生かし、魅力ある講座等を実施する。	アンケート結果を今後の講座や体験学習に生かし、魅力ある講座等を実施する。

事業の方向性

○市民への意識啓発

市内に散在する文化財の内容と価値を周知するとともに、市民共有の財産であり羽村市の誇りであることを広く周知し、市民の意識啓発を図ります。

実施事業

文化財に関する情報提供	(5-4)	文化財に関する情報提供	(5-4)	文化財に関する情報提供	(5-4)
-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

【担当課】

郷土博物館

郷土博物館

郷土博物館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財説明板の作成設置 1カ所 ○『羽村市郷土博物館紀要』第37号の発行 1回 ○「東京文化財ウィーク」への参加 ○「多摩郷土誌フェア」への参加 ○郷土博物館公式ツイッターでの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○『羽村市郷土博物館紀要』第38号の発行 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ○『羽村市郷土博物館紀要』の発行 ○郷土博物館公式X(旧ツイッター)での情報発信 																																				
目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○『紀要』への文化財関係論考の掲載 1本 ○ツイッターフォロワー数 500人 	<ul style="list-style-type: none"> ○『紀要』への文化財関係論考の掲載 1本 ○ツイッターフォロワー数 500人 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財説明板の作成設置 1基 ○2事業の実施(東京文化財ウィーク、多摩郷土誌フェア) ○X(旧ツイッター)フォロワー数 1,100人 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財説明板の作成設置(1カ所) ○『羽村市郷土博物館紀要』第37号の発行 文化財関係論考4本 ○「東京文化財ウィーク」10月29日(土)～11月6日(日)期間中「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰」11月5日(土)を実施 参加者数13人 ○「多摩郷土誌フェア」1月21日(土)、22日(日)へ出展、紀要等の図書を販売 ○ツイッターフォロワー数(3月31日現在) 612人 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財説明板の修繕 1カ所 ○『羽村市郷土博物館紀要』第38号の発行(文化財関係論考3本) ○「東京文化財ウィーク」令和5年10月1日～11月30日期間中、企画展示及び歴史講座2講座を実施 入館者数 6,830人、参加者数36人/定員45人 ○「多摩郷土誌フェア」への出展、紀要等の図書販売 令和6年1月20日、21日 ○郷土博物館公式X(旧ツイッター)フォロワー数 1,000人(3月末現在) 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財説明板の修繕 1基 『羽村市郷土博物館紀要』第39号の発行 「東京文化財ウィーク2024」期間中(10月1日～11月30日)企画展及び歴史講座を実施 来館者6,594人、参加者47人 「第37回多摩郷土誌フェア」への出展、紀要等の図書販売(1月18日、19日) 54冊販売 郷土博物館公式X(旧ツイッター)フォロワー数(3月末現在)1,180人 																																				
成果・効果	計画した事業を実施し、市内文化財に関する情報を発信し、広く周知した。	様々な媒体を利用し、市内文化財に関する情報を発信した。	様々な媒体を利用し、市内文化財に関する情報を発信した。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	既存の広報誌・公式サイトに加え、ツイッターなどの新たな情報発信ツールを活用し、来館者の獲得を図っていく。	○公式X(旧ツイッター)など、新たな情報発信を活用し来館者の獲得を図る。 ○電子化を含め今後の紀要の在り方について、検討する。	公式X(旧ツイッター)など、SNSをさらに活用し広く情報発信を行う。																																				

事業の方向性

○登録郷土研究員等の育成と人材の確保

自らが郷土「はむら」に対して愛着と誇りを持つと同時に、その思いを広く市民に伝え、共有できるよう、郷土に関する研究者の育成やその確保に努めます。

実施事業

登録郷土研究員の活用	(5-5)	登録郷土研究員の活用	(5-5)	登録郷土研究員の活用	(5-5)
------------	-------	------------	-------	------------	-------

【担当課】

郷土博物館

郷土博物館

郷土博物館

【関連課】

年 度	令和4年度			令和5年度			令和6年度					
事業内容	郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、将来的な市史編さんの担い手となる人材を発掘する。			郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、情報収集を行い新たな人材を発掘する。			郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、情報収集を行い継続して新たな人材を発掘する。					
目標（指標）	○登録郷土研究員新規登録者数 1人以上			○登録郷土研究員新規登録者数 1人以上			○『羽村市郷土博物館紀要』の発行 年1回					
取組実績	○登録郷土研究員の新規登録者数 なし ○「羽村市郷土博物館紀要」第37号の発行			○登録郷土研究員の新規登録者数 0人(調整中1人) ○「羽村市郷土博物館紀要」第38号への論考掲載(文化財関係論考3本)			『羽村市郷土博物館紀要』第39号の発行(論考掲載3編) 登録郷土研究員の新規登録者数 1人					
成果・効果	登録郷土研究員を活用し、博物館紀要へ調査・研究の論考掲載などにより、市民等へ玉川上水や中里介山等に関する情報を発信することができた。			登録郷土研究員を活用し、博物館紀要への調査・研究の論考掲載により、市民等へ情報を発信した。(主な内容は、中里介山、養蚕及び玉川上水に関すること) ○新規登録者については、3月末現在、1名と調整中			登録郷土研究員の調査・研究の成果を郷土博物館紀要へ掲載し市民等へ情報を発信した。 また、新規登録者1人を登録した。					
評価（達成度）	C	評価凡例			B	評価凡例			A	評価凡例		
		A	達成度 80%以上			A	達成度 80%以上			A	達成度 80%以上	
		B	達成度 50%以上80%未満			B	達成度 50%以上80%未満			B	達成度 50%以上80%未満	
		C	達成度 30%以上50%未満			C	達成度 30%以上50%未満			C	達成度 30%以上50%未満	
		D	達成度 30%未満			D	達成度 30%未満			D	達成度 30%未満	
—	未実施		—	未実施		—	未実施					
課題・対応	引き続き、郷土史を調査・研究している人材や歴史講座講師、紀要の論考掲載ができる人材の発掘に努めていく。			○今後も継続して情報収集を行い、人材発掘に努めていく。 ○登録郷土研究員 19人(R6.3.31現在)			今後も継続して郷土博物館紀要へ論考を掲載し、市民等へ情報発信を行う。					

基本施策3 多様な学習の展開

施策

施策6 芸術文化の振興

市民ニーズに対応した芸術鑑賞事業や講座・講習会、展示会等、市民の学びに資するためのメニューを提供し、これまで育まれた幅広い分野の芸術文化基盤を次世代へ継承していきます。

事業の方向性

○芸術文化の鑑賞機会と体験事業の提供

市民が身近な場所で、幅広い分野の芸術文化に触れることができるよう、鑑賞の機会や体験事業を提供します。

実施事業

	芸術文化の鑑賞機会の提供 (6-1)	芸術文化の鑑賞機会の提供 (6-1)	芸術文化の鑑賞機会の提供 (6-1)
--	--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○芸術文化の鑑賞事業の実施 18事業 (内2事業はアウトリーチ(体験事業)を含む)	○芸術文化の鑑賞事業の実施 16事業	○芸術文化の鑑賞事業の実施 14事業
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上
取組実績	○19事業(アウトリーチ2事業含む)を実施 (音楽公演 8事業、寄席 2事業、伝統文化事業 2事業、展示 5事業、その他(子ども映画会(年12回)、子どもフェスティバル) 2事業)。 ○参加者の満足度 概ね80%	○芸術文化の鑑賞事業の実施 16事業 参加者の満足度 約90% 参加者数11,514人(うち定員がある事業4,238人/定員7,977人) 音楽…「国立音楽大学コンサート」 「仲道郁代ピアノコンサート」 「想ひ出の映画館コンサート」 「子ども国際交流音楽祭」 美術…「22thアートinはむら展」 「羽村ゆとりぎアートプロジェクト(武蔵野美術大学連携)」 「絵本原画展 きくちち絵本原画展」 「原田五作品展」 「ゆとりぎ美術館(年3期)」 文化…「伝統文化交流事業 五十嵐誠木工芸展」 「伝統文化inゆとりぎ ゆとりぎでお正月を遊ぼう！」 映画…「ゆとりぎ想ひ出の映画鑑」 「子ども映画会(年12回)」 芸能…「ゆとりぎ寄席 特別公演」 「羽村ゆとりぎ寄席(年4回)」 「吉本お笑いライブ」	○芸術文化の鑑賞事業の実施 15事業 定員に対する参加者 80% 参加者の満足度 84% ・国立音楽大学連携コンサート 参加者数531人/定員854人:62% 満足度:92% ・国立音楽大学2024年度 マネージメント実習 修了演奏会 参加者数198人/定員241人:82% 満足度:71% ・沖縄音楽ライブ in ゆとりぎ 参加者数227人/定員248人:91% 満足度:87% ・HANDSIGNコンサート 参加者数207人/定員247人:83% 満足度:86% ・23rdアートinはむら展 ・たしろちさと絵本原画展 ・津田のぼる缶ものがたり展 ・ゆとりぎ美術館(年3期) ・伝統文化交流事業 アイヌ文化公演 参加者数729人/定員793人:91% 満足度:93% ・東京文化会館ワークショップ 参加者数200人/定員252人:79% 満足度:85% ・ゆとりぎ想ひ出の映画鑑 ①参加者数179人/定員252人:71% 満足度:85% ②参加者数117人/定員252人:46% 満足度:80% ・ゆとりぎ寄席 特別公演 参加者数409人/定員854人:47% 満足度:92% ・羽村ゆとりぎ寄席(年3回) ①参加者数111人/定員252人:44% 満足度:82% ②参加者数115人/定員252人:45% 満足度:79% ③参加者数122人/定員252人:48% 満足度:77% ・HAMURAメリーリボン演劇祭 2日間延べ参加者数944人 ・子どもフェスティバル 2日間延べ参加者数3,308人
成果・効果	音楽公演事業のうち、出演者の新型コロナウイルス感染(出演者罹患)により1事業が中止となったが、文化庁補助の採択によるミュージカル公演及び落語芸術協会による演奏会の2事業を追加実施し、市民に芸術文化の鑑賞の機会を提供できた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会や関係団体等と連携し、芸術文化の鑑賞事業を実施することができた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会や関係団体等と連携し、芸術文化の鑑賞事業を実施することができた。
評価(達成度)	A	A	A
課題・対応	音楽公演等ホール事業は、満足度による目標達成はできているが、入場者数が少ないことが課題となっており、集客方法について検討していく。	引き続き、芸術文化の鑑賞事業を実施していく。	引き続き、芸術文化の鑑賞事業を実施していく。

実施事業

芸術文化の体験事業の提供 (6-2)	芸術文化の体験事業の提供 (6-2)	芸術文化の体験事業の提供 (6-2)
--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○芸術文化の体験事業の実施 2事業		○芸術文化の体験事業の実施 3事業	
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○子ども体験塾(子ども国際交流音楽祭)・ウィーン音楽家による指導と共演(アウトリーチ) 令和4年10月11日 羽村第一中学校吹奏楽部45人指導 10月10日 3自治体合唱団10人と共演 ○カルテットスピリタス(音楽活性化事業)・ミニコンサート(アウトリーチ) 令和5年2月9日 社会福祉協議会 2回 2月10日 児童館 2回 参加者の満足度 ・国際交流音楽祭 89% ・コンサート 93%	○芸術文化の体験事業の実施 2事業 参加者の満足度 89% 参加者数491人/定員874人 「仲道郁代ピアノコンサート(こどもミニコンサート)」(令和6年1月13日) 「子ども国際交流音楽祭」(令和5年10月9日)	○芸術文化の体験事業の実施 3事業 定員に対する参加者 51% 参加者の満足度 91% ・落語体験ワークショップ 参加者数41人/定員50人: 82% 満足度:89% ・伝統文化inゆとりぎ ゆとりぎでお正月を遊ぼう! ・子ども体験塾 ①YouTuber体験ワークショップ 参加者数107人/定員144人:74% 満足度:95% ②YouTuberによる公演 参加者数379人/定員835人: 45% 満足度:90%	
成果・効果	プロの音楽家による指導と共演、当館以外の施設でのコンサートの実施により、芸術文化を身近に感じる機会を設けることができた。	近隣市町等と連携し、芸術文化の体験事業を実施することができた。	近隣市町等と連携し、芸術文化の体験事業を実施することができた。	
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例	
	A	達成度 80%以上	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施
課題・対応	優れた芸術文化に直接触れる機会は、感性や創造性を育む上で重要であることから、体験事業を継続していく。	引き続き、芸術文化の体験事業を実施していく。	子ども体験塾の参加者を増やすため、参加したくなる「テーマ」を見極め、選定する。	

事業の方向性

〇市にゆかりのある芸術家を通じた芸術文化振興

羽村市にゆかりがあり、さまざまな地域や分野で活躍している芸術家を活用することにより、芸術文化の振興を図ります。

実施事業

市ゆかりの芸術家の作品展や演奏会等の実施	(6-3)	市ゆかりの芸術家の作品展の実施	(6-3)	市ゆかりの芸術家の作品展の実施	(6-3)
----------------------	-------	-----------------	-------	-----------------	-------

【担当課】

生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○作品展 1事業 ○演奏会 1事業		○作品展 2事業		○作品展の実施 1事業	
目標（指標）	○来場者の満足度 80%以上		○来場者の満足度 80%以上		○作品展を通じて芸術文化の振興を図る。	
取組実績	○作品展：野口裕史銀金展 令和4年8月31日～9月11日 入廊700人 参加者の満足度92% ○演奏会：大谷恵理架ギターリサイタル 令和4年7月10日 ゆとろぎ大ホール 定員648人 入場者数570人/申込664人 参加者の満足度95%		○作品展の実施 2事業 ・「原田丕展」 令和5年11月1日～11月12日、入廊1,624人、満足度87% ・伝統文化交流事業inゆとろぎ 「五十嵐誠 木のしごと展-工芸から修復まで-」 令和6年1月27日～2月12日、入廊1,338人、満足度98.7%		23rdアートinはむら展（令和6年6月25日～7月7日） ・子どものためのワークショップ（2回実施、参加者数：21人） ・アーティストトーク（1回実施、参加者数：50人） ・対話によるわくわく鑑賞ナイト（1回実施、参加者数：14人） ・わくわく鑑賞ツアー（1回実施、参加者数：8人）	
成果・効果	羽村市ゆかりの芸術家による演奏会や作品展を開催し、地域の芸術文化の振興を図ることができた。		羽村市ゆかりの芸術家による作品展を開催し、地域の芸術文化の振興を図ることができた。		多摩地区アーティスト66名、85点を展示し、価値の高い作品展を開催することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	羽村市ゆかりの芸術家の活動を紹介することは、地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がるため、継続的に事業を実施していく。		羽村市ゆかりの芸術家の活動を紹介することは、地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がるため、継続的に事業を実施していく。		今後も地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がる事業を継続的に実施していく。	

事業の方向性

○市民協働事業の推進

市民の知識や経験、ニーズを取り入れた市民参加・協働事業を推進していきます。

実施事業

ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	(6-4)	ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	(6-4)	ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	(6-4)
-------------------------	-------	-------------------------	-------	-------------------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○ホール事業 7事業 ○展示事業 4事業 ○講座事業 7事業 ○サポートグループ(市民の会)との連携(随時)	○ホール事業 3事業 ○講座事業 8事業	○ホール事業 3事業 ○講座事業 10事業																																				
目標(指標)	○参加者・来場者の満足度 80%以上	○参加者・来場者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上																																				
取組実績	○市民の会企画事業を実施 16事業(ホール6事業、展示4事業、講座6事業) 参加者の満足度80% ○サポートグループ(市民の会)との連携を実施 ・情報発信(ゆとりぎイベントガイドの発行) 6回 ・レセプションによるホールイベント運営 随時 ・植栽担当による敷地内の植え込み管理 随時	○ホール事業の実施 3事業 「ゆとりぎ想ひ出の映画鑑」 「子どもフェスティバル」 「想ひ出の映画館コンサート」 ○展示事業の実施 4事業 「22thアートinはむら展」 「絵本原画展 きくちちき絵本原画展」 「原田正作品展」 「ゆとりぎ美術館(年3期)」 ○講座事業の実施 7事業 「デジタル紙芝居づくりで楽しさ体験スクラッチプログラミング(SDGs編)」 「ゆとりぎ先端テクノロジー講座」 「ゆとりぎ身近なサイエンス講座」 「ゆとりぎ文学講座『近・現代編 佐藤春夫の世界』」 「わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇」 「近・現代史講座」 「夏休み子ども講座『風のカ、ゴムのかをつかった工作教室』」 ○サポートグループ(市民の会)との連携(レセプション、植栽、保育) ○参加者・来場者の満足度 満足度80%超	定員に対する参加者 67% 参加者の満足度 73% ○ホール事業の実施 3事業 ・ゆとりぎ想ひ出の映画鑑 ①参加者数179人/定員252人:71% 満足度:85% ②参加者数117人/定員252人:46% 満足度:80% ・子どもフェスティバル 2日間延べ参加者数3,308人 ・HANDSIGNコンサート 参加者数207人/定員247人:83% 満足度:86% ○展示事業の実施 4事業 ・23rdアートinはむら展 ・津田のぼるの缶ものがたり展 ・たしろちさと絵本原画展 ・ゆとりぎ美術館(年3期) ○講座事業の実施 8事業 ・ゆとりぎ先端テクノロジー講座「生成AI」参加者数45人/定員50人:90% 満足度:48% ・ゆとりぎ身近なサイエンス講座「家庭の公衆衛生入門」参加者数21人/定員50人:42% 満足度:85% ・ゆとりぎ経済講座 ①金融編 参加者数29人/定員50人:58% 満足度:51% ②証券編 参加者数49人/定員50人:98% 満足度:70% ・ゆとりぎ文学講座「近・現代編 川端康成“雪国”」参加者数24人/定員50人:48% 満足度:86% ・ゆとりぎ近・現代史講座「日本の近・現代史と食文化」参加者数26人/定員50人:52% 満足度:73% ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 参加者数28人/定員50人:56% 満足度:74% ・夏休み子ども講座「風のカ、ゴムのかをつかった工作教室Ⅱ」参加者数19人/定員20人:95% 満足度:79% ・大人の学び直し講座大人の学び直し講座「暮らしに役立つ中学数学の面白さ」参加者数46人/定員50人:92% 満足度:63% ○サポートグループ(市民の会)との連携(レセプション、植栽、保育)																																				
成果・効果	市民ニーズを取り入れた企画事業(16事業)を実施することができた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ホール事業、展示事業、講座事業を実施することができた。また、年間を通じてサポートグループと連携し、ゆとりぎの事業運営や施設管理に協力をいただいた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ホール事業、展示事業、講座事業を実施することができた。また、年間を通じてサポートグループと連携し、ゆとりぎの事業運営や施設管理に協力をいただいた。																																				
評価(達成度)	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	市民の会の提案する事業は、市民ニーズを取り込み、市民の知識や新たな価値観の形成に役立つものであることから、今後も市民の会と連携し事業を展開していく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ゆとりぎでの事業の企画運営や施設管理を行っていく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、参加者のニーズを見極め、ゆとりぎでの事業の企画運営や施設管理を行っていく。																																				

事業の方向性

○市民や団体の活動成果の発表機会の提供

生涯学習センターゆとろぎやコミュニティセンター等において、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供します。

実施事業

活動成果の発表機会の提供	(6-5)	活動成果の発表機会の提供	(6-5)	活動成果の発表機会の提供	(6-5)
--------------	-------	--------------	-------	--------------	-------

【担当課】

生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○文化祭の実施 ○HAMURAメリーリボン演劇祭の実施					
目標(指標)	○参加人数 文化祭・延べ2万人以上、HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ400人以上		○参加人数 文化祭・延べ2万人以上 HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ400人以上		○参加人数 文化祭・延べ1万5,000人以上 ○HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ1,000人以上	
取組実績	○文化祭 令和4年10月5日～11月3日(ゆとろぎ全館) 来場者数 延べ11,935人(参考:令和元年 来場者21,416人) ○HAMURAメリーリボン演劇祭 令和4年7月16日・17日(ゆとろぎ小ホール) 来場者数 延べ1,431人(参考:令和元年 来場者851人)		○HAMURAメリーリボン演劇祭 令和5年7月15日・16日(ゆとろぎ小ホール)、来場者数延べ1,567人(参考:令和4年度 1,431人) ○文化祭 令和5年10月8日～11月3日(ゆとろぎ全館)、来場者数延べ15,157人(参考:令和4年度 11,935人)		○文化祭(令和6年10月6日～11月3日) 来場者数延べ12,737人 ○HAMURAメリーリボン演劇祭(令和6年7月13日・14日) 来場者数延べ944人	
成果・効果	HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。		HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。		HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。	
評価(達成度)	B	評価凡例		B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満	
		C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満	
		D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満	
		—	未実施	—	未実施	
課題・対応	参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。		参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。		参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。	

基本施策3 多様な学習の展開

施策

施策7 スポーツ・レクリエーション活動の推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、生涯にわたって親しむことができるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で醸成された気運をスポーツ活動に向けられるよう、きっかけづくりや活動の場の提供を図ります。

事業の方向性

○子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供

子どもが遊びを通じて、体を動かす楽しさを知り、運動習慣を身につけることができるような機会を提供します。

実施事業

子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	(7-1)	子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	(7-1)	子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	(7-1)
---------------------	-------	---------------------	-------	---------------------	-------

【担当課】 子育て相談課

子育て相談課

子育て相談課、スポーツ推進課

【関連課】

スポーツ推進課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○あそびのポケットの実施 ○こぐまひろばの実施 ○わんわんひろばの実施 ○キラキラ事業の実施	○スポーツの日の実施	○わくわくスポーツの実施 (児童館における子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実)	
目標(指標)	○あそびのポケット 各児童館 6回実施 ○こぐまひろば 各児童館 10回実施 ○わんわんひろば 各児童館 5回実施 ○キラキラ事業 各児童館 18回実施	○キラキラポケット 年24回実施(各児童館) ○こぐまひろば 年26回実施(各児童館) ○わんわんひろば 年12回実施(各児童館) ○スポーツの日の実施 年6回実施(東児童館)	○キラキラポケット 年21回実施(各児童館) ○こぐまひろば 年26回実施(各児童館) ○わんわんひろば 年14回実施(各児童館) ○わくわくスポーツの実施 年6回実施(東児童館) スポーツ推進委員派遣事業 3回	
取組実績	○あそびのポケット 各児童館 6回実施 ○こぐまひろば 各児童館 10回実施 ○わんわんひろば 各児童館 5回実施 ○キラキラ事業 各児童館 18回実施	○キラキラポケット 年24回実施(各児童館) ○こぐまひろば 年26回実施(各児童館) ○わんわんひろば 年12回実施(各児童館) ○スポーツの日 年6回実施(東児童館)	○キラキラポケット 年21回実施(各児童館) ○こぐまひろば 年26回実施(各児童館) ○わんわんひろば 年14回実施(各児童館) ○わくわくスポーツの実施 年6回実施(東児童館) スポーツ推進委員派遣事業 3回 令和6年9月25日:ポッチャ(パラリンピック競技種目) 参加者数10人/定員20人 →定員に対する参加者の割合 50% 11月20日:モルック(ニュースポーツ) 参加者数15人/定員20人 →定員に対する参加者の割合 75% 令和7年3月12日:ラダーゲッター(ニュースポーツ) 参加者数12人/定員20人 →定員に対する参加者の割合 60%	
成果・効果	児童館3館において、健全な遊び場を確保し、乳幼児及び保護者が参加できる事業を実施することにより、心身の健康を増進し、知的・社会的能力を高め、情緒豊かなにすることで、児童の健全育成を図った。	児童館3館において、年齢発達にに適した遊びの場を確保し、乳幼児及び保護者が参加できる事業を実施することにより、心身の健康の増進、知的・社会的能力の向上、情緒豊かな体験をすることで、健全育成を図った。	児童館3館において、年齢発達にに適した遊びの場を確保し、乳幼児及び保護者が参加できる事業を実施することにより、心身の健康の増進、知的・社会的能力の向上、情緒豊かな体験をすることで、健全育成を図った。スポーツ推進委員を東児童館に派遣し、スポーツの体験事業を実施したことにより、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。	
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例	
	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	ウイズコロナ・アフターコロナにおいて、保護者が安心して参加できるよう感染予防に配慮しつつ、事業を実施していく。	保護者が安心して事業に参加できる、内容・環境設定を考慮し事業を実施する。各児童館の参加者の年齢等、特色を考慮し実施回数等の検討をしていく。	保護者が安心して参加できる内容・環境設定を考慮して事業を実施する。各児童館の参加者の年齢等を考慮し、実施回数・内容等を検討していく。 定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。ニュースポーツの関心を高めるため道具の貸出や展示などの方策にも取り組んでいく。	

【担当課】 **スポーツ推進課** **スポーツ推進課**
 【関連課】 **子育て相談課** **子育て相談課**

年 度	令和4年度	令和5年度		
事業内容	○児童館において子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実	→		
目標（指標）	児童館派遣事業（スポーツの日）3回	○東児童館への指導員派遣事業（スポーツの日）3回		
取組実績	○児童館派遣事業（東児童館スポーツの日）3回実施 令和4年9月21日：ポッチャ 11月16日：ラダーゲッター 令和5年1月11日：ラインクップ 参加者数1回あたり15人程度	○児童館派遣事業（東児童館スポーツの日）の実施 3回 令和5年9月20日：ポッチャ（パラリンピック競技種目） 参加者数13人/定員20人 11月15日：ラダーゲッター（ニュースポーツ） 参加者数5人/定員20人 令和6年1月10日：モルック（ニュースポーツ） 参加者数14人/定員20人 参加者数1回あたり 平均11人程度		
成果・効果	指導員（スポーツ推進委員）を東児童館に派遣し、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。	スポーツ推進委員を東児童館に派遣し、スポーツの体験事業を実施したことにより、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満		D 達成度 30%未満
— 未実施	— 未実施			
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		

事業の方向性

○各種イベントの開催と参加促進

市民がスポーツの楽しさや達成感を得られるようなイベントを開催し、参加を促します。

○地域スポーツ活動の推進

市民がさまざまなレベルでスポーツ活動に気軽に参加できるようにします。

実施事業

	スポーツ活動の機会の提供 (7-2)	スポーツ活動の機会の提供 (7-2)	スポーツ活動の機会の提供 (7-2)
--	--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】

スポーツ推進課

スポーツ推進課

スポーツ推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭の実施 ○総合体育大会の実施 ○ふれあい綱引き大会の実施 ○駅伝大会の実施 ○フィールドゴルフ大会の実施 ○四季のウォークの実施 ○走り方教室の実施 ○歩き方教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ体験イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○〔新規事業〕「スポーツの日」イベントの実施 1回 ○総合スポーツ大会の実施 1回 ○ウォーキング講座(歩き方教室)の実施 1回 ○スロージョグ講座の実施 1回 ○はむらスポーツフェスティバルの実施 1回 																																				
目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭の実施 1回 ○総合体育大会の実施 1回 ○ふれあい綱引き大会の実施 1回 ○駅伝大会の実施 1回 ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○四季のウォークの実施 2回 ○走り方教室の実施 2教室 ○歩き方教室の実施 1回 ○スポーツセンター開館日数 312日 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭の実施 1回 ○総合体育大会の実施 1回 ○駅伝大会の実施 1回 ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○四季のウォークの実施 2回 ○走り方教室の実施 1回 ○歩き方教室の実施 1回 ○スポーツ体験イベントの実施 1回 ○スポーツセンター開館日数 312日 	<ul style="list-style-type: none"> ○定員に対する参加者 80%以上 ○トレーニングルームプログラムの充実 317日 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○総合体育大会 令和4年6月～令和5年3月 19種目 参加者数3,959人(全競技合計) ○ふれあい綱引き大会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○駅伝大会 1回実施 令和5年3月12日 参加者数492人(81チーム) ○フィールドゴルフ大会 2回実施 令和4年5月28日 参加者数35人 ○フィールドゴルフ大会 2回実施 令和4年5月28日 参加者数36人 ○四季のウォーク 雨天のため2回とも中止 ○走り方教室 6教室実施 令和4年5月14日 参加者数149人(4教室合計) ○走り方教室 2教室 9月3日 参加者数50人 ○歩き方教室 1回(2日間)実施 令和5年2月18日・25日 参加者数21人 ○スポーツセンター開館日数 312日(トレーニングルーム利用者数延べ24,395人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭については、市民意識の変化や他市町村の実施状況等を総合的に判断した結果、新たなスポーツイベントを検討することとした。 ○総合体育大会の実施 1回 ○総合開会式 令和5年4月1日 ○令和5年6月～令和6年3月 22日 参加者数2,718人(全競技合計) ○駅伝大会の実施 1回 ○令和6年3月10日 参加者数523人(98チーム) ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○令和5年5月27日 参加者数40人 ○令和5年5月27日 参加者数44人 ○四季のウォークの実施 2回 ○令和5年9月23日 参加者数23人/定員40人 ○令和6年3月24日 参加者数38人/定員40人 ○走り方教室の実施 6教室 ○令和5年9月2日 参加者数99人/定員70人 ○歩き方教室(ウォーキング講座)の実施 1回(2日間) ○令和6年2月3日・17日 参加者数延べ21人/定員30人 ○スポーツ体験イベント(はむらスポーツフェスティバル)の実施 1回 ○令和5年11月25日 参加者数400人 ○スポーツセンター開館日数 314日 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの日イベント「市民スポーツまつり」の実施 1回 ○令和6年10月14日 参加者数延5,500人 ○総合スポーツ大会の実施 1回 ○総合開会式 令和6年4月6日 ○令和6年6月～令和7年3月 19種目 参加者数2,506人(全競技合計) ○駅伝大会の実施 1回 ○令和7年3月9日 参加者数512人(94チーム) ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○令和6年5月25日 参加者数51人 ○令和6年6月19日 参加者数55人 ○四季のウォークの実施 2回 ○令和6年9月21日 参加者数16人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 40% ○令和7年3月23日 参加者数41人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 102.5% ○走り方教室(市民スポーツまつり内)の実施 1回 ○令和6年10月14日 参加者数89人/定員100人 ⇒定員に対する参加者の割合 89% ○ウォーキング講座の実施 1回(2日間) ○令和7年2月15日・22日 参加者数延べ52人/定員60人 ⇒定員に対する参加者の割合 86.6% ○スロージョグ講座の実施 1回 ○令和6年6月16日 参加者数26人/定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 130% ○はむらスポーツフェスティバルの実施 1回 ○令和6年12月7日 参加者数延750人 ○トレーニングルームプログラムの充実 317日 ○プログラム2種目追加/計10プログラム 																																				
成果・効果	<p>中止となったイベントもあったが、市民が気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。</p>	<p>市民がスポーツ活動に気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。</p>	<p>市民がスポーツ活動に気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。</p> <p>特に、新規事業「市民スポーツまつり」については、福祉・医療等の関係機関で組織した協議体からの意見を踏まえ、年齢や障害の有無にかかわらず、市民の誰もが参加できるスポーツ事業を実施したことにより、想定以上の方々に来場していただくことができた。</p>																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	<p>より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。</p>	<p>より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。</p>	<p>より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。</p> <p>「市民スポーツまつり」については、「はむらスポーツフェスティバル」と統合し、複数のスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実していく。</p>																																				

事業の方向性

○指導者の養成と資質の向上支援

各種スポーツ活動を推進するため、スポーツ団体の指導者の養成と資質の向上を支援します。

実施事業

指導者の養成と資質の向上支援	(7-3)	指導者の養成と資質の向上支援	(7-3)	指導者の養成と資質の向上支援	(7-3)
----------------	-------	----------------	-------	----------------	-------

【担当課】 スポーツ推進課

スポーツ推進課

スポーツ推進課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○スポーツリーダー養成講習会の実施 ○熱中症予防講習会の実施					
目標(指標)	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回 ○熱中症対策講習会の実施 1回		○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回 ○熱中症対策講習会の実施 1回		○定員に対する参加者 80%以上	
取組実績	○スポーツリーダー養成講習会 1回(3日間)実施 令和5年1月7日・14日・21日 参加者数延べ196人 ○熱中症対策講習会 1回実施 令和4年5月7日 参加者数28人		○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回(3日間) 令和6年1月13日・20日・28日 参加者数延べ62人/認定者総数122人 ○熱中症対策講習会の実施 1回 令和5年5月6日 参加者数15人/定員50人		○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回(3日間) 令和6年12月7日・令和7年1月11日・26日 認定者36人/認定者総数109人 ○熱中症対策講習会の実施 1回 令和6年5月11日 参加者数34人/定員30人	
成果・効果	スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。		スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。		スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。	
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		周知方法を検討し定員を達成するよう努め、継続して実施していく。	

事業の方向性

○障害者スポーツの普及啓発

東京2020パラリンピック競技大会等で知られるようになった障害者スポーツについて、競技の普及を図るとともに、指導者等の育成と充実を図ります。

実施事業

	障害者スポーツの普及啓発 (7-5)	障害者スポーツの普及啓発 (7-5)	障害者スポーツの普及啓発 (7-5)
--	--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】 スポーツ推進課

スポーツ推進課

スポーツ推進課

【関連課】 障害福祉課

障害福祉課

障害福祉課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○障害者スポーツ教室の実施 ○ポッチャ体験教室・ポッチャはむら大会の実施 ○障害者スポーツ指導者の養成	○パラリンピック競技種目体験教室の実施 ○ポッチャはむら大会の実施	○はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回	
目標(指標)	○障害者スポーツ教室の実施 1種目 ○ポッチャ体験教室の実施 1回 ○ポッチャはむら大会の開催 1回 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回	○パラリンピック競技種目体験教室(ポッチャ以外)の実施(オリンピック競技種目教室と同開催) 1回 ○パラリンピック競技種目体験教室(ポッチャ)の実施 1回 ○ポッチャはむら大会の開催 1回 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回	○定員に対する参加者 80%以上 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回	
取組実績	○障害者スポーツ教室 2教室実施 令和4年12月10日 参加者数38人(2教室合計) ○ポッチャ体験教室 2教室実施 令和4年11月13日・27日 参加者数31人(2教室合計) ○ポッチャはむら大会 1回開催 令和4年12月17日 参加者数46人(12チーム) ○スポーツ推進委員協議会の研修会 ポッチャ実技研修1回実施 令和4年6月4日 対象者数18人(スポーツ推進委員全員)	○パラリンピック競技種目「シッティングバレー」体験教室の実施(はむらスポーツフェスティバル内で実施) 令和5年11月25日 参加者数約150人 ○ポッチャ体験教室の実施 1回 令和5年11月5日(はむら市民と産業のまつり内で実施)参加者数延べ588人 ○ポッチャはむら大会の開催 1回 令和5年12月9日 参加者数44人(12チーム) ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 ポッチャ実技研修1回 令和6年2月17日 参加者数13人	○はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回「ポッチャ」 令和6年12月7日 参加者数43人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 107.5% 総参加者数延約750人 ○ポッチャ体験教室の実施 2回 令和6年9月14日 参加者数42人 令和6年11月9日 参加者数36人 ○ポッチャはむら大会の実施 1回 令和6年11月30日 参加者数59人(16チーム)/定員12チーム ⇒定員に対する参加者の割合 133.3% ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回「聴覚障害者への支援」 令和7年2月8日 参加者数12人	
成果・効果	障害者スポーツ教室はパラリンピック競技種目体験教室「シッティングバレーボール体験教室」として、また、ポッチャ体験教室も同競技種目体験教室の一つとして開催した。さらに、ポッチャはむら大会を開催し、スポーツ推進委員へのポッチャ実技研修を実施したことにより、東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。	東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。	東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。 ポッチャについては、体験教室の参加者がチームを編成し大会に参加するなど、普及啓発に繋げることができた。	
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例	
	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。 「はむらスポーツフェスティバル」については、「市民スポーツまつり」と統合し、複数のスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実していく。	

【担当課】 障害福祉課 障害福祉課 障害福祉課
 【関連課】 スポーツ推進課 スポーツ推進課 スポーツ推進課

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事業内容	○障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの実施				→	
目標（指標）	○障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの実施 1回		○障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの実施 1回		○障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの実施 1回	
取組実績	新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。		○障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの実施 1回 参加者数210名 内容を見直しながら3年ぶりに開催することができた。		実施回数 1回 参加者数 244名 前年より参加者が増加している。	
成果・効果	なし。		今年度から、誰でも参加できるが、内容等は障害者とその家族、関係者が楽しめるよう見直し、参加者全体で交流を図ることができた。 コロナ禍後、交流事業が減っていたので、実施により参加者との交流につなげることができた。		令和6年度より開催を日曜日から土曜日に変更し、福祉事業所やグループホームなど羽村市の事業所等へ参加のお知らせを配布した。土曜日の余暇活動としての参加もあり、前年より多くの参加があった。	
評価（達成度）	D	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—	未実施	—	未実施			
課題・対応	感染症対策を踏まえたつどいの実施に取り組んでいく。		引き続き、交流の機会を継続できるよう提供に努める。		余暇活動など交流の場として継続できるよう努める。	

基本施策3 多様な学習の展開

施策

施策8 生涯を通じた読書活動の展開

市民が生涯にわたって自主的・自発的に読書する習慣を身につけ、本と親しみ、豊かな心を育めるよう、読書活動を推進するとともに、読書環境の整備・充実を図ります。

事業の方向性

○読書への意欲を高めるための幅広い図書館資料の収集と

市民の学びへのニーズに応えるため、幅広い分野からの図書館資料の収集に努め、情報発信等により、収集した図書館資料の利活用を促進します。

実施事業

図書館業務体験事業の実施	(8-1)	図書館業務体験事業の実施	(8-1)	図書館業務体験事業の実施	(8-1)
--------------	-------	--------------	-------	--------------	-------

【担当課】

図書館

図書館

図書館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○1日司書体験の実施 小学校高学年対象 ○YAボランティア体験の実施 中学生・高校生対象	○夏休み司書体験の実施 小学校高学年対象	○夏休み司書体験の実施 小学校高学年対象
目標(指標)	○体験事業の参加者合計 7人	○体験事業の参加者合計 7人	○定員に対する参加者 80%以上
取組実績	○夏休み司書体験を実施 1回 参加者数7人 ○YAボランティア体験を実施 参加者数9人(中学生9人)	○1日司書体験は「夏休み司書体験」に名称を変更して実施 ・実施日 令和5年7月26日 ・参加者数8人(小学校高学年)／定員8人 ・内容 カウンター業務・書架整理・選書作業等 ○YAボランティア体験 ・実施日 令和5年8月9日・10日 ・参加者数5人(中学生)／定員8人 ・内容 YAコーナーでの展示とプレゼンテーション等	○夏休み司書体験 ・実施日: 令和6年7月31日(水) ・内容: カウンター業務・書架整理・選書作業等 ・対象者: 小学校5・6年生 ・参加者数: 9人(5年生1人・6年生8人)／定員: 8人 ・定員に対する参加者数の割合: 113% ○YAボランティア体験 ・実施日: 令和6年8月7日(水)／8月8日(木) ・内容: YAコーナーでの展示とプレゼンテーション等 ・対象者: 中学生・高校生 ・参加者数: 7人(中学生5人・高校生2人)／定員: 8人 ・定員に対する参加者数の割合: 88%
成果・効果	司書体験、YAボランティアとも短い時間であったが、本の貸出、返却、選書、書架整理など司書業務の一端を体験することによって、図書館で働く人への理解を深めることができた。	○夏休み司書体験 アンケートの結果、参加者全員が「これからも図書館を利用したい」「図書館司書になりたい」と回答し、図書館への理解を深めることができた。 ○YAボランティア体験 アンケートの結果、4人が「YAボランティアの募集があれば応募したい」と回答したほか、「2日間という期間が短い」との回答もあり、この年代の図書館感を知る一端となった。	○夏休み司書体験 ・館内見学、カウンター業務、バックヤード作業、選書などの体験を効率よく配置することで、参加者の集中力が増し、より体験感を得られるようにすることができた。 ○YAボランティア体験 ・アンケートでは次回も参加したいという回答が6人おり、YA世代の単なる読書への興味に加え、図書館への興味を喚起することができた。
評価(達成度)	A 評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A 評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	体験参加者を増やすことで、図書館の理解者・利用者を増やしていく必要がある。	夏休み司書体験については、定員を増やすための事業内容を検討する。 YAボランティア体験については、都立羽村高校、都立羽村特別支援学校へ働きかけ高校生の参加を促す方法を検討する。	○定員超で実施したが、事故なく満足感のある事業が実施できたため、来年度以降は定員増の方向で企画する。 ○YAボランティア体験では、羽村高校にも案内を送り、高校生の参加を期待したが、参加が得られなかったため、働きかけを継続していく。

実施事業

読書への意欲を高めるための講座等の実施	(8-2)	読書への意欲を高めるための講座等の実施	(8-2)	読書への意欲を高めるための講座等の実施	(8-2)
---------------------	-------	---------------------	-------	---------------------	-------

【担当課】 図書館 図書館 図書館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○絵本関連講座の実施 1回(2~3回シリーズ) ○児童文学講演会の実施 1回																																						
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上																																				
取組実績	○絵本関連講座 手づくり紙芝居 16人参加(うち親子4組)(満足度100%) ○児童文学講演会 どいかや氏講演会 1回 66人(定員)参加(満足度98%)	○絵本関連講座 【第1回】 ・実施日 令和5年7月22日 ・参加者数18人(親子8組)/定員20人(親子10組) ・内容「科学絵本を体験しよう」 ・満足度 78%(満足7人/アンケート回収9人) 【第2回】 ・実施日 令和6年3月26日 ・参加者数15人/定員15人 ・内容「2時間でカンタンに作れる絵本！」 ・満足度 100%(満足15人/アンケート回収15人) ○児童文学講演会 ・実施日 令和5年9月2日 ・参加者数49人/定員40人 ・内容「きくちちきギャラリートーク」 ・満足度 92%(満足11人/アンケート回収12人)	○絵本関連講座 ・実施日:令和6年8月3日(土) ・内容:「パネルシアターをつくらう」 ・参加者数:23人/定員15人(家族参加を受け入れたため) ・定員に対する参加者数の割合:153% ・参加者の満足度:100% ※パネルシアター…背景に絵を描いた布を貼ったり剥がしたりしながら、物語や歌などを演じる手法 ○児童文学講演会 ・実施日:令和7年1月26日(日) ・内容:「たしろちさと 絵本ができるまで」 ・参加者数:51人(その他関係者9人)/定員50人 ・定員に対する参加者数の割合:102% ・参加者の満足度:76%																																				
成果・効果	世界に一つの紙芝居を手作りし親子で共有することで、書籍に対する興味を醸成することができ、読書へのきっかけ作りができた。 著名な絵本作家を講師に招いたことで、受付早々に定員を超過した。	絵本関連講座第1回目は、科学絵本に記載された工作や実験を実際に体験することで、「読んで楽しむおはなし」とは違った絵本の魅力を感じてもらうことができた。 絵本関連講座第2回目は、自分で絵本を作る楽しみを知ることによって、絵本の持つ魅力を再確認してもらうことができた。 児童文学講演会については、原画展開催中のギャラリーでのトークライブで、作家自身から作品に込めた思いや創作過程などを聞くことができ、さらにライブペイントを行い、絵本の裏に隠れた作家の思いや絵本の魅力を感じることができた。	○絵本関連講座は、自宅でも簡単にパネルシアターができることを実感された参加者が多く、パネルシアターの手法を体験し、子供たちへの読み聞かせのバリエーションを増やしてあげることができた。 ○絵本原画展と共催することによって、実際に展示されている原画を鑑賞した後でその作家の講演を聞くことで、作品や作家への理解をより一層深めることができた。																																				
評価(達成度)	A	A	A																																				
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	絵本関連講座に関しては、引き続き読書への入り口となる内容を検討し実施していく。 児童文学講演会に関しては、今後も引き続き著名絵本作家の招聘に努めていく。	絵本関連講座については、絵本の持つ魅力を発信し、絵本への興味を通じて継続的な読書活動につなげる役割を果たしていく。 児童文学講演会については、ゆとりぎ共同事業運営市民の会主催の絵本原画展と合わせることで、原画の魅力と作家の思いを直に伝え、読書への意欲を高めていく。	○絵本関連講座については、紙の絵本が持つ魅力を発信し、絵本への興味を通じて継続的な読書活動につなげる役割を果たしていく。 ○児童文学講演会については、令和7年度は諸般の事情により絵本原画展との共催ができなくなってしまったが、令和8年度以降は、引き続き絵本原画展との共催により、原画の魅力と作家の思いを直に伝え、読書への意欲を深めていく企画を検討する。																																				

実施事業						
	読書手帳の活用	(8-3)	読書手帳の活用	(8-3)	読書手帳の活用	(8-3)

【担当課】 図書館 図書館 図書館

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○読書手帳・よむちよの活用 ・読書手帳の配布 小・中学校の新1年生に配布 ・読書手帳表彰								
目標(指標)	○読書手帳表彰者数 8人		○読書手帳表彰者数 10人		○読書手帳表彰者数 10人				
取組実績	○読書手帳配布冊数 ・小学1年生 699冊(うち新1年生分 529冊) ・中学1年生 838冊(うち新1年生分 478冊) ・羽村高校 30冊 ・一般 93冊 ○読書手帳表彰者 14人		○読書手帳配布冊数 小学校 806冊(うち新1年生分401冊) 中学校 490冊(うち新1年生分430冊) 羽村高等学校 30冊 一般 187冊 ○読書手帳表彰者 12人		○読書手帳配布冊数 小学校 606冊(うち新1年生分356冊) 中学校 483冊(うち新1年生分423冊) 羽村高等学校 20冊 一般 63冊 ○読書手帳表彰者 10人				
成果・効果	読書手帳への記録がモチベーションとなって、読書活動の習慣化が図られた。その結果、読書手帳表彰者の増加傾向が続き、令和4年度においては、中学生・高校生の受賞者が初めて5人誕生した。		読書手帳への記録がモチベーションとなって、読書活動の習慣化が図られた。その結果、令和5年度においては、小学生での複数回受賞(通算1,000冊以上)が3人誕生した。 表彰式で進呈している記念品の中の、受賞者特別キラカードが好評であり、なお一層の図書館利用のモチベーションとなった。		読書手帳への記録がモチベーションとなり、読書活動の習慣化を図ることができた。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	B		達成度 50%以上80%未満	
C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	C		達成度 30%以上50%未満	
D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	D		達成度 30%未満	
—	未実施	—	未実施	—	未実施				
課題・対応	読書手帳の活用は、個人の読書意欲を後押しすることから、引き続き事業を継続することで、市民の読書活動につなげていく。		読書手帳の活用は、個人の読書意欲を後押しし、読書活動につなげられると考えられるので、引き続き事業を継続していく。		○表彰式で進呈している受賞記念特別利用者カードが図書館利用のモチベーションの一端となっているため、継続して進呈する。 ○読書手帳の活用は、表彰目的以外にも個人の読書意欲を後押ししているため、引き続き事業を継続する。				

実施事業

図書館資料活用の推進	(8-4)	図書館資料活用の推進	(8-4)	図書館資料活用の推進	(8-4)
------------	-------	------------	-------	------------	-------

【担当課】 図書館 図書館 図書館

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○図書紹介ポップ展示の実施 ○調べ学習のための図書の貸出などの支援 ○市図書館ウェブサイト及びメールマガジンによる読書情報の充実 ○読書啓発パンフレット(ブックリスト)等の発行		
目標(指標)	○メールマガジンの発信回数 50回	○メールマガジンの発信回数 50回	○メールマガジンの発信回数 50回
取組実績	○図書紹介ポップ展示 1回 ○学校等への図書の貸出 35回 1,005冊 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 50回(登録者数128人) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回	○図書紹介ポップ展示 1回 ○調べ学習のための学校への図書の貸出 18回、493冊 ○市内幼稚園・保育園等団体への貸出 61回、2,532冊 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 50回(登録者数143人(前年度比+15人)) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回	○図書紹介ポップ展示の実施 1回 ・「YAボランティア体験」事業の一環として実施 ○団体貸出件数(調べ学習、学校おはなし会等含む) 102団体 4,094冊 ・団体:小・中学校、幼稚園・保育園・学童・放課後子ども教室(はむらっ子広場)等 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 51回(登録者数134人) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回
成果・効果	○図書紹介ポップは、「夏のYAボランティア体験」参加者が作成したものを展示することにより、体験の成果を発表することで図書館と利用者との距離感を縮めることができた。 ○学校等への図書の貸し出しについては、調べ学習等の授業に役立てることができた。 ○メールマガジンは、旬な情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 ○「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、必要な情報を必要な方へ届けることができた。	図書紹介ポップは、「YAボランティア体験」事業の一環として、参加者による展示の一部として作成した。体験の成果を発表することで図書館活動の理解の一端となった。 調べ学習のための貸出については、季節的、専門的な図書を貸し出すことによって、授業に役立てることができた。 団体貸出については、多くの図書に多くの子供たちが触れることができ、本への親近感を深めることができた。 メールマガジンは、旬な情報やイベント情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、必要な情報を必要な方へ届けることができた。	○図書紹介ポップは、来館者への事業周知とともに、具体的な図書紹介の一助となった。 ○調べ学習のための貸出については、季節的、専門的な図書を貸出すことによって、授業に役立てることができた。 ○団体貸出については、従前の団体に加え、放課後等サービス事業所、放課後子ども教室(「はむらっ子広場」)の新規登録があり、図書館資料の活用を図ることができた。 ○メールマガジンについては、旬な情報やイベント情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 ○「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、重要な紙媒体での情報発信ツールとして、図書館資料の情報を届けることができた。
評価(達成度)	評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	評価凡例 A 達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	読書への意欲を高め、市民の学びのニーズに応えるため、今後も幅広い分野からの図書館資料の収集に努め、効果的な情報発信により、図書館資料の利活用を推進する必要がある。	図書館からの情報発信については、図書館システムの更改を控え、LINE連携などのICTの活用など図書館DXを進めていく。あわせて、メールマガジンの登録者数増のために登録につながる二次元コード記載のあるチラシ等の配布を進めていく。	図書館からの情報発信については、紙媒体とデジタル情報のハイブリットにより、いつでも必要な方へ必要な情報が届けられる方法を検討し、図書館資料の活用を推進していく。

事業の方向性

○子どもたちが本に親しむ機会の充実

幼少期から本に親しむことの楽しさを伝え、読書を習慣化できるような機会を提供していきます。

実施事業

	「家読(うちどく)」事業等の実施 (8-5)	「家読(うちどく)」事業等の実施 (8-5)	「家読(うちどく)」事業等の実施 (8-5)
--	------------------------	------------------------	------------------------

【担当課】	図書館	図書館	図書館
【関連課】	子育て相談課	子育て相談課	子育て相談課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○「家読(うちどく)」の推進 ○ブックスタート事業の実施(絵本の配布・啓発、セカンドブックスタート(啓発))																																						
目標(指標)	○家読(うちどく)啓発パンフレットの作成・配布 100部	○家読(うちどく)啓発パンフレットの作成・配布 100部	○家読(うちどく)セットの貸出 70セット ○BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発 12回																																				
取組実績	○家読(うちどく)(令和4年9月スタート) ・司書の選書によりパッケージ化 3冊9セット(貸出実績 延べ9セット) ・誰もが気軽に手に取ることができるよう展示 通年 ・家読の概要と利用方法を示したパンフレットの配布 30部 ○ブックスタート ・絵本及び啓発のためのパンフレットの配布(3・4ヶ月検診時) ・絵本配布 233冊 ○セカンドブックスタート ・啓発パンフレットの作成	○家読啓発パンフレットの作成・配布 200部 ○家読セットの増(3年代3セット=全9セット→3年代10セット=30セット) ○ブックスタート ・乳児への絵本の配布 289冊(子育て相談課事業) ・BCG接種時の絵本利用案内パンフレット(「ブックスタートセット」)の配布 410部 ・BCG接種時の絵本読み聞かせ指導 177組(BCG接種来場組数) ○セカンドブックスタート ・幼児期を対象とした読み聞かせ啓発パンフレットの配布 462部 ・令和5年度から幼稚園・保育園を通じて配布	○「家読(うちどく)」の推進 ・家読(うちどく)セットの貸出 59セット ・図書館アンケートにおいて、「家読(うちどく)」に関する項目を設定 ○ブックスタート事業 ・乳児への絵本の配布 292冊(子育て相談課事業) ・BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発 12回 234組 ・セカンドブックスタート啓発パンフレットの配布 411部																																				
成果・効果	家庭における良好な読書環境について、保護者に対し啓発することができた。	家庭における読書環境の整備・向上を図ることにより、保護者に対し啓発することができた。	○家庭における良好な読書環境について、保護者に対して啓発することができた。 ○BCG接種時に「利用者登録票」を配布することで、図書館利用へつなげることができた。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	一連のブックスタート事業に関しては、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。家読(うちどく)に関しては、図書館コンシェルジュを活用し、利用の促進を図っていく。 セカンドブックスタートの啓発パンフレットについては、令和5年度から幼稚園・保育園の3歳児を対象に配布していく。	一連のブックスタート事業に関しては、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。 家読事業については、セットにアンケートを入れるなど利用者の声を収集して、さらなる利用促進を図っていく。	○「家読(うちどく)」については、本来の趣旨である「家庭での読書時間の共有・会話の充実」に関するアンケート同封する。 ○一連のブックスタート事業については、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。																																				

事業の方向性

○学校との連携による読書活動の推進

図書館司書と司書教諭の連携、図書館システムの連携により、児童・生徒の読書活動が充実するよう支援します。

実施事業

学校と連携した読書活動への支援	(8-6)	学校と連携した読書活動への支援	(8-6)	学校と連携した読書活動への支援	(8-6)
-----------------	-------	-----------------	-------	-----------------	-------

【担当課】	図書館	図書館	図書館
【関連課】	学校教育課	学校教育課	学校教育課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○学校おはなし会やブックトーク等の実施 ○学校図書館システムを活用した情報連携	○学校での市図書館所蔵資料返却の試行	○学校での市図書館所蔵資料貸出・返却の試行																																				
目標（指標）	○おはなし会などでの学校への出張回数 20回	○おはなし会などでの学校への出張回数 20回 ○返却試行の学校図書館実施校 2校	○おはなし会などでの学校への出張回数 55回 ○貸出・返却試行の学校図書館実施校 2校																																				
取組実績	○学校おはなし会の実施 77回、ブックトークの実施 4回、計81回 ○学校図書館システムで市図書館の本をかりられる試行実験実施（羽村一中）	○学校おはなし会・ブックトークの実施 71回 ○返却用ブックポストの設置による市図書館所蔵資料返却の試行 ・実施期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日 ・試行実施校：羽村東小学校…毎週金曜日回収 回収冊数24冊 羽村第三中学校…毎週水曜日回収 回収冊数27冊	○学校おはなし会・ブックトークの実施 61回（64クラス） ○返却用ブックポストの設置による市図書館所蔵資料返却の継続試行 ・試行実施校：羽村東小学校…毎週金曜日回収 回収冊数 29冊 羽村第三中学校…毎週水曜日回収 回収冊数 36冊																																				
成果・効果	学校でのお話し会及びブックトークは、学校での朝読書と合わせて小中学生への読書活動へのきっかけ作りとなった。試行的に実施した学校図書館システムを利用している図書館資料の貸出については、今後の学校図書館とのシステム連携を図る上で参考となった。	学校での読み聞かせ・ブックトークに関しては、各校のニーズが高く、子供たちも意欲的に参加することができた。返却用ブックポストの設置と運用に関しては、当初の目標どおり2校に設置し試行運用を開始することができたが、利用実績が低調だった。	○学校おはなし会・ブックトークについては、図書館ボランティアの協力により、小学校全校で実施することができ、子供たちも意欲的に参加することができた。 ○返却用ブックポストの試行設置については、児童・生徒の利便が図られたものの、利用実績が低調であった。																																				
評価（達成度）	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	児童・生徒の読書活動の充実のため、図書館システムと学校図書館システムの一層の連携を検討し、図書館司書と学校図書館司書の連携を深めていく必要がある。	学校での読み聞かせ・ブックトークに関しては、今後学級数の減少が懸念されるため、「目標（指標）」の設定を検討する必要がある。 返却用ブックポストの利用については、当初の見込み（各校10冊×6か月＝60冊程度）を下回る結果となったため、全校への展開の前に、そもそもの市図書館で本を借りるスキームを構築して、貸出と返却をセットで実施できる方策を検討する。	○学校おはなし会・ブックトークは、学校のニーズに応えながら、今後も継続して実施していく。 ○返却用ブックポストは、児童・生徒のリクエストによる学校への貸出図書との配送と絡めて検討する必要がある。あわせて、学校内での貸出図書の受渡し方法についても、慎重に検討する必要がある。																																				

基本施策3 多様な学習の展開

施策

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

年齢や国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが生涯を通して、教育や芸術文化、スポーツなどさまざまな機会に親しむことができるよう、参加しやすい環境づくりを進めるとともに、時代の変化、社会の変化等に対応できるよう、関係機関と連携して情報や学習機会の提供に努めていきます。

事業の方向性

○国際理解や多文化共生等の促進のための学習機会の提供

持続可能で多様性と包摂性のある社会を理解するため、国際理解や多文化共生、環境などに関する学習機会を提供します。

実施事業

国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	(9-1)	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	(9-1)	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	(9-1)
----------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	-------

【担当課】 地域振興課

地域振興課

地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○多文化共生に関する講座等の実施 1回																																						
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上																																				
取組実績	○多文化共生講演会の実施(ふっさ・はむら多文化共生事業協議会) 2回 ○日本語支援ボランティア入門講座の実施 1回	○日本語支援ボランティア入門講座の実施 1回 参加者数18人/定員20人 満足度90%(アンケートにて「大いに参考になった」と回答)	○世界の文化講座「フィリピンの家庭料理を作ろう!」の実施 1回 ・参加者数11人/定員12人⇒定員に対する参加者の割合 91.7% ・満足度90.9%(アンケートにて「大変良かった」、「良かった」と回答した合計)																																				
成果・効果	○著名な講師を招いて、多文化共生講演会を実施した。多文化共生に馴染みのない市民に多く参加いただいた。 ○講座を通して日本語学習支援に関する知識の習得をするとともに、日本語学習支援ボランティアについての興味や関心を高めることができた。	講座を通して、日本語学習支援に関する知識の習得をするとともに、日本語学習支援ボランティアについての興味や関心を高めることができた。	講座を通して、市民の多文化共生についての理解・啓発を図ることができた。																																				
評価(達成度)	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き多文化共生の推進につながる講座について、企画・実施に向けて検討していく。	引き続き、多文化共生の推進につながる講座の企画・実施に向け、検討し実施していく。	引き続き、多文化共生の推進につながる講座の企画・実施に向けて、検討していく。																																				

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○国際理解講座 1事業 ○交流事業 1事業																																						
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上																																				
取組実績	○国際理解講座・エリザベス女王とイギリスの文化歴史 令和5年2月19日 講座室1・定員48人 参加者数38人/申込48人 参加者の満足度77% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催(ウイーン音楽家による指導と共演) 羽村第一中学校 吹奏楽部45人への指導 (令和4年10月11日 同中学校) 羽村市・奥多摩町・檜原村児童による合唱団10人との共演 (令和4年10月10日 ゆとろぎ大ホール)	○国際理解講座・ゆとろぎ国際理解講座「実は知らない日本とトルコの深い絆～親国トルコを知ろう～」の実施 ・開催日 令和6年1月20日 ・参加者数 44人/定員50人 ・参加者の満足度 80% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催(ウイーン音楽家による指導と共演) 羽村第二中学校 吹奏楽部35人への指導 (令和5年10月10日 同中学校) 羽村市・奥多摩町・檜原村及び他市の児童による合唱団31人との共演 (令和5年10月9日 ゆとろぎ大ホール) ・参加者の満足度 91%	○杏林大学公開講演会「ドイツの物語から読みとく日本とドイツの親和性」の実施 ・開催日 令和7年2月2日 ・参加者数 50人/定員60人 83% ・参加者の満足度 62% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催(ウイーン音楽家による指導と共演) 羽村第三中学校 吹奏楽部18人への指導 (令和7年2月7日 同中学校) 羽村市・奥多摩町・檜原村・昭島市及び他市の児童による合唱団との共演 (令和7年2月11日 ゆとろぎ大ホール) ・参加者の満足度 94%																																				
成果・効果	両事業の実施により市民の国際理解に寄与できた。	両事業の実施により市民の国際理解を高める機会を提供することができた。	今回から昭島市が加わり、参加者および音楽祭入場者が増加し、両事業の実施により市民の国際理解を高める機会を提供することができた。																																				
評価(達成度)	B <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	B <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	国際交流音楽祭は参加者が減少しているため、内容等について検討していく。	国際交流音楽祭は鑑賞者が減少しているため、内容等について検討していく。また、音楽祭に参加(来場)した方のアンケートは実施したが、合唱に参加した児童・生徒のアンケートは実施できなかったため、今後実施していく。	自治体間で、合唱団の参加人数に偏りがあるため、各自治体で合唱団への参加の呼びかけをさらに促進する必要がある。																																				

【基本施策3】多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

実施事業

環境学習機会の提供	(9-2)	環境学習機会の提供	(9-2)	環境学習機会の提供	(9-2)
-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

【担当課】

環境保全課

環境保全課

環境保全課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○環境講演会の開催 ○産業祭への環境展の出席		○市民と産業のまつりへの環境展の出席																																				
目標(指標)	○環境講演会参加者数 300人	○環境配慮意識の啓発	○環境配慮意識の啓発																																				
取組実績	○気象予報士の天達武史さんを講師とし、「天気の人、天達と考える地球温暖化～気候変動と地球の未来～」と題した環境講演会を6月4日(土)に開催。参加者数204人。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため産業祭が中止になったことにより、環境展の出席はできなかった。	①11月4日(土)稲荷緑地の会・美原里山保存会と「のぎり体験(竹・栓)」を協働で実施 ②11月5日(日)エコネットはむらと「太陽光発電およびポータブル電源によるマイクログリッド」「太陽光で動くおもちゃ」「太陽の力で調理するソーラークッカー」などの展示・照会を協働で実施	令和6年11月2日(土)・3日(日)S&Dスポーツパーク富士見 「はむら市民と産業のまつり2024」に出店(ブース来訪者計1,031人) 環境政策課(78人)、エコネットはむら(115人)、稲荷緑地の会(350人)、美原里山保存会(488人)																																				
成果・効果	地球温暖化やそれに伴う気候変動について、わかりやすい解説を通して意識啓発を図ることができた。	両日とも多くの来場者があり、体験型イベントとして自然環境や地球環境に目を向けていただく機会を提供することができた。 ※自由に出入りできるブースであるため、来場者数の集計は実施していない。	環境情報や環境活動を広く周知し、市民等、事業者等が環境配慮行動を実践する契機となるPR展示を実施できた。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	令和5年度は環境学習の機会として市民まつり(仮称)「産業祭」に市民団体と連携した環境展を出店し、市民に対して環境問題を考えるきっかけをつくる機会の開催に取り組んでいく。	体験型のイベントとして、様々な環境問題に触れる機会を提供することは必要であり、環境問題を考える機会となる展示内容を市民団体と連携して取り組む。	引き続き、環境情報や環境活動を広く周知していく。																																				

事業の方向性

○高齢者への学習機会の提供

自らの生きがいや趣味のための学びとともに、大きく変化する社会での生活に対応できるように、デジタル・デバイドの解消を中心とした事業を実施します。

実施事業

情報化に対応するための講座等の実施	(9-3)	情報化に対応するための講座等の実施	(9-3)	情報化に対応するための講座等の実施	(9-3)
-------------------	-------	-------------------	-------	-------------------	-------

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	
事業内容	○情報化に関する講座の実施 1事業	
目標(指標)	○定員数の70%以上の参加	
取組実績	○先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化…モバイル通信の歩みと5G」 令和4年9月24日 講座室1 定員50人 参加者数29人/申込50人 参加率58% 参加者の満足度(理解度)36%	
成果・効果	内容が高度であり、期待した効果が得られなかった。	
評価(達成度)	C	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	講師と調整しながら、分かりやすい講座内容を検討していく。	

【担当課】 情報政策課

情報政策課

情報政策課

【関連課】 地域振興課、その他関連課

地域振興課、その他関連課

地域振興課、その他関連課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○東京都と連携したスマホ教室の実施		○東京都およびGovTech東京と連携したスマホ教室の実施	
目標(指標)	○スマートフォンの基本的な使用方法等の習得「スマホ基礎教室」実施 6回 ○スマートフォンの便利な使用方法等の習得「スマホ応用講座」実施 6回	○スマートフォンの基本的な使用方法等の習得「スマホ基礎教室」の実施 5回 ○スマートフォンの便利な使用方法等の習得「スマホ応用講座」の実施 5回	○スマートフォンの基本的な使用方法等の習得「スマホ基礎教室」の実施 5回 ○スマートフォンの便利な使用方法等の習得「スマホ応用講座」の実施 5回 ○定員に対する参加者 80%以上	
取組実績	○東京都と連携し、スマホ教室を実施した。計16回 ・スマホ基礎教室(体験会) 8回 ・スマホ応用講座(相談会) 8回	○スマホ基礎教室の実施 10回、参加者数38人/定員200人(20人/回×10回) 定員に対する参加者 19% ○スマホ応用講座の実施 7回、参加者数41人/定員105人(15人/回×7回) 定員に対する参加者 39%	東京都が実施している「スマホ利用啓発事業」に参画し、例年実施していた「基礎教室」を6回、「応用講座」を12回、実施した。加えて、R6年度事業に加えられた障害者教室にも参画し、障害福祉課の協力も得ながら2回実施(1人参加)することができた。	
成果・効果	東京都でのスマホ貸出事業も利用し、スマホを持っていない方にも体験をいただけたほか、日頃の使用における疑問等の解消にも有益な教室とすることができた。これからも同様の教室を利用したい、スマホや様々なアプリを使いこなしたいなど、スマホの利用に関して積極的なご意見をいただいた。	スマートフォンの扱いに不慣れな方、全く扱ったことのない方を対象に開催することにより、日常生活にICTの要素を入れることで今後、日常生活でのICTによる恩恵が更に拡大していくことを知っていただく、より興味を持っていただく、良いきっかけ作りができた。	実施回数に関しては、基礎教室が5⇒6回、応用講座が5⇒12回と、東京都との調整を密に行い、増やすことができたが、参加率については、基礎教室の定員72人に対し27人、応用講座の定員144人に対し54人、それぞれ、37.5%、37.5%、合計37.5%であった。	
評価(達成度)	A	評価凡例	評価凡例	評価凡例
		A 達成度 80%以上	A 達成度 80%以上	A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満	B 達成度 50%以上80%未満	B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満	C 達成度 30%以上50%未満	C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満	D 達成度 30%未満	D 達成度 30%未満
— 未実施	— 未実施	— 未実施		
課題・対応	一定の効果はあるが、開催方法や内容などの改善が必要である。多くの高齢者に認知いただけるよう、広報等周知の方法を検討する。	目標としていた開催回数については、達成することができたが、参加者数が伸びず、基礎教室の定員200人に対し38人(19%)、応用講座の定員105人に対し41人(39%)となった。今後も必須である事業であることから、回数だけではなく、定員に対する参加人数についても目標に掲げ、参加者の拡大に向けた新たな広報活動を検討、実施していく。	東京都との調整により、実施回数増に繋げることはできたが、目標としていた参加率80%には届かなかった。コミュニティセンターなどの各施設へチラシを置くなど事業周知を進めたが、まだ、行き届かなかった。また、開催日の10/5、11/2については、荒天となり若干参加者が減少している。今後も東京都の事業を利用していき、その他の方策についても検討を重ねるだけでなく、他自治体での施策を研究していく。	

【基本施策3】多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

実施事業

高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	(9-4)	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	(9-4)	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	(9-4)
-------------------------	-------	-------------------------	-------	-------------------------	-------

【担当課】 高齢福祉介護課

高齢福祉介護課

高齢福祉介護課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	○高齢者レクリエーションのつどいの実施 ○老人福祉センターじゅらく苑及び高齢者在宅サービスセンターいこいの里において高齢者を対象とした講座の実施や自主グループ活動の支援 【じゅらく苑】お好み講座4講座、ボランティア講師による講座3講座、自主グループ25団体 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座10講座、自主グループ8団体 ○講座受講者の成果発表会の開催	【じゅらく苑】お好み講座4講座、ボランティア講師による講座3講座、自主グループ22団体 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座8講座、自主グループ10団体	【じゅらく苑】お好み講座4講座、ボランティア講師による講座3講座、自主グループ23団体 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座7講座、自主グループ10団体
目標（指標）	○高齢者レクリエーションのつどい参加者数 550人 ○講座延べ受講者数 6,000人	○高齢者レクリエーションのつどい参加者数 500人 ○講座延べ受講者数 6,000人	○高齢者レクリエーションのつどい参加者数 400人 ○講座延べ受講者数 7,000人
取組実績	○高齢者レクリエーションのつどいは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○じゅらく苑、いこいの里において各種講座等を実施 【じゅらく苑】お好み講座4講座、ボランティア講師による講座3講座、自主グループ26団体の活動支援 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座10講座、自主グループ8団体の活動支援 ○講座受講者の成果発表会を生徒学習センターゆとろぎで開催 【じゅらく苑】R5.2.10～R5.2.12 【いこいの里】展示：前期R5.2.17～R5.2.19・後期R5.2.24～R5.2.26、実演：R5.2.17	○高齢者レクリエーションのつどいの開催 活動支援（令和5年6月22日） 参加者数373人 ○老人福祉センターじゅらく苑及び高齢者在宅サービスセンターいこいの里において各種講座等を実施 【じゅらく苑】お好み講座4講座、ボランティア講師による講座3講座、自主グループ23団体 受講者数延べ1,501人 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座8講座、自主グループ10団体の支援 受講者数延べ5,170人 ○講座受講者の成果発表会の開催 【じゅらく苑】 令和6年2月5日～3月7日、3月19日～21日 来館者数 庁舎ロビーで開催のため不明 【いこいの里】 展示 前期：令和6年2月16日～18日 後期：令和6年2月23日～25日 実演 令和6年2月17日 来館者数（ゆとろぎ）展示1,130人、実演117人	○高齢者レクリエーションのつどいの開催（R6.6.27）の活動支援 ○老人福祉センターじゅらく苑及び高齢者在宅サービスセンターいこいの里において各種講座等を実施 【じゅらく苑】お好み講座3講座、ボランティア講師による講座4講座、自主グループ23団体 【いこいの里】いきいき講座8講座、ボランティア講師による講座6講座、自主グループ11団体 ○講座受講者の成果発表会の開催 【じゅらく苑】華道：R7.3.4～R7.3.6・R7.3.18～R7.3.20、切り絵：R7.3.12～R7.3.26 【いこいの里】展示：前期R7.2.14～R7.2.16・後期R7.2.21～R7.2.23、実演：R7.2.14
成果・効果	○講座受講者数 【じゅらく苑】延1,699人、【いこいの里】延6,785人 ○成果発表会来館者数 【じゅらく苑】延325人、【いこいの里】展示：1,093人、実演：154人	高齢者を対象に、簡単なスポーツ、レクリエーションを実施して体を動かすことをはじめ、社会参加を促すきっかけづくりや、文化活動を通じた仲間づくりと生きがいづくりの促進を図ることで、心身の健康維持増進につなげることができた。	○高齢者レクリエーションのつどい参加者数 345人 ○講座受講者数 【じゅらく苑】延べ1,332人、【いこいの里】延べ3,878人 ○成果発表会来場者数 【じゅらく苑】コミュニティセンター1階ロビーで開催のため不明、【いこいの里】ゆとろぎで開催 展示1,119人、実演88人
評価（達成度）	A	A	A
課題・対応	○コロナ禍における高齢者レクリエーションのつどいの開催：羽村市高齢者クラブ連合会との共催事業のため、協議により感染拡大防止の観点から開催及び内容を決定する。 ○各種講座講師の高齢化：じゅらく苑1講座、いこいの里1講座で講師の変更を検討していく。	○羽村市高齢者クラブ連合会の会員数の減少と高齢化と一般参加者が少ないのが課題である。高齢者レクリエーションのつどいについては、羽村市高齢者クラブ連合会との共催事業のため、今後についても開催方法など協議していく必要がある。 ○各種講座における講師の高齢化により、講師の変更や内容の見直しを検討する必要がある。	○羽村市高齢者クラブ連合会は、会員の高齢化とともに会員数の減少が課題となっている。高齢者レクリエーションのつどいについては、同連合会と市の共催事業であるため、今後の開催方法などを協議していく必要がある。 ○各種講座における講師が高齢化しており、講師の変更や内容の見直しを検討する必要がある。

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○中高年向け講座の実施 3事業		○中高年を含めた全年齢向け講座の実施 15事業																																				
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	○参加者の満足度 80%以上	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上																																				
取組実績	○先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化…モバイル通信の歩みと5G」 参加者の満足度36% ○文学講座「日本の近代文学 女性作家 樋口一葉」 参加者の満足度95% ○学習文化講座（初心者講座）「初心者陶芸教室」を実施 参加者の満足度100%	○中高年向け講座の実施 3事業 ①ゆとりぎ文学講座 参加者数11人/申込者数13人/定員50人 満足度70% ②ゆとりぎ近・現代史講座 参加者数29人/申込者数31人/定員40人 満足度82% ③ゆとりぎ先端テクノロジー講座 参加者数34人/申込者数50人/定員50人 満足度84%	定員に対する参加者 66% 参加者の満足度 74% ○中高年を含めた全年齢向け講座の実施 13事業 ・ゆとりぎ文学講座「近・現代編 川端康成『雪国』」 参加者数24人/定員50人:48% 満足度:86% ・ゆとりぎ近・現代史講座「日本の近・現代史と食文化」 参加者数26人/定員50人:52% 満足度:73% ・ゆとりぎ先端テクノロジー講座「生成AI」 参加者数45人/定員50人:90% 満足度:48% ・生涯学習講座「ゆとりぎで展示・公演・講座を企画・運営してみませんか!」 参加者数17人/定員20人:85% 満足度:68% ・ゆとりぎ経済講座 ①金融編 参加者数29人/定員50人:58% 満足度:51% ②証券編 参加者数49人/定員50人:98% 満足度:70% ・ゆとりぎ身近なサイエンス講座「家庭における正しい食品衛生管理…食中毒のしくみと食品表示の見方」参加者数21人/定員50人:42% 満足度:85% ・大人の学び直し講座「くらしに役立つ中学数学の面白さ」 参加者数46人/定員50人:92% 満足度:63% ・中央大学学術講演会「日本マンガ・アニメの強さの秘密」 参加者数39人/定員60人:65% 満足度:82% ・テレ朝出前講座「報道のプロが語る災害報道の舞台裏と地域の防災」 参加者数39人/定員60人:65% 満足度:97% ・ゆとりぎ学習文化講座「初めてのトルペイント」 参加者数9人/定員10人:90% 満足度:100% ・杏林大学学生連携企画講座「温泉で心と身体を健康に!」 参加者数25人/定員60人:41% 満足度:86% ・杏林大学公開講演会「ドイツの物語から読みとく日本とドイツの親和性」 参加者数50人/定員60人:83% 満足度:62% ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 参加者数28人/定員50人:56% 満足度:74%																																				
成果・効果	日本の近代文学講座及び初心者陶芸教室は、高い満足度を得たが、先端テクノロジー講座は、高度な内容となつてしまい、満足度が低かった。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施することができた。	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施することができた。																																				
評価（達成度）	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	市民ニーズを捉えた企画をするとともに、分かりやすい講座内容を検討していく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施を行っていく。	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施を行っていく。																																				

【基本施策3】多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

事業の方向性

○健康に関する学習機会の提供

感染症等の疾病やフレイル予防など健康に関する学習機会を提供します。

実施事業

	健康に関する講座等の実施 (9-5)	健康に関する講座等の実施 (9-5)	健康に関する講座等の実施 (9-5)
--	--------------------	--------------------	--------------------

【担当課】 健康課 → 健康課 → 健康課

【関連課】 スポーツ推進課 → スポーツ推進課 → スポーツ推進課

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら健康フェアの実施 ○計るだけダイエットの実施 ○子育てママのからだスッキリ教室の実施 ○カラダ塾(健康料理講習会)の実施 ○メンズ・キッチンの実施 ○骨太教室(運動編・栄養編)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら健康フェアの実施 ○計るだけダイエットの実施 ○子育てママのからだスッキリ教室の実施 ○カラダ塾(健康料理講習会)の実施 ○メンズ・キッチンの実施 ○骨太教室(運動編・栄養編)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○はむらEnjoyウォーキングの実施 ○出前講座(健康教育)の実施 ○体力チェックと運動講座の実施 																																				
目標(指標)	○定員数の80%以上の参加	○定員数の80%以上の参加	○定員に対する参加者 80%以上																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら健康フェア(セミナー・展示・結核健診) 延べ146人 ○計るだけダイエット(1回) 参加者6人/12人中 ○子育てママのからだスッキリ教室(2回) 参加者5人/12人中 ○カラダ塾(健康料理講習会)(5回) 参加者50人/70人中 ○メンズ・キッチン(2かい) 参加者13人/24人中 ○骨太教室(運動編)(1回) 参加者23人/24人中 	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら健康フェアの実施 参加者数延べ419人 ○計るだけダイエットの実施 1回、参加者数6人/定員12人 ○子育てママのからだスッキリ教室の実施 2回、参加者数7組/定員12組 ○カラダ塾(健康料理講習会)の実施 5回、参加者数79人/定員80人 ○メンズ・キッチンの実施 2回、参加者数17人/定員24人 ○骨太教室(運動編・栄養編)の実施 2回、参加者数50人/定員56人 	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら健康フェアの実施 延べ2,075人 ○計るだけダイエットの実施(1回) 実人員8人/定員12人 ○子育てママのからだスッキリ教室の実施(1回) 実人員10人/定員12人 ○カラダ塾(健康料理講習会)の実施(5回) 実人員79人/定員100人 ○メンズ・キッチンの実施(2回) 実人員16人/定員32人 ○骨太教室(運動編・栄養編)の実施(2回) 実人員51人/定員70人 ○はむらEnjoyウォーキングの実施(1回) 実人員17人/定員20人 ○出前講座(健康教育)の実施(6回) 実人員45人 ○体力チェックと運動講座の実施(4回) 実人員65人/定員96人 																																				
成果・効果	定員に対する参加率は全体で約68%であったが、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、様々な健康に関する学習機会を提供することができた。	定員に対する参加率は全体で86.4%であり、目標とする80%を超えることができた。 生活習慣病とその予防・対策について、講義と調理実習・運動実習を併用した健康教育を行い、生活習慣改善に向けた行動変容のきっかけづくりとして、機会を提供することができたと考える。	定員に対する参加率は72%であり、目標とする80%を達成することができなかった。内容としては、生活習慣病の予防や対策等について、講義と実習を組み合わせた健康づくり教室を実施した。参加者からは取り組みやすい内容であり、実践しやすい等の意見も聴かれ、行動変容のきっかけづくりとなる機会を提供できたと考える。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら教室を実施したため、積極的な参加促進活動などを控えていたこともあり、定員数の80%以上の参加者の目標に達成することはできなかった。 次年度以降については、周知・申込み方法などの改善を図る。	各講座の参加率にはばらつきがあり、働き盛り世代や親子参加の講座は参加率が低い傾向にある。参加者のニーズに合った講座の企画を行うとともに、周知・申込方法など改善を図り、市民の健康づくりを推進していきけるよう、継続して取り組む。	参加率のばらつきがあり、参加者のニーズや行動変容につながるような企画を行うとともに、タイムリーに情報提供を行い、より多くの市民が参加できるよう、改善を図る。																																				

実施事業

介護予防普及啓発事業の実施	(9-6)	介護予防普及啓発事業の実施	(9-6)	介護予防普及啓発事業の実施	(9-6)
---------------	-------	---------------	-------	---------------	-------

【担当課】

高齢福祉介護課

高齢福祉介護課

高齢福祉介護課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室の開催 ○フレイル予防・筋トレマシン教室の開催 ○フレイル予防・オンライン体操教室(オンライン)の開催 ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操(オンラインと対面)の開催 ○口腔機能向上教室の開催 ○世界アルツハイマー月間講演会の開催 ○介護予防通信の配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症月間映画上映会の開催 																																				
目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室 月1回×12月 ○フレイル予防・筋トレマシン教室 月1回×12月 ○フレイル予防・オンライン体操教室(オンライン) 月1回×12月 ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操(オンラインと対面) 8回×3コース ○口腔機能向上教室 1回 ○世界アルツハイマー月間講演会 1回 ○介護予防通信 24回 	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室 月1回×12月×2か所 ○フレイル予防・筋トレマシン教室 月2回×12月×2か所 ○フレイル予防・オンライン体操教室 月1回×12月 ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操 8回×3コース(対面3回・オンライン5回) ○口腔機能向上教室 1回 ○世界アルツハイマー月間講演会 1回 ○介護予防通信 24回 	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室 月1回×12月×2か所 ○フレイル予防・筋トレマシン教室 月2回×12月×2か所 ○口腔機能向上教室 1回 ○認知症月間映画上映会 1回 ○介護予防通信 24回 ○定員に対する参加者 80%以上 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室を開催 12回、参加者 延べ218人 ○フレイル予防・筋トレマシン教室を開催 12回、参加者 延べ229人 ○フレイル予防・オンライン体操教室(オンライン)を開催 12回、参加者 延べ127人 ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操(オンラインと対面)を開催 24回、参加者 延べ170人 ○口腔機能向上教室を開催 1回、参加者 28人 ○世界アルツハイマー月間講演会を開催 1回、参加者 106人 ○介護予防通信(メール配信) 24回 	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室の開催 24回、参加者数延べ391人/定員720人 ○フレイル予防・筋トレマシン教室の開催 48回、参加者数延べ376人/定員480人 ○フレイル予防・オンライン体操教室の開催 12回、参加者数延べ135人/定員360人 ○おうちでできるオンラインフレイル予防体操の開催 24回、参加者数延べ114人/定員240人 ○口腔機能向上教室の開催 1回、参加者数延べ45人/定員50人 ○世界アルツハイマー月間講演会の開催 1回、参加者数延べ104人/定員100人 ○介護予防通信をメール配信 24回 	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防・ベーシック体操教室を24回開催し、延べ521人が参加した。(定員延べ720人、参加率72%) ○フレイル予防・筋トレマシン教室を48回開催し、延べ421人が参加した。(定員延べ480人、参加率88%) ○口腔機能向上教室を1回開催し、31人が参加した。(定員50人、参加率62%) ○認知症月間映画上映会を1回開催し、111人が参加した。(定員100人、参加率111%) ○介護予防通信を24回メールで配信した。 ○定員(計1,350)に対する参加者(計1,084)の割合は80%であった。 																																				
成果・効果	<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、対面とオンラインで実施する各体操教室を活用し、フレイル予防の正しい知識や体操等について広く普及啓発した。</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、対面とオンラインで実施する各体操教室を活用し、フレイル予防の正しい知識や体操等について広く普及啓発した。</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、各教室や映画上映会、メール配信を活用し、フレイル予防の正しい知識や体操等について広く普及啓発した。</p>																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	<p>対面で行う体操教室の利用者が多いため、令和5年度は開催日・開催場所を増やし、より多くの市民が参加できるよう取り組んでいく。</p>	<p>体操教室の参加者は、継続的に利用している方が多く、各回概ね定員に達することから、当事業に対する満足度の高さがうかがえる。市民のフレイル予防を推進するため、引き続き取り組む。なお、オンライン体操教室については、コロナ禍における運動機会の確保を目的としていたことから、令和5年度を以て終了とし、令和6年度以降は、対面で実施する事業に注力する。</p>	<p>筋トレマシン教室は申込制で定員が少ないため参加率が高いが、長期にわたり参加する方もいるため、新規参加者が入りづらい状況となっている。令和7年度以降は自主的な活動場所を広げるための普及啓発(自宅やスポーツセンター等)にも努めていく。</p>																																				

事業の方向性

○社会人の学びの支援

社会人になってからの、「生きがい」「趣味」などの学びのほか、「防災・減災」「交通安全」などの「命を守る」ための学び、「就業」「起業・創業」などの学び、「地域課題」「自らの課題解決」などの学びなど、社会人の学びや学び直しを支援します。

実施事業

	市民活動講座の充実	(9-7)	市民活動講座の充実	(9-7)	市民活動講座の充実	(9-7)
--	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

【担当課】

地域振興課

地域振興課

地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○市民活動講座等の実施 1回				→				
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上		○参加者の満足度 80%以上		○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上				
取組実績	○ファシリテーター入門講座の実施 1回		○ファシリテーター入門講座の実施 1回 参加者数10人/定員20人 満足度100%(アンケートにて「満足」「やや満足」を合わせた結果)		○ファシリテーター講座「市民活動をより活発に！対話力アップ！」の実施 1回 ・参加者数15人/定員20人⇒定員に対する参加者の割合 75% ・満足度 100%(アンケートにて「満足」「やや満足」と回答した合計)				
成果・効果	講座を通じて、職場や地域など幅広い分野で役立つ技術「ファシリテーションスキル」習得の一助となり、新たな活動や既存の活動などの発展・拡大が進むことが期待できる。 アンケートでは、参加者の満足度は100%であった。		講座を通して、職場や地域など幅広い分野で役立つ技術「ファシリテーションスキル」習得の一助となり、新たな活動や既存の活動などの発展・拡大が進むことが期待できる。		職場や地域など幅広い分野で役立つ技術「ファシリテーションスキル」習得の一助となり、新たな活動や既存の活動などの発展・拡大が進むことが期待できる。				
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例				
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上	B	評価凡例	
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		A	達成度 80%以上
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		C	達成度 30%以上50%未満
—	未実施	—	未実施	D	達成度 30%未満				
課題・対応	引き続き、市民や市民活動団体のスキル向上などが図られるような講座を企画・実施していく。		引き続き、市民や市民活動団体のスキル向上などが図られるような講座の企画に向けて検討し、実施していく。		今後は、講座の内容や会場の広さなどを考慮し、引き続き実施していく。				

実施事業

	「命を守る」ための学びの提供 (9-8)	「命を守る」ための学びの提供 (9-8)	「命を守る」ための学びの提供 (9-8)
--	----------------------	----------------------	----------------------

【担当課】

防災安全課

防災安全課

防災安全課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展の実施 ○防災講演会の実施 ○家庭防災フェスティバルの実施 ※福生消防署管内消防連絡協議会実施事業 (福生消防署、羽村市、福生市、瑞穂町で構成) ○防犯出前講座の実施 ・福生警察と連携し、市民からの要望に応じた講座内容を実施。 ○防犯情報の発信 ○交通安全講習会の開催 ・全国交通安全運動に合わせ、福生警察署・羽村市交通安全推進委員会と連携し、講習会を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺根絶キャンペーン 福生警察署及び防犯協会と連携し、年金支給日に市内金融機関において啓発活動を実施。 ・防犯出前講座の実施 福生警察と連携し、市民からの要望に応じた講座内容を実施。 																																				
目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展・防災講演会参加者の満足度 80%以上 ○家庭防災フェスティバル参加者数 145人以上 ○防犯出前講座 1回 ○交通安全講習会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展・防災講演会参加者の満足度 80%以上 ○家庭防災フェスティバル参加者数 145人以上 ○防犯出前講座 1回 ○交通安全講習会 2回 計600人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展・防災講演会参加者の満足度 80%以上 ○家庭防災フェスティバル参加者数 145人以上 ○特殊詐欺根絶キャンペーン 6回 ○交通安全講習会 2回 計600人以上 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展 参加者数145人 ○防災講演会 参加者数87人 ○家庭防災フェスティバル 参加者数155人 ○防犯出前講座 要望無し ○交通安全講習会 秋(令和4年9月) 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 春(令和5年3月) 参加者280人 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展の実施(ゆとりぎ) 令和6年3月5日～10日 来場者数175人 ○防災講演会の実施(ゆとりぎ) 令和6年3月10日 来場者数70人 満足度78%(アンケートで役に立ったという回答) ○家庭防災フェスティバルの実施(福生市民会館) 令和5年11月23日 来場者数81人 ○防犯出前講座 要望無し ○交通安全講習会の開催 2回 秋(令和5年9月)と春(令和6年3月) 参加者数569人 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展は令和7年3月5日から3月11日まで(来場者248人)、防災講演会は令和7年3月8日(来場者65人) ○家庭防災フェスティバルについては、令和6年11月24日(来場者101人)にプリモホールゆとりぎ小ホールで実施した。 ○防犯に関する啓発活動は、特殊詐欺根絶キャンペーンを年6回実施した。防犯出前講座については要望無し。 ○防犯情報の発信は、特殊詐欺の電話が多いときに福生警察署からの依頼により、防災行政無線と配信メールによる注意喚起を行った。 ○交通安全講習会は、秋(令和6年9月)と春(令和7年3月)の2回開催した。 																																				
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展及び防災講演会のアンケートで、役に立ったという回答が90.0%であった。 ○家庭防災フェスティバルでは、目標人数を超えることができた。 ○春の交通安全講習会において、交通ルールの遵守など、交通安全に対する意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展及び防災講演会については、防災意識の高揚に繋げることができた。 ○交通安全講習会については、交通ルールの遵守など、交通安全に対する意識の高揚に繋げることができた。 ○家庭防災フェスティバルについては、東日本大震災を経験した講師を招き、実体験を学ぶことで防災意識の高揚に繋げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展及び防災講演会のアンケートで役に立ったという回答が88%であった。 ○家庭防災フェスティバルについては、東京防災学習セミナーの講師を招き、首都直下地震への地域の備えについて学び、防災意識の向上に繋げることができた。 ○防犯に関する啓発活動について、特殊詐欺の手法について周知することができた。 ○防犯情報の発信について、特殊詐欺の不審な電話には注意するよう周知することができた。 ○交通ルールの遵守など、交通安全に対する意識を高めることを目的に実施した交通安全講習会には536人の参加があった。 																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		B	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
B	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展及び防災講演会を通して、引き続き市民の防災意識の高揚を図っていく。 ○家庭防災フェスティバルは、福生消防署管内の自治体2市1町の町内会・自治会の会員を対象に実施している。各町内会・自治会の会員は、様々な活動を行っており、負担が増えていることから、このフェスティバルの実施に関して、見直しの意見が各自治体の町内会・自治会から出ている。この意見を踏まえ、今後のあり方を検討していく。 ○交通安全講習会について、更に多くの方々に参加していただくため、引き続き周知に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災企画展及び防災講演会を通して、引き続き市民の防災意識の高揚を図っていく。 ○家庭防災フェスティバルについては、参加者の防災意識の高揚に向けて、継続的に実施していく。 ○交通安全講習会について、更に多くの方々に参加していただくため、引き続き周知に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯に関する啓発活動や防犯情報の発信については、市民の防犯に対する意識を高めるため、引き続き行っていく。 ○交通安全講習会について、更に多くの方々に参加していただくため、引き続き周知に努めていく。 																																				

【担当課】 地域振興課

地域振興課

地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
事業内容	町内会連合会が行う防災リーダー講習会について、会場提供、当日の運営支援を行う。					
目標（指標）	○参加者数 50人以上	○参加者数 50人以上	○参加者数 50人以上			
取組実績	○防災リーダー講習会 参加者数37人 新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を半分に制限して実施した。	○防災リーダー講習会の実施 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた上で、消防署と人数調整をし、参加人数を半分に制限して実施した。 参加者数37人	防災リーダー講習会を実施した。参加者について、消防署及び町内会連合会と人数調整し、全町内会・自治会から原則各1人の合計39人を限度とした。（参加者数39人）			
成果・効果	防火活動や応急救護に関する基本的知識や心構えを学び、住民の災害意識を高め、地域防災の要となる自主防災組織力向上を推進することができた。	防火活動や応急救護に関する基本的知識や心構えを学び、住民の災害意識を高め、地域防災の要となる自主防災組織力向上を推進することができた。	防火活動や応急救護に関する基本的知識や心構えを学び、住民の災害意識を高め、地域防災の要となる自主防災組織力向上を推進することができた。			
評価（達成度）	評価凡例		評価凡例			
	B	A	達成度 80%以上	B	A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—		未実施	—		未実施	
課題・対応	引き続き、継続して実施していく。	引き続き、継続して実施していく。	引き続き、防災リーダー講習会の会場提供、運営支援を実施していく。			

【基本施策3】多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

実施事業

消費生活講座、消費者啓発事業の実施	(9-9)	消費生活講座、消費者啓発事業の実施	(9-9)	消費生活講座、消費者啓発事業の実施	(9-9)
-------------------	-------	-------------------	-------	-------------------	-------

【担当課】

地域振興課

地域振興課

地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座の開催 2回(講演会1回、調理実習1回) ○消費生活センターだよりの発行 4回 ○消費者展の開催 ○消費者の日の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座の開催 2回 ○一日生活教室の開催 2回 																																				
目標(指標)	○消費生活講座参加者の満足度 80%以上	○消費生活講座参加者の満足度 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座 <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する参加者 80%以上 ・参加者の満足度 80%以上 ○一日生活教室 <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する参加者 80%以上 ・参加者の満足度 80%以上 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座の開催 4回(はむ☆らいふ講座2回、一日生活教室2回) ○消費生活センターだより「はむ☆らいふ」の発行 4回 ○消費者展 産業祭において実施しているため、産業祭の中止に伴い中止とした。 ○消費者の日の開催 参加者数43人 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座の開催 4回 <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活講座 2回 <ul style="list-style-type: none"> (第1回:参加者数18人/定員15人、第2回:参加者数14人/定員15人) ・一日生活教室 2回 <ul style="list-style-type: none"> (第1回:参加者数16人/定員16人、第2回:参加者数14人/定員16人) ○消費生活センターだよりの発行 4回 ○消費者展の開催 ○消費者の日の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活講座の開催 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・防災体験学習バスツアー 参加者数:25人(大人19人、子ども6人)/定員20人 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定員に対する参加者の割合 125%、参加者の満足度 100% ・隠れ食品ロスを考える料理講座 参加者数:18人/定員:20人 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定員に対する参加者の割合 90%、参加者の満足度 100% ○一日生活教室の開催 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・こども向け料理講座 参加者数:16人/定員16人 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定員に対する参加者の割合 100%、参加者の満足度 100% ・おやじの料理講座 参加者数:13人/定員16人 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定員に対する参加者の割合 81.3%、参加者の満足度 100% ○消費生活センターだよりの発行 4回 ○消費者展(第55回いのちとくらしを守る羽村市消費者展) <ul style="list-style-type: none"> 消費者団体による「消費者意識啓発」展示、ワークショップ、消費生活相談室の開催 ○消費者の日(羽村市消費生活センター開設50周年 第45回羽村市消費者の日) <ul style="list-style-type: none"> 「夢みる給食」上映会&ミニマルシェの開催 参加者数:約90人(市民約60人、招待・関係者 約30人)/定員:100人 																																				
成果・効果	市民に啓発活動を行い、消費生活の安定および向上を図ることができた。 消費生活講座を開催し、アンケートの結果参加者の満足度80%以上を達成している。 一日生活教室の参加者によって自主サークルが発足し、活動が継続している。	市民に啓発活動を行い、消費生活の安定及び向上を図ることができた。 一日生活教室の参加者によって発足した自主サークルの会員が増え、活動が継続している。	消費生活に関する啓発を行うことで、消費者としての意識を高めることができた。 講座を通じて、生存力を身につける(防災体験)ことや食への関心を深めることができた。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き、継続して実施していく。	引き続き、継続して実施していく。	引き続き、消費者としての意識啓発が図られるような講座を実施していく。																																				

実施事業

就業、起業・創業等に関する学習機会の提供	(9-10)	就業、起業・創業等に関する学習機会の提供	(9-10)	就業、起業・創業等に関する学習機会の提供	(9-10)
----------------------	--------	----------------------	--------	----------------------	--------

【担当課】

産業振興課

産業振興課

産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 8回(セミナー6回、創業交流会2回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談事業の実施 120日 ○創業支援メールマガジンの配信 12回以上 ○創業支援補助金事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業支援コーディネーターによる創業相談事業の開催 ○創業支援メールマガジンの配信 ○関係機関と連携した就職面接会及び就職支援セミナーの開催 ○企業向けセミナーの開催 																																					
目標(指標)	○セミナー参加者の満足度 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナー 8回(セミナー6回、交流会2回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談(120日) ○創業支援メールマガジン 12回以上 ○創業支援補助金 50万円×2件 ○就職面接会・就職支援セミナー(計6回、参加者延べ120人) ○企業向けセミナー(はむらイブニングサロン6回、マーケティングセミナー3回、参加企業延べ270社) 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナー 5回(セミナー4回、交流会1回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談 120日 ○創業支援メールマガジン 12回以上 ○創業支援補助金 3件 ○就職面接会・就職支援セミナー 計6回 ○企業支援セミナー 2回 																																				
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 8回(セミナー6回、創業交流会2回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談事業の実施 120日 ○創業支援メールマガジンの配信 16回 ○創業支援補助金事業の実施 1件:50万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーkの開催 8回(セミナー6回、交流会2回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談(120日) ○創業支援メールマガジン 19回 ○創業支援補助金 23万7,000円(1件) ○就職面接会・就職支援セミナーの開催 計7回、参加者数延べ456人 ○企業向けセミナー(はむらイブニングサロン6回、マーケティングセミナー3回、参加企業延べ127社) 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナー 5回(セミナー4回、交流会1回) ○創業支援コーディネーターによる創業相談 120日 ○創業支援メールマガジン 20回 ○創業支援補助金 932,000円(2件) ○就職面接会・就職支援セミナー(計7回、参加人数280名) ○企業支援セミナー(計2回、参加人数63名) 																																				
成果・効果	○創業支援セミナー参加者の満足度 100%	<ul style="list-style-type: none"> ○創業後間もない方や創業希望者に支援を行うことで、起業者の経営力強化を図ることができた。 ○就業や仕事に関する学習支援を行うことで、雇用促進に努めることができた。 ○市内企業の経営を推進する上で必要な知見の共有を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業後間もない方や創業希望者に支援を行うことで、起業者の経営力強化を図ることができた。 ○就業や仕事に関する学習支援を行うことで、雇用促進に努めることができた。 ○市内企業の経営を推進する上で必要な知見の共有を図ることができた。 																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。																																				

【担当課】

産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連携した就職面接会及び就職支援セミナーの開催 6回 ○企業向けセミナーの開催 9回 												
目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○就職面接会・就職支援セミナー 参加者延べ120人、参加企業延べ3社 ○企業向けセミナー 参加企業延べ270社 												
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○就職面接会・就職支援セミナー 参加者延べ165人、参加企業延べ3社 ○企業向けセミナー:はむらイブニングサロン6回、参加人数179人+マーケティングセミナー3回、参加人数65人 												
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○市内企業の雇用推進に取り組むことで産業振興の推進に努めることができた。 ○企業経営を推進する上で必要な知見の共有を図ることで経営力強化を図ることができた。 												
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例													
A	達成度 80%以上												
B	達成度 50%以上80%未満												
C	達成度 30%以上50%未満												
D	達成度 30%未満												
—	未実施												
課題・対応	引き続き、継続して実施していく。												

事業の方向性

○障害者の生涯学習の支援

学校での学びを修了し、就業等によって学びの機会が減少した障害のある方に対して、新たなきっかけとなる場を提供していきます。また、学びの場における「合理的配慮」の提供に努めます。

実施事業

	青年学級事業の実施	(9-11)	青年学級事業の実施	(9-11)	青年学級事業の実施	(9-11)
--	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
事業内容	○青年学級の実施 12回		※現会員10人						
目標（指標）	○登録会員の50%以上の参加（各回） ※現会員11人	○登録会員の50%以上の参加（各回） ※現会員9人	○登録会員の50%以上の参加（各回）						
取組実績	○月1回開校 参加者数延べ80人 4月・開校式/公園散策 5月・農業体験 6月・レクリエーション 7月・農業体験 8月・創作活動 9月・ボウリング大会 10月・農業体験/芋ほり 11月・遠足/動物公園 12月・フォークダンス 1月・リトミック 2月・レクリエーション 3月・ゲーム/開校式	○青年学級の実施 12回（令和5年4月23日、5月21日、6月25日、7月23日、8月20日、9月24日、10月8日、11月19日、12月17日、令和6年1月28日、2月26日、3月17日） ○登録者数10人（新規登録者 1人増） ○参加率 90.8% ○主な活動内容 農業体験（植え付け・収穫）、スポーツ・レクリエーション（ボウリング、フォークダンス、リトミック等）、創作（書道）、遠足	○青年学級の実施 12回 ○登録会員数10人 ○参加率 90% ○主な活動内容 農業体験（植え付け・収穫）、スポーツ・レクリエーション（ボウリング、フォークダンス、リトミック等）、創作（書道）、遠足						
成果・効果	障害者の生涯学習の支援としてレクリエーション等の場を提供することができた。	ボランティアや地域の方の協力を得て、障害のある方の学びの提供として青年学級を開催し、様々な体験機会を提供することができた。	ボランティアや地域の方の協力を得て、障害のある方の学びの提供として青年学級を開催し、様々な体験機会を提供することができた。						
評価（達成度）	評価凡例								
	A	A	達成度 80%以上	A	A	達成度 80%以上	A	A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満
—		未実施	—		未実施	—		未実施	
課題・対応	登録者が減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、今後、事業内容について検討していく必要がある。	引き続き、ボランティアや地域の方の協力を得ながら、青年学級を実施していく。	引き続き、ボランティアや地域の方の協力を得ながら、青年学級を実施していく。						

基本施策4 生涯学習の支援

施策

施策10 学習環境と支援体制の充実

市民がさまざまな学習・活動ができるよう、生涯学習に関わる団体等の支援を行います。
 企業や大学、団体との連携・協力を通じて、幅広いニーズに応じた学習の場を提供するとともに、学習・活動情報提供の充実に努めます。
 学習・活動の拠点である生涯学習関連施設の維持管理・充実をしていきます。

事業の方向性

○市内活動団体の支援

市で活動している文化・スポーツ団体や市民活動団体等が、今後も安全に、活発に活動していくことができるよう、必要な支援を継続していきます。

実施事業

文化団体の活動支援	(10-1)	文化団体の活動支援	(10-1)	文化団体の活動支援	(10-1)
-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○羽村市文化協会の活動支援 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援																																						
目標（指標）	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 312日	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 314日	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 317日 ○各種団体等への活動場所の提供 社会教育関係団体等の施設利用件数 1,200件																																				
取組実績	○開館日数 312日 ○施設利用者の安全確保のための事業を実施（避難訓練コンサートの実施） ○施設維持管理（定期保守点検と修繕） ○施設改修の準備（令和9年度の設備改修準備）	○羽村市文化協会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 社会教育関係団体等の施設利用件数 1,261件 ○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 314日	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 317日 ○羽村市文化協会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 社会教育関係団体等の施設利用件数 888件																																				
成果・効果	施設の安全点検・維持管理等により活動の場を提供し、文化団体の活動を支援した。	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。また、社会教育関係団体や羽村市文化協会加盟団体について、団体・サークルガイドによりPRを行った。	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。また、社会教育関係団体や羽村市文化協会加盟団体について、団体・サークルガイドによりPRを行った。																																				
評価（達成度）	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。	事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。																																				

実施事業

団体への補助金の交付	(10-3)	団体への補助金の交付	(10-3)	団体への補助金の交付	(10-3)
------------	--------	------------	--------	------------	--------

【担当課】 生涯学習推進課、スポーツ推進課 生涯学習推進課、スポーツ推進課 生涯学習推進課、スポーツ推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付	○文化・スポーツ団体や市民活動団体等へ補助金を交付する。	→																																				
目標（指標）	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市スポーツ協会への補助金の交付																																				
取組実績	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 4団体 交付額80,000円(4団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 10団体 交付額200,000円(10団体合計) ○羽村市文化協会への補助金の交付 交付額570,000円 ○羽村市体育協会への補助金の交付 交付額750,000円	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 3団体 交付額56,000円(3団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 7団体 交付額140,000円(7団体合計) ○羽村市文化協会(加盟団体数97)への補助金の交付 交付額571,000円 ○羽村市体育協会への補助金の交付 交付額750,000円	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 2団体 交付額35,000円(2団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 5団体 交付額100,000円(5団体合計) ○羽村市文化協会(加盟団体数97)への補助金の交付 交付額571,000円 ○羽村市スポーツ協会(加盟団体数19)への補助金の交付 交付額750,000円																																				
成果・効果	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。																																				
評価（達成度）	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き、継続して支援していく。	継続して支援していく。	継続して支援していく。																																				

実施事業						
	市民活動団体の活動支援	(10-4)	市民活動団体の活動支援	(10-4)	市民活動団体の活動支援	(10-4)

【担当課】 地域振興課 地域振興課 地域振興課

【関連課】

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		
事業内容	○市民活動団体交流会の実施 1回 ○市民提案型協働事業の推進						
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上 ○市民提案型協働事業実施団体への助成金交付		○参加者の満足度 80%以上 ○市民提案型協働事業実施団体への助成金交付		○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上 ○市民提案型協働事業実施団体への助成金		
取組実績	○市民活動団体交流会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。 ○市民提案型協働事業実施団体 1団体		○市民活動団体交流会 実施に向けた検討 ○市民提案型協働事業実施団体 2団体		○市民活動団体交流会の実施 1回 ・参加者数29人/定員30人⇒定員に対する参加者の割合 96.7% ・満足度 80%(アンケートにて「満足」「やや満足」と回答した合計) ○市民提案型協働事業実施団体 2団体		
成果・効果	提案事業「子ども参画のまちづくり協働事業」で地域振興課、土木課公園管理係と協働して事業を実施することができた。		市民活動団体と市が協働して、事業を実施することができた。 協働事業「子ども参画のまちづくり協働事業」(協働部署:土木課) 協働事業「リアルてらこや」(協働部署:教育委員会)		○市民活動団体交流会では、講演や団体間での意見交換・交流を通じて、活動に有益な情報を提供するほか、団体間の連携意識の向上を図ることができた。 ○市民提案型協働事業では、市民活動団体と市が協働して、事業を実施することができた。 協働事業「子ども参画のまちづくり協働事業」(協働部署:地域振興課・土木課) 協働事業「リアルてらこや」(協働部署:子育て相談課・子育て支援課)		
評価（達成度）	B	評価凡例		B	評価凡例		
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上	A
		B	達成度 50%以上80%未満		B	達成度 50%以上80%未満	
		C	達成度 30%以上50%未満		C	達成度 30%以上50%未満	
		D	達成度 30%未満		D	達成度 30%未満	
	—	未実施	—	未実施			
課題・対応	ここ数年、新型コロナウイルス感染症対策のため市民活動団体交流会を中止としたが、令和5年度は実施方法などの検討を行い、市民活動団体交流会を実施に向けて取り組んでいく。		○市民活動団体交流会は、市民活動団体連携協議会及び拡大意見交換会を実施し、実施内容について検討を行ったが、実施には至らなかった。令和6年度も引き続き、実施方法などの検討を行い、実施に向けた準備を進めていく。 ○市民提案型協働事業については、協働部署と団体との連携を支援し、事業の充実に努めながら引き続き、実施していく。		○市民活動団体交流会については、継続して実施していく。 ○市民提案型協働事業については、協働部署と団体との連携を支援し、事業の充実に努めていく。		

事業の方向性

○市内活動団体の情報提供

市民が、気軽に団体等の活動に参加できるよう、各団体の情報をさまざまな手段によって提供します。

実施事業

	団体等の活動情報の収集・提供 (10-5)	団体等の活動情報の収集・提供 (10-5)	団体等の活動情報の収集・提供 (10-5)
--	-----------------------	-----------------------	-----------------------

【担当課】 地域振興課、生涯学習推進課 地域振興課、生涯学習推進課 地域振興課、生涯学習推進課
 【関連課】 スポーツ推進課 スポーツ推進課 スポーツ推進課

年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		
事業内容	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布				→		
目標(指標)	○市内公共機関等150部配布		○市内公共機関等150部配布		○市内公共機関等150部配布		
取組実績	市民活動団体ガイド(149団体登録)、団体・サークルガイド(164団体登録)を発行(年1回)し、生涯学習推進課(生涯学習センターゆとろぎ)、地域振興課、市役所1階総合案内、生涯学習総務課、スポーツセンター、図書館、コミュニティセンターなど市内公共施設で配布を行うとともに、同じ内容を市公式サイトでも公開した。		○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布 市内公共施設(市役所1階受付、プリモホールゆとろぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、コミュニティセンター等)で、全150部配布		○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布 市内公共施設(市役所1階受付、プリモホールゆとろぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、コミュニティセンター等)で、全250部配布		
成果・効果	気軽に団体等の活動に参加できるよう、各団体の情報を発信できた。		社会教育関係団体や市民活動団体の活動情報を市民に提供することができた。		社会教育関係団体や市民活動団体の活動情報を市民に提供することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例		A	評価凡例		
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上	A
		B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
		—	未実施	—	未実施	—	未実施
課題・対応	見やすい、探しやすいガイドとなるよう、レイアウトや目次等、ガイドブックの改善について検討し、今後も情報発信を継続して実施していく。		見やすい、探しやすいガイドとなるよう、レイアウトや目次等、ガイドブックの改善について、検討していく。 また、市公式サイトからの閲覧を促進する広報周知について検討していく。		紙媒体の配布から市公式サイトへの閲覧を促進する広報周知について検討していく。 中学生など若者が参加できる団体の情報発信についても検討していく。		

事業の方向性

〇学びに関する情報発信力の充実

市民に、いつでも、どこでも、多くの学びの機会を提供するため、広報紙や機関紙、チラシやポスター等の紙媒体のほか、インターネットやSNS等を活用した情報発信力の充実を図ります。

実施事業

広報活動の充実	(10-7)	広報活動の充実	(10-7)	広報活動の充実	(10-7)
---------	--------	---------	--------	---------	--------

【担当課】 秘書広報課 秘書広報課 秘書広報課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業内容	○広報はむらの発行 24回 ○テレビはむらによる動画放映 24回 ○YouTube羽村市公式動画チャンネルへの動画配信 24回 ○ツイッター、インスタグラムの運用		○X(旧ツイッター)、インスタグラムの運用	
目標(指標)	○YouTubeチャンネル登録者数 2,500人 ○ツイッターフォロワー数 3,000人 ○インスタグラムフォロワー数 1,650人	○YouTubeチャンネル登録者数 3,000人 ○ツイッターフォロワー数 3,400人 ○インスタグラムフォロワー数 2,000人	○YouTubeチャンネル登録者数 3,600人 ○X(旧ツイッター)フォロワー数 3,500人 ○インスタグラムフォロワー数 2,300人	
取組実績	○YouTubeチャンネル登録者数 2,969人 ○ツイッターフォロワー数 3,274人 ○インスタグラムフォロワー数 1,928人	○YouTubeチャンネル登録者数 3,462人 ○ツイッターフォロワー数 3,439人 ○インスタグラムフォロワー数 2,186人	○YouTubeチャンネル登録者数 3,960人 ○ツイッターフォロワー数 3,672人 ○インスタグラムフォロワー数 2,413人	
成果・効果	様々な広報媒体を活用し、情報を発信をしたことで、より多くの方に羽村市の情報に興味を持ってもらうことができた。	様々な広報媒体を活用し、情報を発信したことで、より多くの方に羽村市の情報に興味を持ってもらうことができた。	様々な広報媒体を活用し、情報を発信したことで、より多くの方に羽村市の情報に興味を持ってもらうことができた。	
評価(達成度)	評価凡例		評価凡例	
	A	達成度 80%以上	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
	—	未実施	—	未実施
課題・対応	情報が受け取りやすくなった分、人によって扱っている広報媒体が異なるため、今後も様々な広報媒体を活用してより多くの方に羽村市の情報が伝わるよう、努めていく。	情報が受け取りやすくなった分、人によって扱っている広報媒体が異なるため、今後も様々な広報媒体を活用してより多くの方に羽村市の情報が伝わるよう、努めていく。	広報媒体ごとに使用している方の属性が異なることから、それに適した情報を選択し、発信することで、より多くの方に羽村市の魅力・情報が的確に伝わるよう、努めていく。	

実施事業						
	生涯学習関連情報の発信	(10-8)	生涯学習関連情報の発信	(10-8)	生涯学習関連情報の発信	(10-8)

【担当課】 生涯学習総務課 生涯学習総務課 生涯学習総務課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	○「はむらの教育」の発行				
目標（指標）	○6回発行	○6回発行	○6回発行		
取組実績	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計26,370部 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民からの意見を募集した。(9月1日号)	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計159,300部/年 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民感想・意見を募集した。(9月1日号)	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計159,450部 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民感想・意見を募集している。		
成果・効果	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を、市民に向けて定期的に発信することができた。	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を、市民に向けて定期的に発信することができた。	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を市民に向けて、定期的に発信することができた。		
評価（達成度）	評価凡例		評価凡例		
	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A
課題・対応	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。 また、教育広報誌「はむらの教育」の市民ニーズ(需要)を確認する方法等について、研究していく。	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。 また、教育広報誌「はむらの教育」の市民ニーズ(需要)を確認する方法等について、研究していく。		

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業内容	○ゆとろぎイベントガイド発行 ○はむらまなび便利発行 ○ゆとろぎホームページの更新(随時)				
目標（指標）	○ゆとろぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便利 4回発行	○ゆとろぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便利 4回発行	○ゆとろぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便利 4回発行		
取組実績	○ゆとろぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便利 4回発行 ○ゆとろぎホームページの更新(随時) ○ゆとろぎ公式SNSを開始(twitter、instagram)	○ゆとろぎイベントガイド発行 6回 ○はむらまなび便利発行 4回 ○ゆとろぎホームページの更新	○ゆとろぎイベントガイド発行 6回 ○はむらまなび便利発行 4回 ○ゆとろぎホームページの更新、 「ゆとろぎイベント情報」ページの開設 はむらまなび便利は、発行方法を、チラシ型、町内会・自治会回覧から、ポスター型、町内会・自治会掲示板掲示に変更した。 また、市公式サイトに、ゆとろぎの主催事業をまとめて掲載する「ゆとろぎイベント情報」のページを開設し、年間を通じて生涯学習機会があることを市民に情報提供した。		
成果・効果	各種媒体を活用し、生涯学習関連情報の発信を行うことができた。	ゆとろぎイベントガイド、はむらまなび便利を発行し、市民に生涯学習の情報を提供することができた。	ゆとろぎイベントガイド、はむらまなび便利を発行し、市民に生涯学習の情報を提供することができた。		
評価（達成度）	評価凡例		評価凡例		
	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A	達成度 80%以上 B 達成度 50%以上80%未満 C 達成度 30%以上50%未満 D 達成度 30%未満 — 未実施	A
課題・対応	幅広い世代に来館してもらえよう、情報発信の方法について検討していく。	引き続き、ゆとろぎイベントガイド、はむらまなび便利を発行し、市民に生涯学習の情報を提供していく。	引き続き、ゆとろぎイベントガイドを発行するとともに、市公式サイト「ゆとろぎイベント情報」を適宜更新し、市民に生涯学習の情報を提供していく。 まなび便利については発行方法を変更したが、効果の向上が見受けられず、発行について見直しを行う。		

事業の方向性

○企業、大学、財団等との連携

市民に、幅広く質の高い学びを提供するため、市内の事業所や団体のほか、近隣の大学や財団法人等との連携を推進します。

実施事業

企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	(10-10)	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	(10-10)	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	(10-10)
-------------------------------	---------	-------------------------------	---------	-------------------------------	---------

【担当課】 生涯学習推進課

生涯学習推進課

生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○杏林大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、財団、企業との連携事業の実施	○杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携事業の実施	→																																				
目標（指標）	○10事業以上実施	○10事業以上実施	○10事業程度実施																																				
取組実績	○連携事業の実施 計16事業 杏林大学 3事業、国立音楽大学 3事業、武蔵野美術大学 1事業、財団 6事業、公益社団法人 2事業、市内企業 1事業	○杏林大学、国立音楽大学、公益財団法人青梅佐藤財団、日野自動車株式会社等企業との連携事業の実施 10事業 「杏林大学学生連携企画 散歩の達人直伝！！あなたの日常をちよっぴり変える、地元お散歩講座！」 「杏林大学公開講演会 今学びたい『気持ちを伝える』コミュニケーション～SNSの上手な使い方」 「国立音楽大学コンサート」 「国立音楽大学オーケストラ演奏会」 「国立音楽大学プラスオルケスタ演奏会」 「高橋多佳子ピアノ演奏会」 「子どもIT未来塾」 「日野自動車連携講座『ペットボトルロケット』」 「わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇」 「羽村ゆとりろぎアーツプロジェクト(武蔵野美術大学連携)」	○杏林大学、国立音楽大学、公益財団法人青梅佐藤財団、日野自動車株式会社等企業との連携事業の実施 12事業 ・杏林大学 学生連携企画講座「温泉で心と身体を健康に！」これであなたも温泉博士！ 実施日：12月14日 参加者数：21人 ・杏林大学 公開講演会「ドイツの物語から読みとく日本とドイツの親和性」 実施日：令和7年2月2日 参加者数：50人 ・国立音楽大学 連携協定記念バロック音楽コンサート 実施日：令和7年1月25日 参加者数：531人 ・国立音楽大学 2024年度マネージメント実習 修了演奏会 実施日：令和7年2月15日 参加者数：198人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学オーケストラ演奏会 実施日：5月11日 参加者数：632人 ・青梅佐藤財団 神津善行講演会「旅立つ妻に贈る音楽会」 実施日：6月8日 参加者数：664人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学プラスオルケスター演奏会 実施日：10月5日 参加者数：644人 ・青梅佐藤財団 市民コンサート 実施日：10月12日 参加者数：647人 ・青梅佐藤財団 梯剛之ピアノリサイタル 実施日：12月15日 参加者数：451人 ・青梅佐藤財団 ニューイヤーコンサート 実施日：令和7年1月11日 参加者数：648人 ・武蔵野美術大学 共同企画展覧会 羽村ゆとりろぎアーツプロジェクト2024 実施日：12月19日～26日 参加者数：604人(関連イベント含む) ・日野自動車連携講座「ペットボトルロケット」 実施日：8月23日 参加者数：18人 ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 実施日：11月24日 参加者数：28人																																				
成果・効果	大学、財団、企業等との連携により、専門性の高い学習講座や、質の高い技術・技能に裏打ちされた展示、コンサートや伝統芸能等の公演を実施できた。	包括連携協定を締結している杏林大学、国立音楽大学、またゆとりろぎでの事業に協力いただいている公益財団法人青梅佐藤財団や日野自動車等と連携して、音楽鑑賞、講演、子供向け体験事業を実施することができた。	包括連携協定を締結している杏林大学、国立音楽大学、またゆとりろぎでの事業に協力いただいている公益財団法人青梅佐藤財団や武蔵野美術大学、日野自動車等と連携して、音楽鑑賞、講演、子供向け体験事業を実施することができた。 武蔵野美術大学と共同で行っている企画展覧会では、参加した学生の個展をゆとりろぎで開催し、若手作家の作品鑑賞機会の創出にもつながった。																																				
評価（達成度）	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A <table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	各大学、財団、企業等との連携により質の高い講座、芸術鑑賞事業を実施していく。	引き続き、杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携した事業を実施していく。	引き続き、杏林大学、国立音楽大学、財団、大学、企業との連携した事業を実施していく。																																				

実施事業						
	商工会等と連携した「まちゼミ」の実施支援	(10-11)	商工会等と連携した「まちゼミ」の実施支援	(10-11)	商工会等と連携した「まちゼミ」の実施支援	(10-11)

【担当課】 産業振興課 産業振興課 産業振興課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
事業内容	○商工会が主体的に取り組む「まちゼミ」の実施に向けた支援	→	○商工会が取り組む「まちゼミ」の運営を支援する。																																
目標（指標）	○「まちゼミ」の実施	○「まちゼミ」の広報・周知・PRの協力	○「まちゼミ」の広報等への協力																																
取組実績	○「まちゼミ」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により次年度に持ち越しとした。	○「まちゼミ」に関するチラシを全戸配布するとともに、「はむら市民と産業のまつり」におけるPRブースを設置した。 ・実施期間 令和5年11月15日～12月15日 ・参加事業者51社、実施講座数54講座、参加者数437人	○「まちゼミ」に関するチラシを全戸配布するとともに、「はむら市民と産業のまつり」におけるPRブースを設置した。 ・参加事業者41社、実施講座数44講座、参加人数467人（実施期間R6.10.15～11.15）																																
成果・効果	○次年度の実施に向けて商工会と情報交換を実施することができた。	まちゼミに対する反響が大きく、多くの講座で満員となった。市民の学びへの関心が高いことを実感した。	○まちゼミに対する反響が大きく、多くの講座で満員となった。市民の学びへの関心が高いことを実感した。																																
評価（達成度）	評価凡例		評価凡例																																
	—	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	A	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—
A	達成度 80%以上																																		
B	達成度 50%以上80%未満																																		
C	達成度 30%以上50%未満																																		
D	達成度 30%未満																																		
—	未実施																																		
A	達成度 80%以上																																		
B	達成度 50%以上80%未満																																		
C	達成度 30%以上50%未満																																		
D	達成度 30%未満																																		
—	未実施																																		
A	達成度 80%以上																																		
B	達成度 50%以上80%未満																																		
C	達成度 30%以上50%未満																																		
D	達成度 30%未満																																		
—	未実施																																		
課題・対応	次年度の実施に向けて取り組んでいく。	まちゼミは市民の注目度が高く、人気のある講座は申込開始と同時に問い合わせが殺到し、即時に満員になることがあった。引き続き広報等のPRに努めていく。	○まちゼミは市民の注目度が高く、人気のある講座は申込開始と同時に問い合わせが殺到し、即時に満員になることがあった。引き続き広報等のPRに努めていく。																																

事業の方向性

○生涯学習におけるコーディネート機能の運用と充実

学びの循環をつなぎ、学びの輪を大きく広げるために、人材活用を含めたコーディネート機能を充実します。

実施事業

生涯学習コーディネート機能の運用 (10-12)	生涯学習コーディネート機能の運用 (10-12)	生涯学習コーディネート機能の運用 (10-12)
--------------------------	--------------------------	--------------------------

【担当課】 生涯学習推進課 生涯学習推進課 生涯学習推進課

【関連課】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) ○生涯学習コーディネートに関する情報収集・提供	○生涯学習に関する情報収集・提供																																					
目標(指標)	相談への対応	○相談への対応 ○生涯学習情報の更新(随時)	○相談者への情報提供及び講師等との調整対応 ○生涯学習情報の更新(随時)																																				
取組実績	生涯学習コーディネーターの配置により、事業の企画・立案や、大学や企業等との連絡・調整等、実態に即した対応をした。	○生涯学習コーディネーターの配置 ○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) 主な相談内容…市民が企画する学習講座の講師提案や調整など ○生涯学習に関する情報収集・提供 団体・サークルガイドの発行、市公式サイトへの掲載	○生涯学習コーディネーターの配置 ○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) 主な相談内容…市民の会の企画事業など、市民が企画する学習講座の講師提案や調整など ○生涯学習に関する情報収集・提供 団体・サークルガイドの発行、市公式サイトへの掲載																																				
成果・効果	大学や企業の生涯学習事業(社会貢献事業)に関する情報を収集し、事業の企画・立案につなげ、質の高い講座を実施することができた。	団体・サークルガイドを発行し、市民に生涯学習に関する情報を提供することができた。	コーディネーターが、市民の助言や各種調整などを行い、市民の生涯学習活動の支援を行うことができた。 団体・サークルガイドを発行し、市民に生涯学習に関する情報を提供することができた。																																				
評価(達成度)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	引き続き、生涯学習コーディネーターによる情報収集や相談対応を継続していく。	引き続き、団体・サークルガイドを作成し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。	引き続き、団体・サークルガイドを作成し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。																																				

事業の方向性

○生涯学習関連施設の整備と維持管理

市民の学びの場を保障するため、生涯学習センターゆとろぎをはじめとする生涯学習関連施設を維持管理していきます。情報通信機器を利用した生涯学習の場が充実し効果的な学びにつながるよう、生涯学習関連施設のWi-Fi環境の整備を進めます。

実施事業

	社会教育関連施設の維持管理 (10-13)	公共施設等の整理統合・集約化・複合化 (10-13)	公共施設等の整理統合・集約化・複合化 (10-13)																																				
【担当課】	公共施設マネジメント課	公共施設マネジメント課	公共施設マネジメント課																																				
【関連課】	施設所管課	施設所管課	施設所管課																																				
年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
事業内容	○羽村市公共施設等総合管理計画の推進 ・公共施設等の整理統合・集約化・複合化の方向性や手法の検討 ・公共施設等の利用需要や老朽化の状況等の情報収集 ・先進事例の調査研究	○総務省の指針に沿った公共施設等総合管理計画の改定 ○公共施設等総合管理計画に沿った施設の整理統合・集約化・複合化の推進	○公共施設の整理統合を推進していくに当たっての市民への理解促進、職員研修の実施 ○公共施設に関する市民アンケートの実施 ○公共施設の具体的な整理統合の枠組みの検討																																				
目標（指標）	公共施設の適正な維持管理	○公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営の推進	○公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営の推進																																				
取組実績	整理統合・集約化・複合化に向けた検討を進め、図書館分室を廃止し、老朽化した建築物を除却するとともに、その借地の返還を行った。 また、学童クラブの学校施設内への移転等、公共施設の具体的な整理統合等について検討を行った。 さらには、ゆとろぎ駐車場などについて、具体的な借地の返還について検討するとともに、建築物が建っていない土地について全体の方向性を検討するための基礎調査を実施した。	・総務省の指針への対応や人口減少の対応などを盛り込んだ公共施設等総合管理計画の改定に取り組んだ。 ・借地の返還、土地の売却等を推進するため、土地の利用見込みに応じ、その取り扱い方針を定めていく「土地の取り扱い方針」の作成に取り組んだ。 ・公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営の推進に取り組んだ。	・公共施設の整理統合についての解説動画を制作し、市公式YouTubeチャンネルで配信したほか、啓発ポスターを制作し、公共施設や駅等に掲示した。 ・市職員に対する研修を実施した。 ・市民を対象とした公共施設に関するアンケート調査を実施した。 ・公共施設の具体的な整理統合の枠組みについて検討した。																																				
成果・効果	○公共施設整理統合・集約化・複合化等の件数 施設の廃止 3件 借地返還 2件	・公共施設等総合管理計画の改定を行った。 ・「土地の取り扱い方針」を作成した。 ・ゆとろぎ第2・第4駐車場及び旧自然休暇村用地の返還を行った。 ・公共施設の複合化のモデルケースを実施した（富士見小学校学童クラブ）。	・解説動画については、年間で3本制作し、合計2400回以上再生された。 ・職員研修については、134名の職員が参加し、参加者の99%が「よく理解できた」または「だいたい理解できた」と回答した。 ・市民を対象としたアンケート調査については、無作為に抽出した1200人を対象に実施し、585人（回答率48.8%）から回答を得た。結果は報告書にまとめ市公式サイト等で公表した。																																				
評価（達成度）	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価凡例</th></tr> <tr><td>A</td><td>達成度 80%以上</td></tr> <tr><td>B</td><td>達成度 50%以上80%未満</td></tr> <tr><td>C</td><td>達成度 30%以上50%未満</td></tr> <tr><td>D</td><td>達成度 30%未満</td></tr> <tr><td>—</td><td>未実施</td></tr> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
評価凡例																																							
A	達成度 80%以上																																						
B	達成度 50%以上80%未満																																						
C	達成度 30%以上50%未満																																						
D	達成度 30%未満																																						
—	未実施																																						
課題・対応	施設の整理統合・集約化・複合化については、公共施設の全体的な再配置などの検討が必要であり、令和5年度に再配置に関する方針や検討手順を確立し、令和6年度以降再配置の計画策定に取り組んでいく。	引き続き、継続して実施していく。	・市民への理解促進については、継続して実施していく。 ・市民アンケート調査の結果等を踏まえ、公共施設再配置構想の策定に向けて検討する。																																				

実施事業

公共施設予約システムの更改 (10-15)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】 地域振興課、土木課、スポーツ推進課

年 度	令和5年度	
事 業 内 容	○キャッシュレス機能追加(オンラインで手続きを完結)	
目 標 (指 標)	○12月稼働	
取 組 実 績	○公共施設予約システムを更改し、12月から運用を開始 新たな機能としてキャッシュレス決済ができるシステムを導入 生涯学習センターゆとりぎ取扱件数12件/4ヵ月(12月～3月) スポーツセンター取扱件数17件/4ヵ月(12月～3月)	
成 果 ・ 効 果	公共施設予約システムの更改に合わせ、キャッシュレス決済ができるシステムを導入し、オンラインで予約手続きを完結できるようにした。 全額免除団体についても、支払い手続きが不要のため、オンラインで予約手続きが完結できることにより、窓口手続きの簡素化を図ることができた。	
評 価 (達 成 度)	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
課 題 ・ 対 応	— 未実施	
課 題 ・ 対 応	オンライン予約の承認手続きを即日対応する必要があるため、効率的な対応方法について検討するなど、更改した公共施設予約システムを運用していく。	

実施事業

【新規事業】羽村市立小学校体育館冷暖房空調設備の設置	(10-15)
-----------------------------------	---------

【担当課】 生涯学習総務課

【関連課】 学校教育課、建築課、防災安全課

年 度	令和6年度	
事 業 内 容	○羽村市立小学校体育館への冷暖房空調設備の設置 ※5年リース契約	
目 標 (指 標)	○小学校 7校 ○8月から12月にかけて設置	
取 組 実 績	小学校全7校に冷暖房空調設備を設置した。 5月から12月設置工事完了、1月から機器賃貸開始	
成 果 ・ 効 果	体育館に冷暖房空調設備を設置したことで、児童の教育環境の改善と災害時避難所としての機能強化を図ることができた。	
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課 題 ・ 対 応	設置した機器の適正な運用及び維持管理を実施していく。また、社会教育関係団体の体育館利用時に空調設備を使用することができるよう、使用方法や使用料等について検討する。	

実施事業

		スポーツセンターの管理運営方法の検討 (10-16)	スポーツセンターの管理運営方法の検討 (10-16)		
	【担当課】	スポーツ推進課	スポーツ推進課		
	【関連課】	企画政策課	企画政策課		
年 度		令和5年度	令和6年度		
事業内容		○スポーツセンターの管理運営について、民間事業者等有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的として、指定管理者制度の導入を検討する。	○スポーツセンターの管理運営について、民間事業者等有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的として、指定管理者制度等の施設の管理運営における官民連携手法の導入を検討する。		
目標（指標）		○スポーツセンターへの指定管理者制度導入の検討	○スポーツセンターへの指定管理者制度等導入の検討		
取組実績		○近隣自治体における管理運営方法の調査・研究 ○スポーツ推進審議会から意見等の聴取 審議会3回 ○指定管理者制度を導入した場合の課題等の解決について検討し、メリット・懸念を共有	○近隣自治体における管理運営方法の調査・研究 ○スポーツ推進審議会から意見等の聴取 審議会1回 ○スポーツ協会との意見交換 3回 ○はむすぼとの意見交換 3回		
成果・効果		東京都内のスポーツ施設における導入状況を把握し、調査研究の資料にすることができた。 「導入した場合のメリットの方が多い」というスポーツ推進審議会からの意見を踏まえ、導入に向けた検討を進めることができた。 課題等について考え方を整理し、共有することができた。	スポーツ推進審議会において、施設改修等を行った上で指定管理者制度を導入すべきとの意見があったほか、都内のスポーツ施設109のうち、101施設が指定管理者制度を導入済であることを確認した。 スポーツ施設の指定管理を行っている企業等に対し、委託経費等の提案調査を実施したほか、指定管理者制度を導入した際に影響のある団体（スポーツ協会やはむすぼ等）との意見交換を行い、方向性について認識することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例			
		A	達成度 80%以上	A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
		—	未実施	—	未実施
課題・対応		指定管理者制度への移行にあたり、雨漏りなどの施設改修をする必要があるなど、課題解決に向けて継続して検討していく。	令和8年度から9年度にかけて施設改修等を計画していることから、工事完了後、速やかに指定管理者制度を導入できるよう、移行準備を進めていく。		

実施事業

弓道場用地の取得	(10-17)
----------	---------

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

年 度	令和5年度	
事 業 内 容	○NEXCO東日本との売買契約に基づく弓道場用地の取得	
目 標 (指 標)	○売買代金支払い ○所有権移転登記、引渡し	
取 組 実 績	○売買代金支払い 令和5年9月27日 ○所有権移転登記、引渡し 令和5年11月7日 NEXCO東日本との契約に基づき、弓道場用地を取得	
成 果 ・ 効 果	市民のスポーツの普及振興を図るため、弓道場用地を取得したことにより、良好な環境で安全安心にスポーツ活動ができるよう、施設の適正管理に努めることができた。	
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課 題 ・ 対 応	弓道場施設の老朽化が進んでいるため、必要に応じた改修や補修について、検討していく。	

実施事業									
公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備		(10-15)	公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備		(10-18)	公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備		(10-17)	
【担当課】		情報政策課		情報政策課		情報政策課			
【関連課】		企画政策課、施設所管課		企画政策課、施設所管課		企画政策課、施設所管課			
年 度	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
事業内容	○公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備に係る対象施設の検討・決定		○公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備方法、対象施設の検討・決定		○公共施設の公衆Wi-Fi環境の整備方法等の庁内検討を進めるとともに東京都事業への参画など、より効果的な整備手法の決定、予算化を図る。				
目標（指標）	○対象施設の決定		○整備方法、対象施設の決定		○整備方法、対象施設の決定、令和7年度での予算化				
取組実績	公衆Wi-Fi環境の初期導入費用見積もりを徴取するために、2施設の現場調査を行い、費用感の把握を行った。また、地域BWA通信網の利用拡大ができないか、多摩ケーブルネットワークとの調整、検討を進めた。		地域BWA協定に基づき、市管理の公共施設へのアンテナ増設を行い、概ね市域全体での受信環境を整えることができたほか、9月の総合防災訓練において、災害発生時での00000Japan利用について検証することができた。 また、東京都でのオープンローミング普及事業や地域BWA協定の相手である多摩ケーブルネットワークでの平時でも利用できるWi-Fi環境の構築について情報収集を継続的に行った。		ゆとりぎ、図書館2館の配線状況や既存機器、などの確認を職員が行い、それを基に市内事業者への見積依頼を行った。既存回線は極力残すなど、経費を抑えるよう、綿密な調整を行った。また、東京都補助事業への参画も考え、確認を取ったが、新規設置の施設は対象とならず、利用することができなかった。				
成果・効果	2施設で行った導入費用の見積もりにおいて、環境整備にあたっては、高額な費用がかかることが分かり、他の整備方法や利用範囲を検討することで、整備費用の抑制ができないか、更なる検討を加えることとし、令和5年度当初予算への予算計上はできていない。		災害発生時での00000Japanの運用確認はできたが、平時でのWi-Fi環境整備について、情報収集に留まり、実行することができなかった。 しかし、当該環境の整備方法や対象施設の検討や市民、来訪者等の利便性向上策などについて、他自治体の先進事例確認や関連情報の収集を次年度を見据え、継続することができた。		徴取した見積もりを基に情報化推進委員会や行政評価委員会などに付議したが、R8での事業化は見送られた。				
評価（達成度）	C	評価凡例		B	評価凡例		C	評価凡例	
		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満	B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満	C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満	D	達成度 30%未満
		—	未実施	—	未実施	—	未実施	—	未実施
課題・対応	環境整備に要する費用が高額であることが課題である。 複数の整備方法が考えられ、更なる検討が必要である。		各施設において、単独での有線設置を見込んだ場合、数百万円から1,000万円程度の支出を見込む必要があることから、整備方法、利用想定を厳密に、精度を持って行う必要がある。東京都や多摩ケーブルネットワークの状況確認を進めるとともに、費用の抑制にも視点を置いた検討を行う。		個人で利用できる通信環境の発達により、市がどこまでのWi-Fi環境を設置するのか、非常に難しい。また、利用者負担の考えも考慮の対象となる。また、環境設置には多額の費用を投じる必要があることは、従来からの大きな課題となっているが、今年度徴取した見積書の金額を更に下げることが、困難であり、市全体の財政状況との調整の中で、更なる削減箇所がないのかなど、確認を進めていく。				

実施事業

【新規事業】校務用パソコンの更新及びインターネット閲覧環境整備	(10-18)
---------------------------------	---------

【担当課】 学校教育課

【関連課】 企画政策課、施設所管課

年 度	令和6年度	
事 業 内 容	小・中学校の教員が校務事務(出席・成績処理、教材作成等)で使用する校務用パソコンについて、インターネット閲覧環境を整備し、校務のデジタル化を推進する。	
目 標 (指 標)	○校務用パソコン機器更新:330台配備 ○インターネット閲覧環境の整備	
取 組 実 績	○校務用パソコン機器更新:330台配備 ○インターネット閲覧環境の整備	
成 果 ・ 効 果	小・中学校の教員が使用する校務用パソコンの更新を行うとともに、インターネット閲覧環境を整備し、デジタル化に資する環境を整備したことにより、教員等の校務の利便性が向上し、効率化を図ることができた。	
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課 題 ・ 対 応	適切な運用を行うとともに、引き続き、環境を生かした校務DXを推進していく。	